

人権に関する市民意識調査
報告書

令和5年2月
小千谷市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査方法.....	1
3	調査票回収結果.....	1
4	報告書の見方.....	1
II	調査結果の概要.....	2
1	回答者の属性.....	2
2	人権全般について.....	3
3	女性の人権について.....	21
4	子どもの人権について.....	29
5	高齢者の人権について.....	40
6	障がいのある人の人権について.....	48
7	同和問題について.....	56
8	外国にルーツを持つ人の人権について.....	79
9	新型の感染症患者やそのほかの感染症患者(エイズ患者、HIV感染者など)、ハンセン病患者 および元患者などの人権について.....	87
10	インターネット上での人権侵害について.....	93
11	LGBTQの方などの人権について.....	97
12	人権を守るための活動について.....	101
	自由回答.....	108
III	調査票.....	111
1	調査依頼文.....	111
2	調査票.....	112

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の人権に関する意識・実態等を統計的手法によって把握・分析し、小千谷市人権教育・啓発推進計画の基礎資料を得るとともに、今後の施策に反映することを目的とする。

2 調査方法

- (1) 調査対象 令和4年9月30日現在小千谷市内在住で、16歳以上の市民1,000人
- (2) 抽出法 住民基本台帳から無作為抽出
- (3) 調査方法 配布・回収とも郵送
- (4) 調査項目 設問36問

3 調査票回収結果

配布数	1,000件
回収数(回収率)	434件(43.4%)

4 報告書の見方

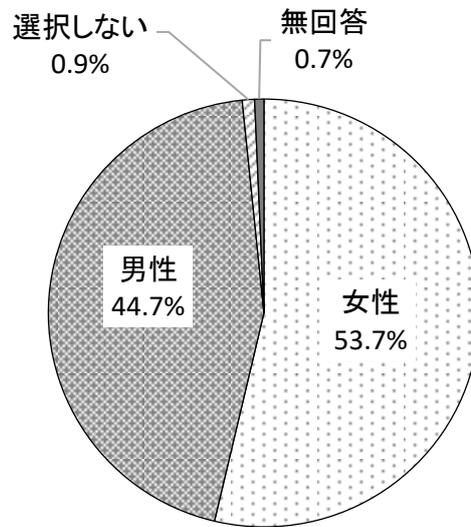
本報告書中のグラフ・表の見方については次の通りです。

- (1) 集計結果の割合数値(%)は小数点以下第2位を四捨五入しております。
- (2) 性別無回答、年代無回答があり、それらを除いて集計している設問もあります。
- (3) (1)や(2)により、集計比率の合計が100%にならないことがあります。
- (4) 自由意見については、調査票に記入いただいた通りに記載することを基本としましたが、文字修正等若干の修正を加えた場合があります。

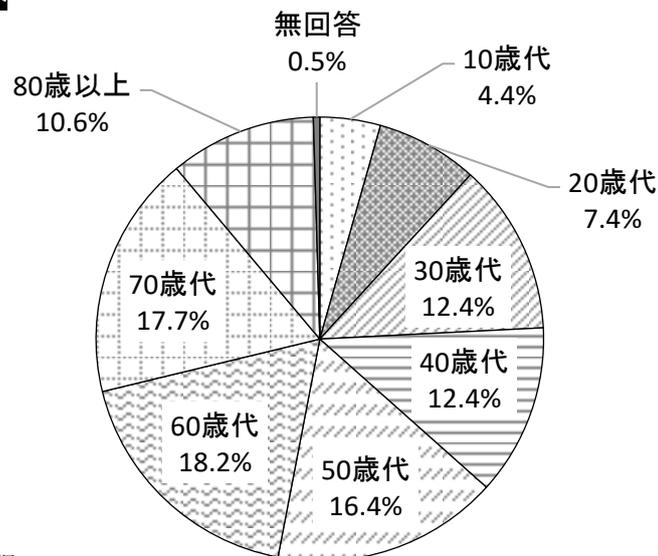
II 調査結果の概要

1 回答者の属性

問1 あなたの性別は



問2 あなたの年齢は



◎調査票回答構成内訳

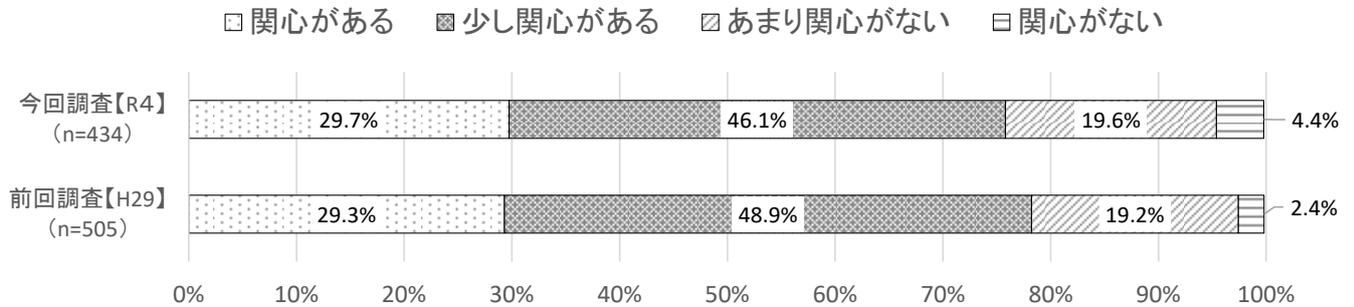
回答総数：434人

		実数(人)	割合 (%)			実数(人)	割合 (%)
性別	女性	233	53.7	年代別	10歳代	19	4.4
	男性	194	44.7		20歳代	32	7.4
	選択しない	4	0.9		30歳代	54	12.4
	無回答	3	0.7		40歳代	54	12.4
					50歳代	71	16.4
					60歳代	79	18.2
					70歳代	77	17.7
					80歳以上	46	10.6
					無回答	2	0.5

2 人権全般について

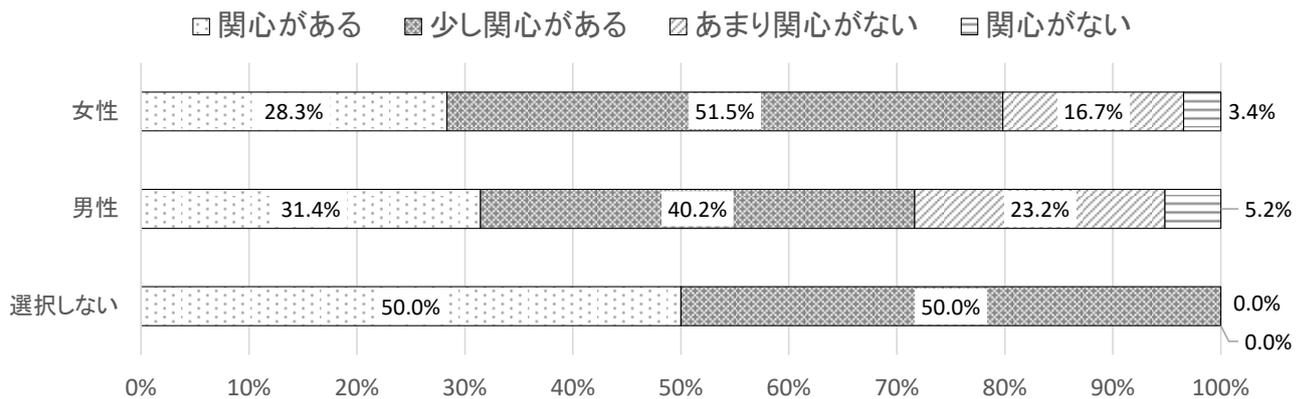
問3 あなたは人権や差別の問題に関心がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



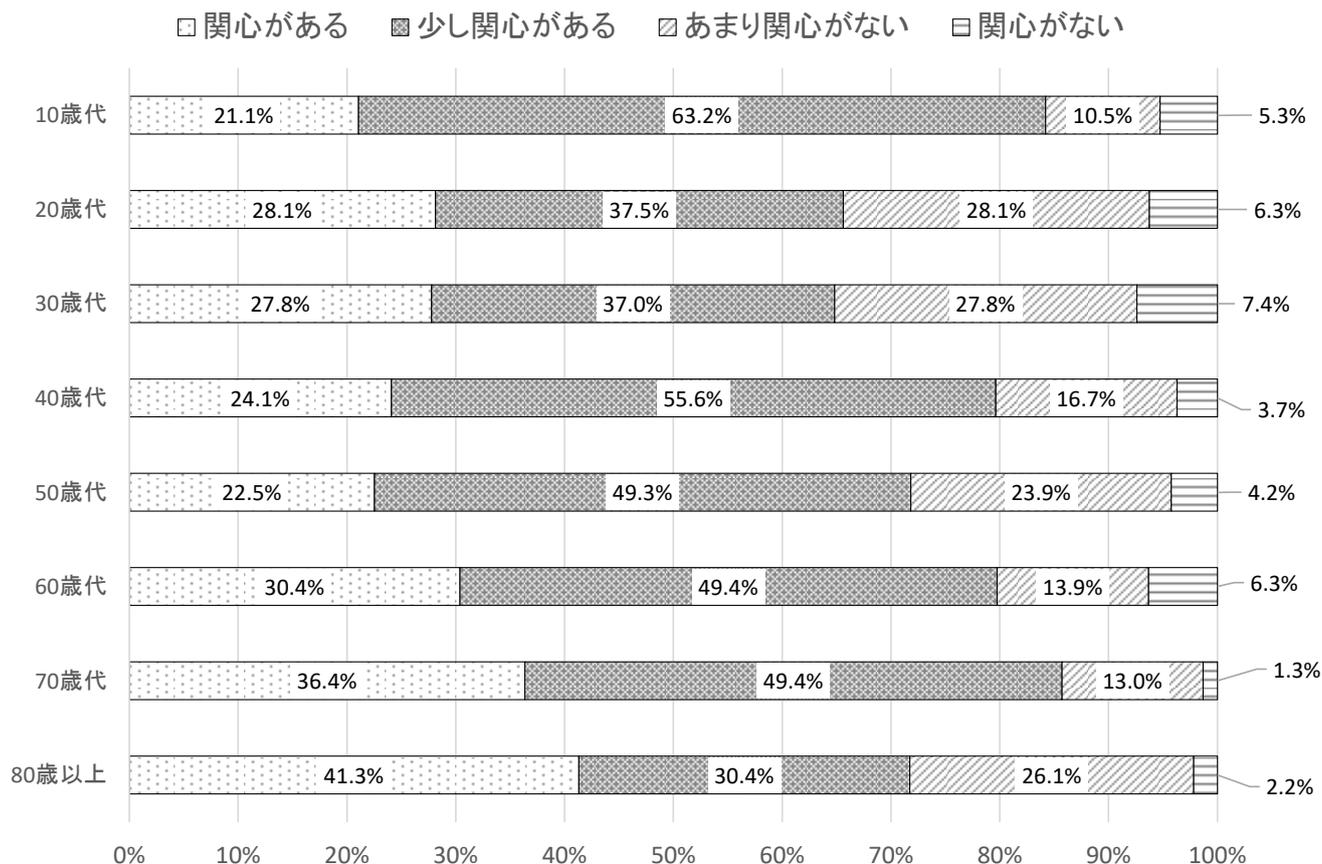
- ・人権や差別問題への関心について聞いたところ、「少し関心がある（46.1%）」が最も高く、「関心がある（29.7%）」と合わせると全体の8割弱を占め、関心の高さが伺える。ただ、前回調査と比較すると、やや減少傾向にある。

【 性別分布 】



- ・性別では、「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた割合（女性 79.8%、男性 71.6%）は、女性の方が男性を上回っていた。

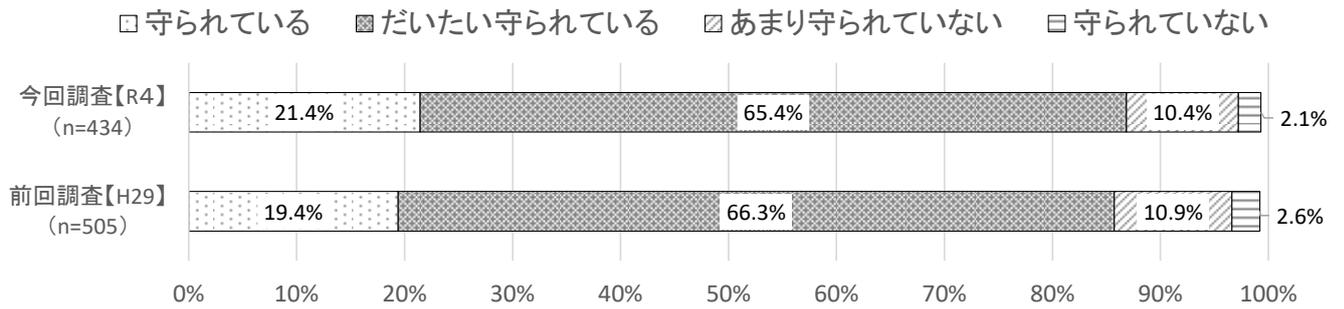
【 年代別分布 】



・年代別では、

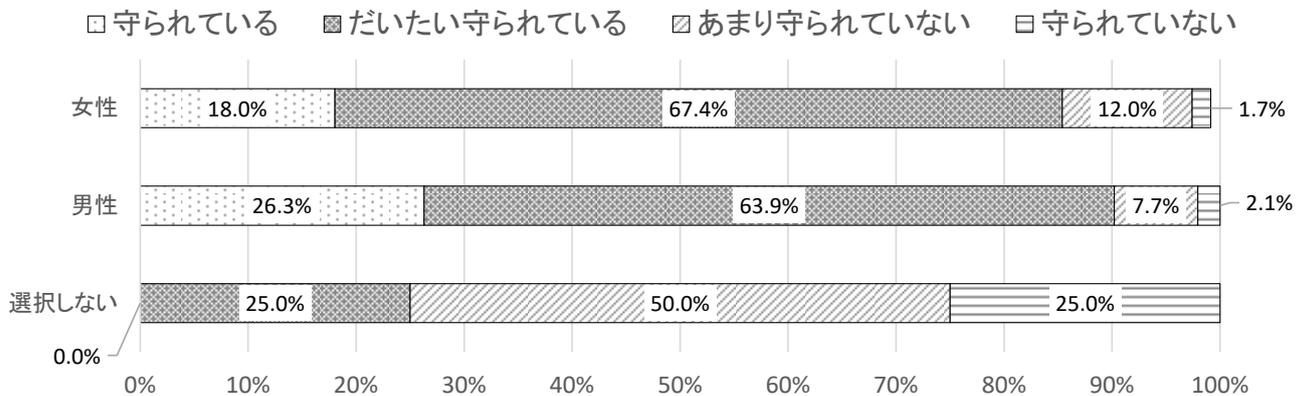
70歳代で「関心がある（36.4%）」と「少し関心がある（49.4%）」を合わせて85.8%
 10歳代で「関心がある（21.1%）」と「少し関心がある（63.2%）」を合わせて84.3%
 と高かったが、20～30歳代では7割に満たなかった。

問4 あなたの身のまわりでは、人権が守られていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



・人権が守られているかについては、「だいたい守られている (65.4%)」が最も高く、次に「守られている (21.4%)」が高い。これらを合わせると全体の 9 割弱を占め、前回調査よりもやや増加した。

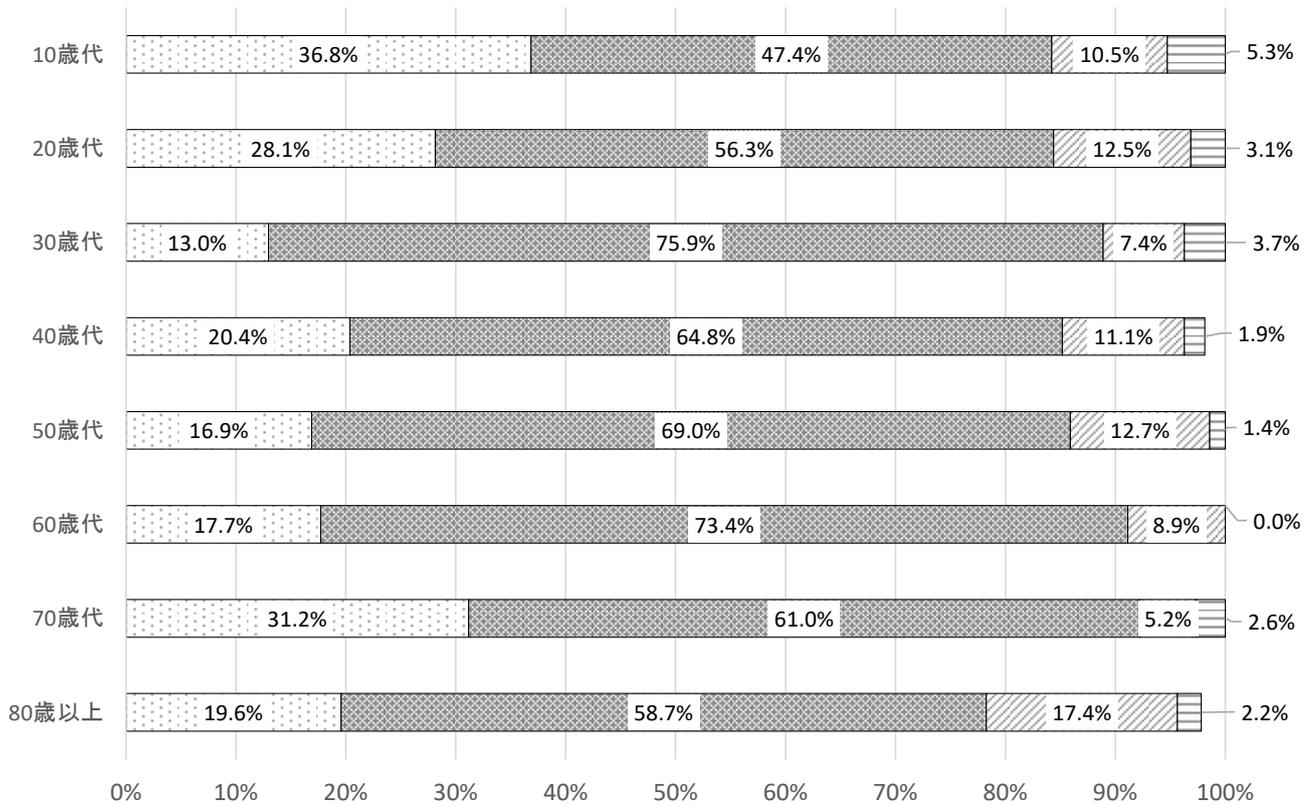
【 性別分布 】



・男性では、「守られている (26.3%)」と「だいたい守られている (63.9%)」を合わせると、ほぼ 9 割となった。

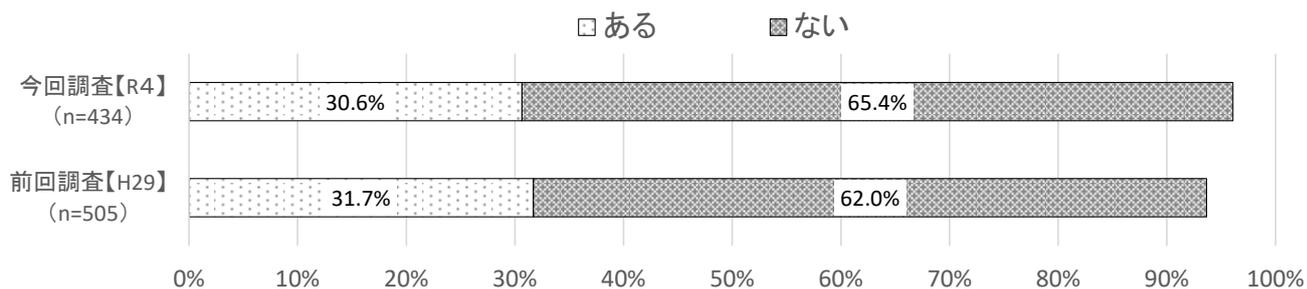
【 年代別分布 】

□ 守られている ■ だいたい守られている ▨ あまり守られていない ▩ 守られていない



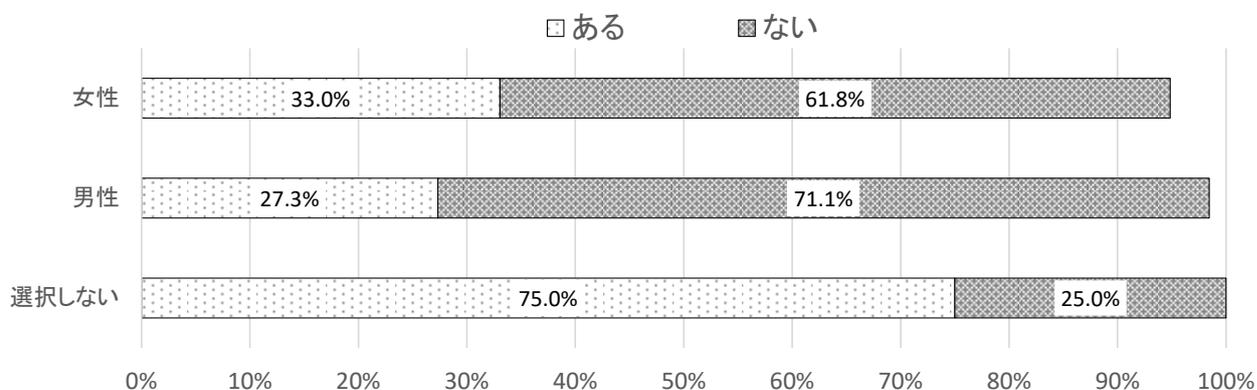
- ・年代別では、「守られている」と「だいたい守られている」を合わせると、60～70歳代で、9割以上を占めていたが、80歳代以上では8割に満たなかった。

問5 あなたは今まで、自己的人権が侵害されたと感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



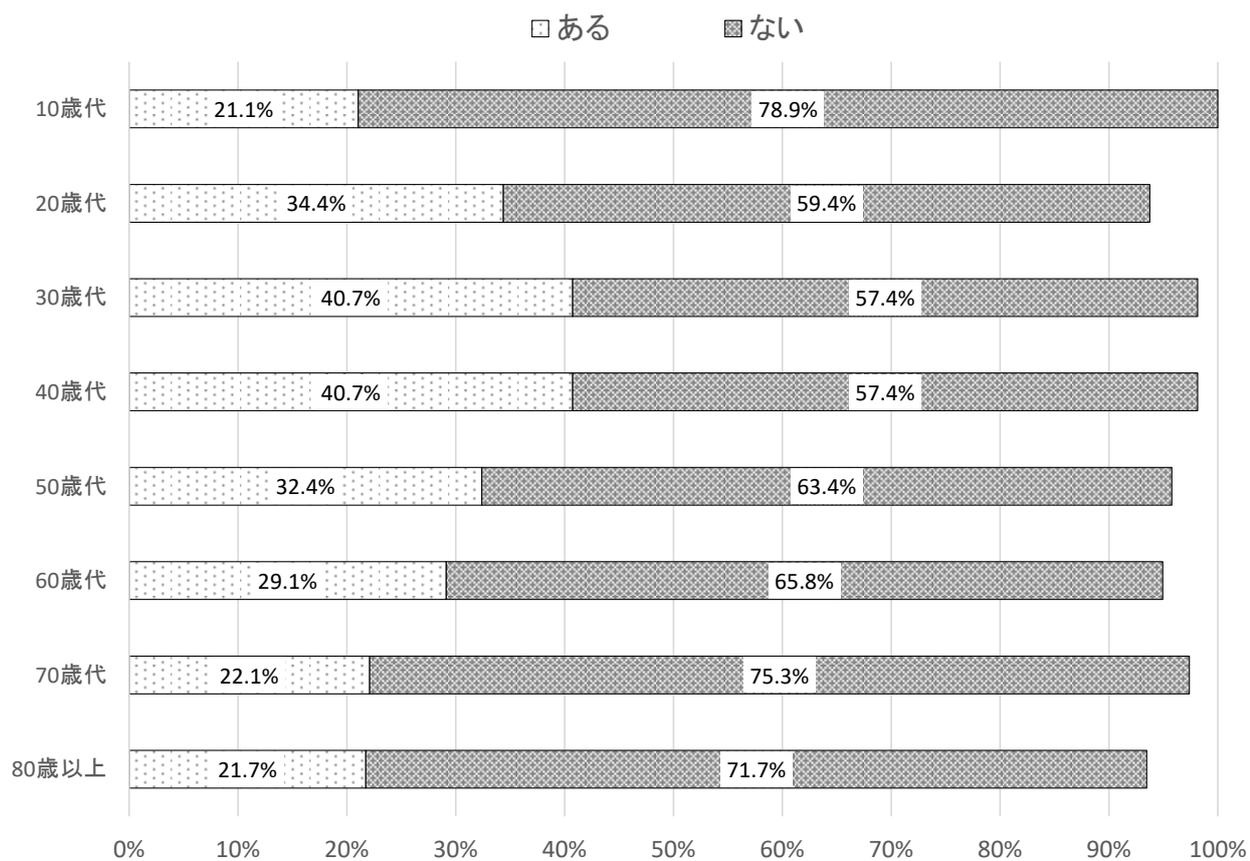
- ・人権を侵害された経験についてと聞いたところ、ほぼ3割が「ある」と回答した。
- ・今回調査では、「ない」が前回調査と比べ3.4ポイント増加した。

【 性別分布 】



- ・女性では、3人に1人が「ある」と回答した。

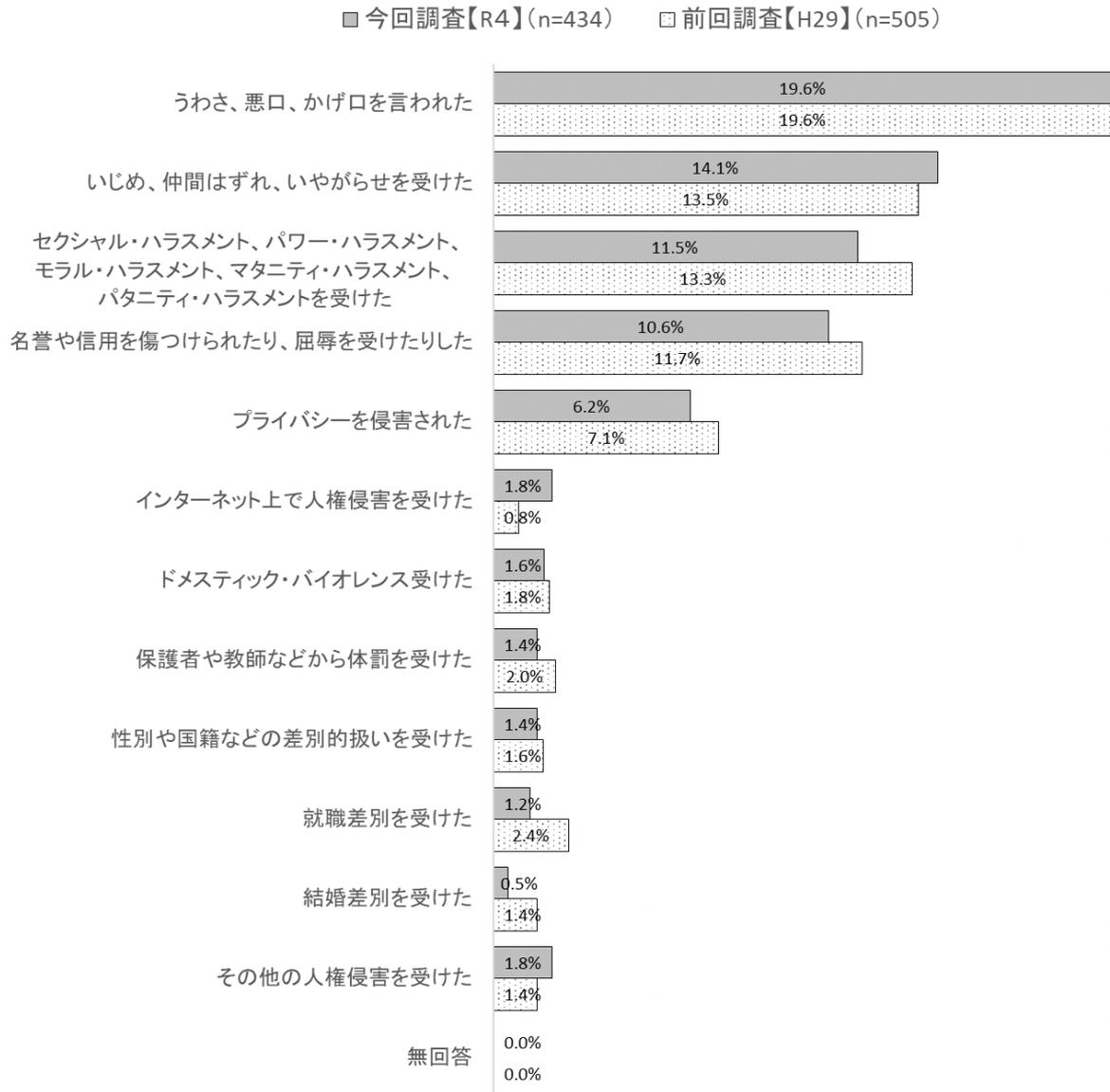
【 年代別分布 】



- ・年代別では、「ある」と回答した中で、30歳代と40歳代（ともに40.7%）が最も高く、10歳代（21.1%）が最も低かった。

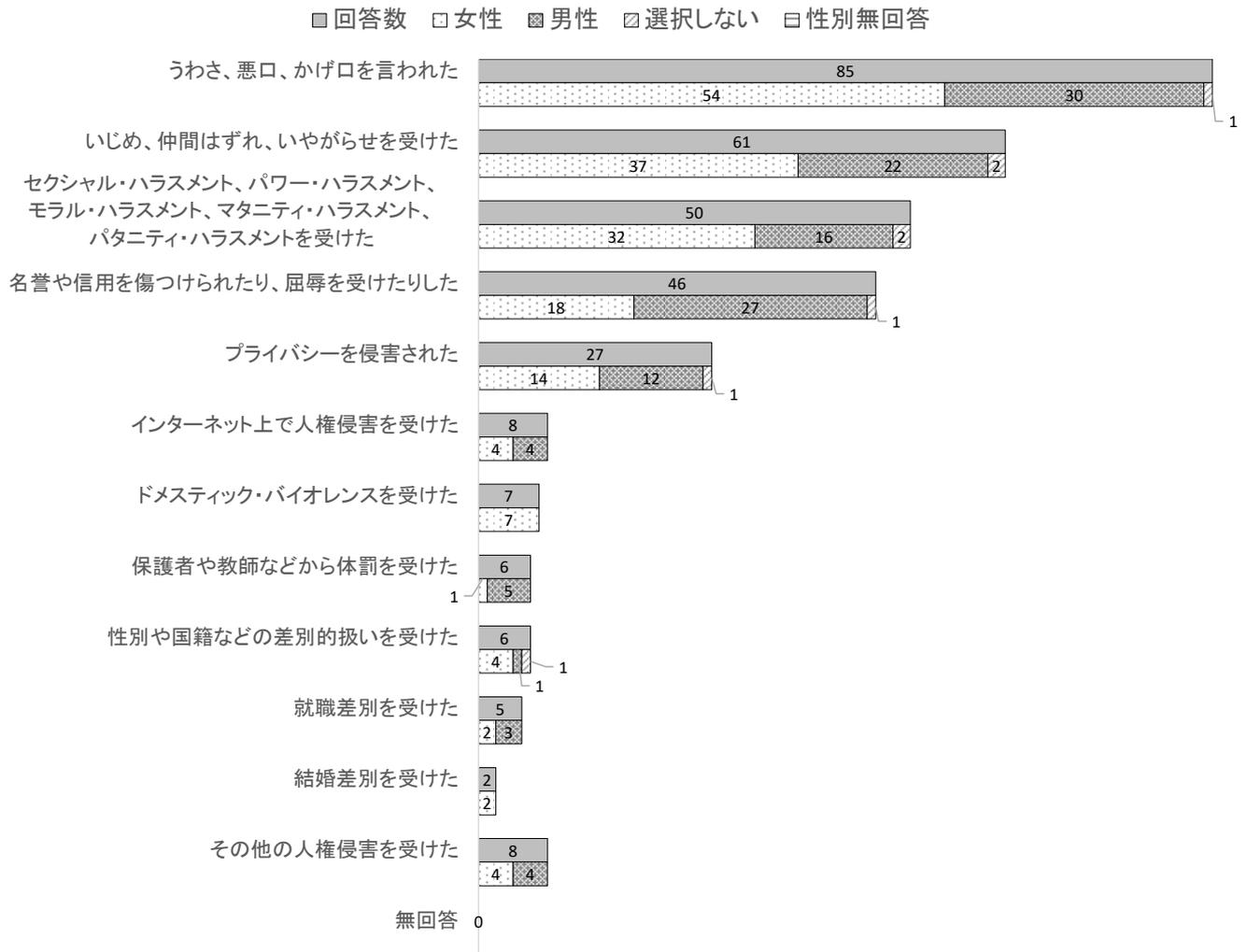
問6 問5で「ある」と回答した方にお聞きします。次のどのような場面で感じましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・人権が侵害された場面について聞いたところ、「うわさ、悪口、かげ口を言われた（85 件）」が最も多く、次に「いじめ、仲間はずれ、いやがらせを受けた（61 件）」、「セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメントを受けた（50 件）」、「名誉や信用を傷つけられたり、屈辱を受けたりした（46 件）」、「プライバシーを侵害された（27 件）」と続いた。
- ・上位項目は前回調査とほぼ同じ傾向が見られる。

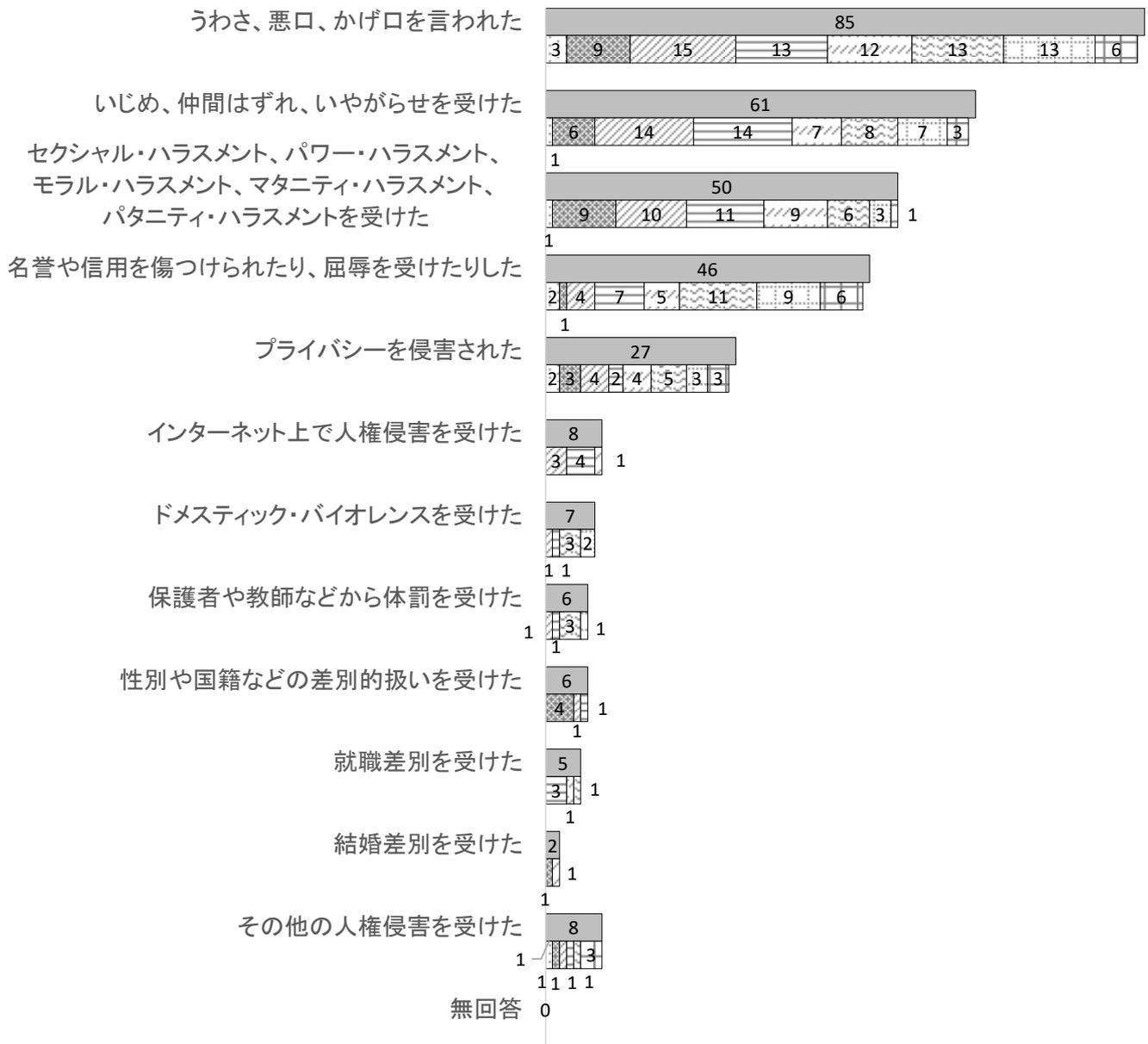
【 性別分布 】



- ・女性は、「うわさ、悪口、かげ口を言われた（54件）」が最も多く、次に「いじめ、仲間はずれ、いやがらせを受けた（37件）」、「セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメントを受けた（32件）」、「名誉や信用を傷つけられたり、屈辱を受けたりした（18件）」と続き、ほぼ全体の推移と近かった。
- ・「ドメスティック・バイオレンスを受けた」は、全回答数を女性が占める一方で、「保護者や教師などから体罰を受けた」では、ほぼ男性の回答が占めていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 ▩ 40歳代 ▪ 50歳代 ▫ 60歳代 ▬ 70歳代 □ 80歳以上



<< 回答数上位 5 項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「うわさ、悪口、かげ口を言われた（85件）」は、15件で30歳代

「いじめ、仲間はずれ、いやがらせを受けた（61件）」は、14件で30歳代と40歳代

「セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメントを受けた（50件）」は、11件で40歳代

「名誉や信用を傷つけられたり、屈辱を受けたりした（46件）」は、11件で60歳代

「プライバシーを侵害された（27件）」は、5件で60歳代

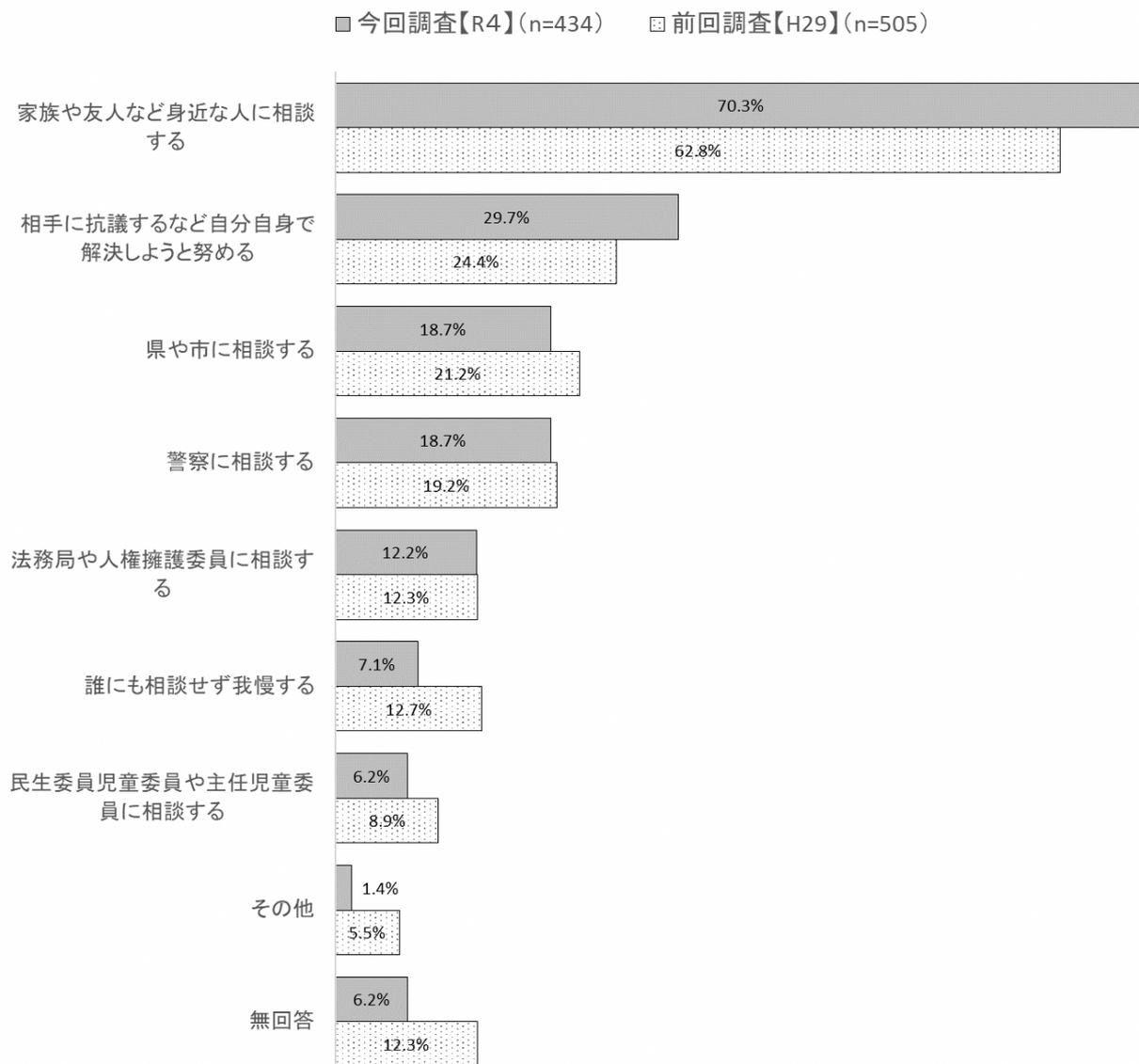
で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ 女性が目立つとかげ口を言われる事あります。少し目立つと言われるので、思いっきり目立つと(?) 認知され言われなくなるので、ふっきれた気持ちで気にしないで進む事が大切と思います。
- ・ 県外から転居した頃。
- ・ 上記 1.2.4 で学童保育の利用ができなくなり辞めた。
- ・ 女性の母数の少ないスポーツをしている際に「女がやるな」と小学生時代に他チームの保護者に言われた。また、小学生時代に大会に応募したところ性別を理由に断られた。
- ・ 80年間男尊女卑が続いてる職場でも家の中にもいまだに。
- ・ 社長に禁煙をしるとキョウセイされた。
- ・ 3~4才ごろに川に入って一所に遊んでくれるかと云われた。10才ごろ迄今日か今日と思っていた。④とは違います。
- ・ 性的な言動による嫌がらせ。

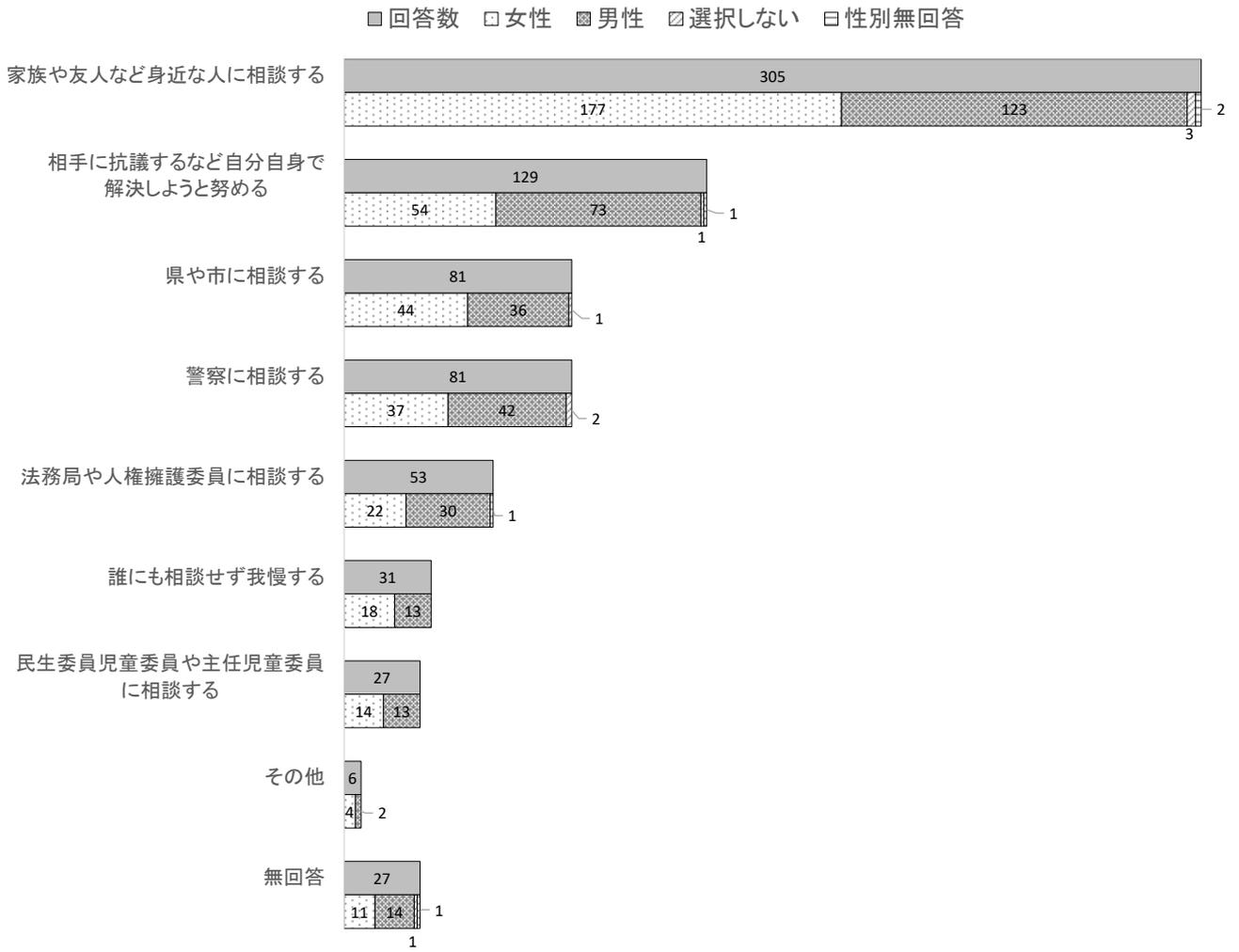
問7 もし、あなたの人権が侵害されたと感じた場合、どのような対応を取りますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・人権が侵害された場合の対応について聞いたところ、「家族や友人など身近な人に相談する（305件）」が最も多く、全体の7割強を占めていた。次に、「相手に抗議するなど自分自身で解決しようと努める（129件）」が続き、「県や市に相談する」と「警察に相談する」が同数（ともに81件）で並んだ。
- ・前回調査と比べて、「家族や友人など身近な人に相談する」と「相手に抗議するなど自分自身で解決しようと努める」以外の項目で減少し、中でも「誰にも相談せず我慢する」の減少率が最も大きかった。

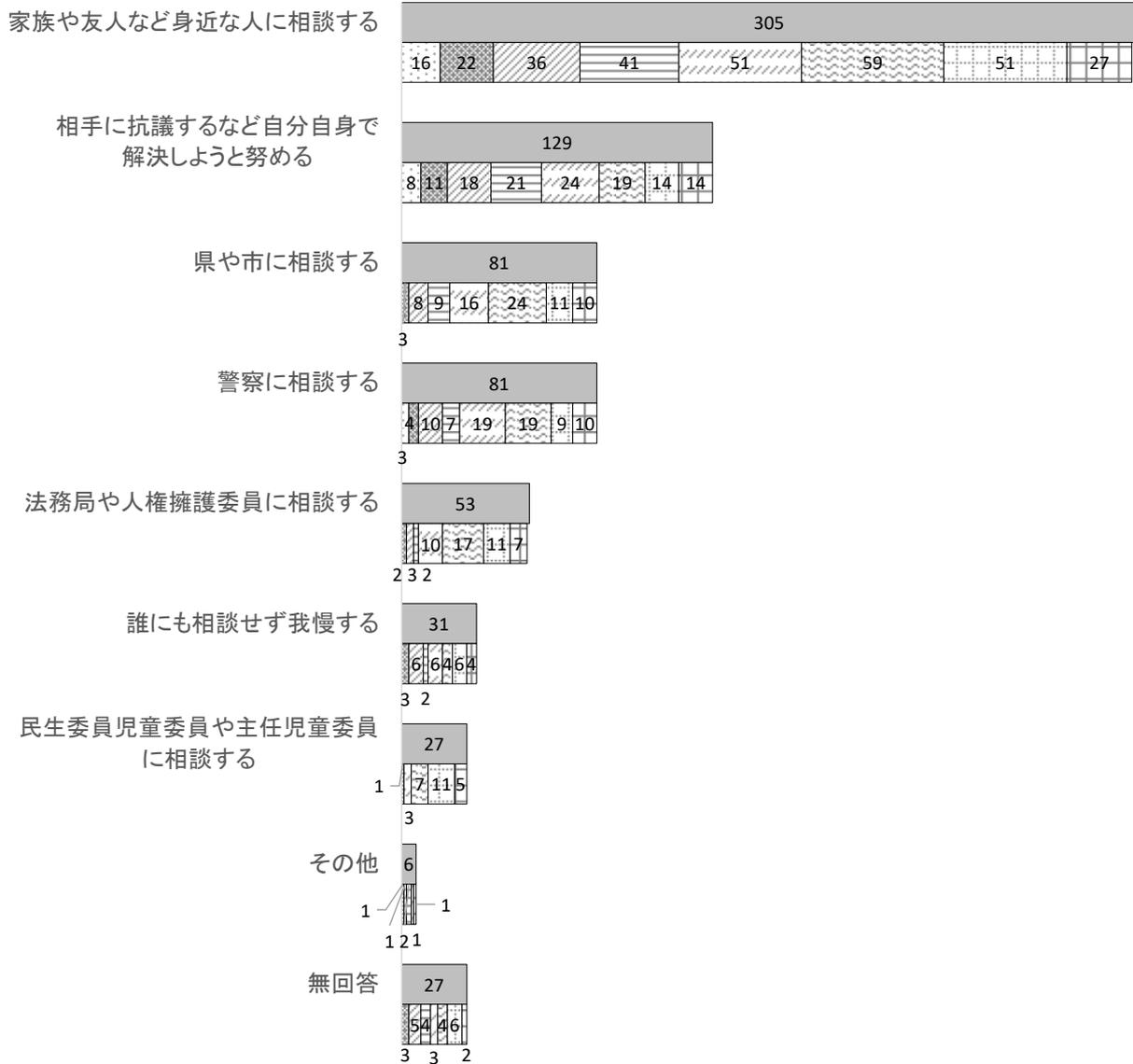
【 性別分布 】



・どの項目も、女性と男性とで、ほぼ半数ずつの回答数だった。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



・上位を占めている、

「家族や友人など身近な人に相談する（305件）」

「相手に抗議するなど自分自身で解決しようと努める（129件）」

「県や市に相談する（81件）」

「警察に相談する（81件）」

「法務局や人権擁護委員に相談する（53件）」

の年代別回答数を見ると、20～60歳代では、年代が上がるに連れ回答数が増える傾向にあった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「家族や友人など身近な人に相談する（305件）」は、59件で60歳代

「相手に抗議するなど自分自身で解決しようと努める（129件）」は、24件で50歳代

「県や市に相談する（81件）」は、24件で60歳代

「警察に相談する（81件）」は、19件で50歳代と60歳代

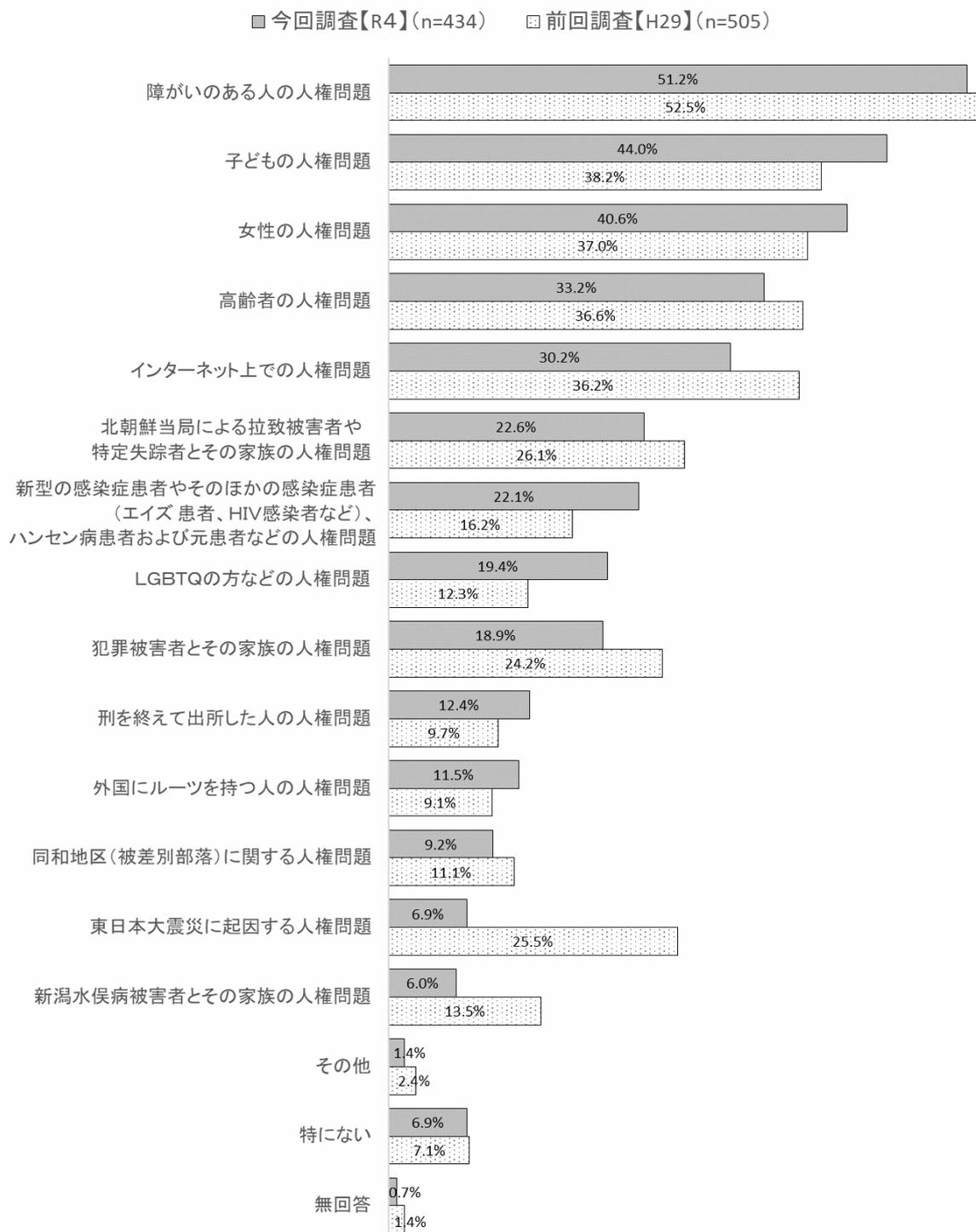
「法務局や人権擁護委員に相談する（53件）」は、17件で60歳代で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ 相談窓口を探す。まずは電話相談など対応してくれる所を探す。
- ・ 訴訟もしくは相談を弁護士に行い、場合によっては内容証明郵便等記録に残るやりとりを当該相手方に対して行うことが考えられる。
- ・ 身近にいるのがわからない。体制がなっていない。
- ・ なってみないとわからない。
- ・ マスコミに知らせる。

問8 私たちの身のまわりには、人権についての課題がいろいろありますが、あなたほどの人権問題に関心がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

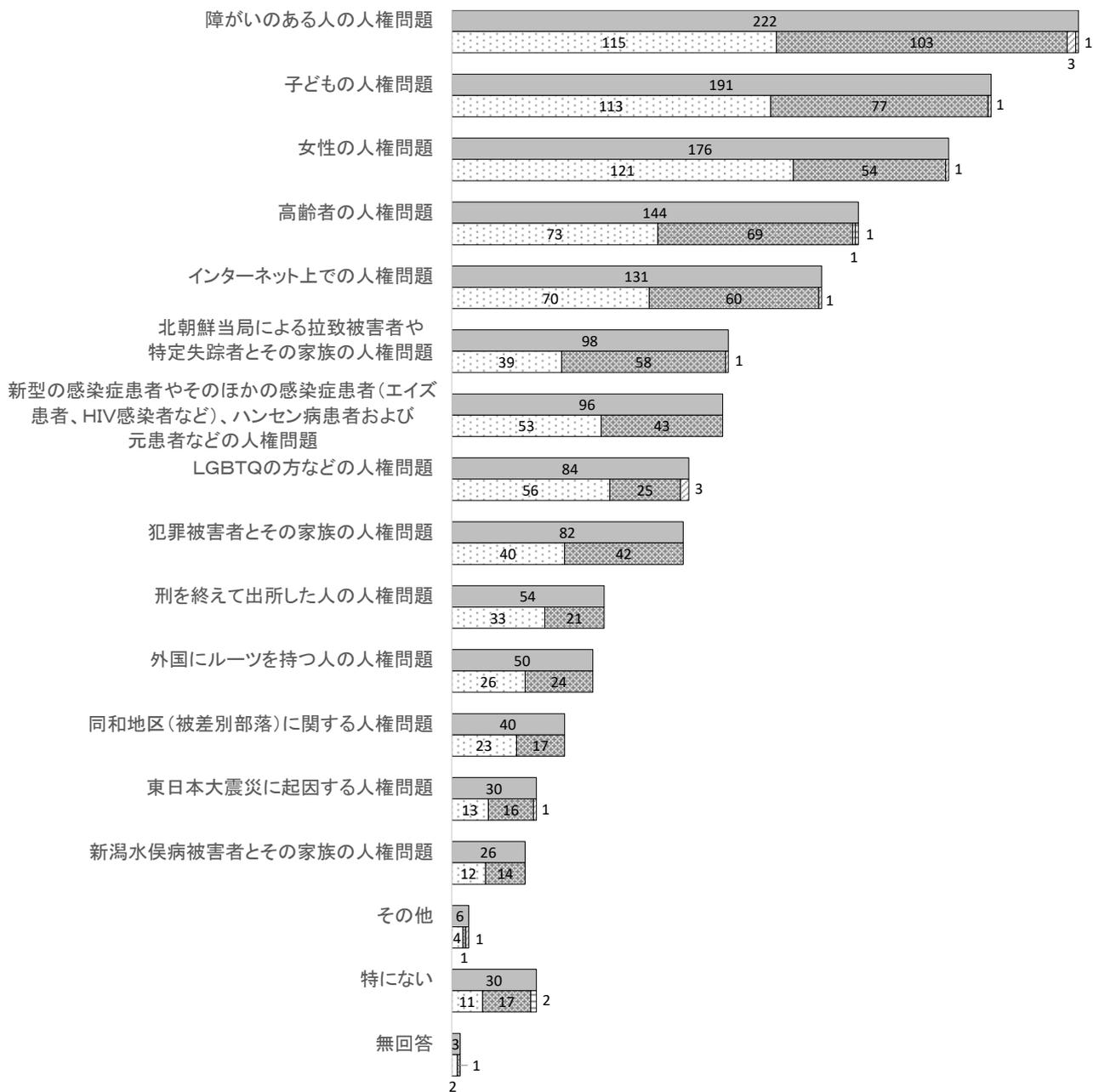
【 前回調査との比較 】



- ・ 関心のある人権問題について聞いたところ、「障がいのある人の人権問題（222件）」が最も多かった。次に、「子どもの人権問題（191件）」、「女性の人権問題（176件）」、「高齢者の人権問題（144件）」、「インターネット上での人権問題（131件）」と続いた。
- ・ 前回調査と比べて、「東日本大震災に起因する人権問題」の減少率が突出して大きかった。一方で、増加率が大きかったのは、「LGBTQの方などの人権問題」と「子どもの人権問題」だった。

【 性別分布 】

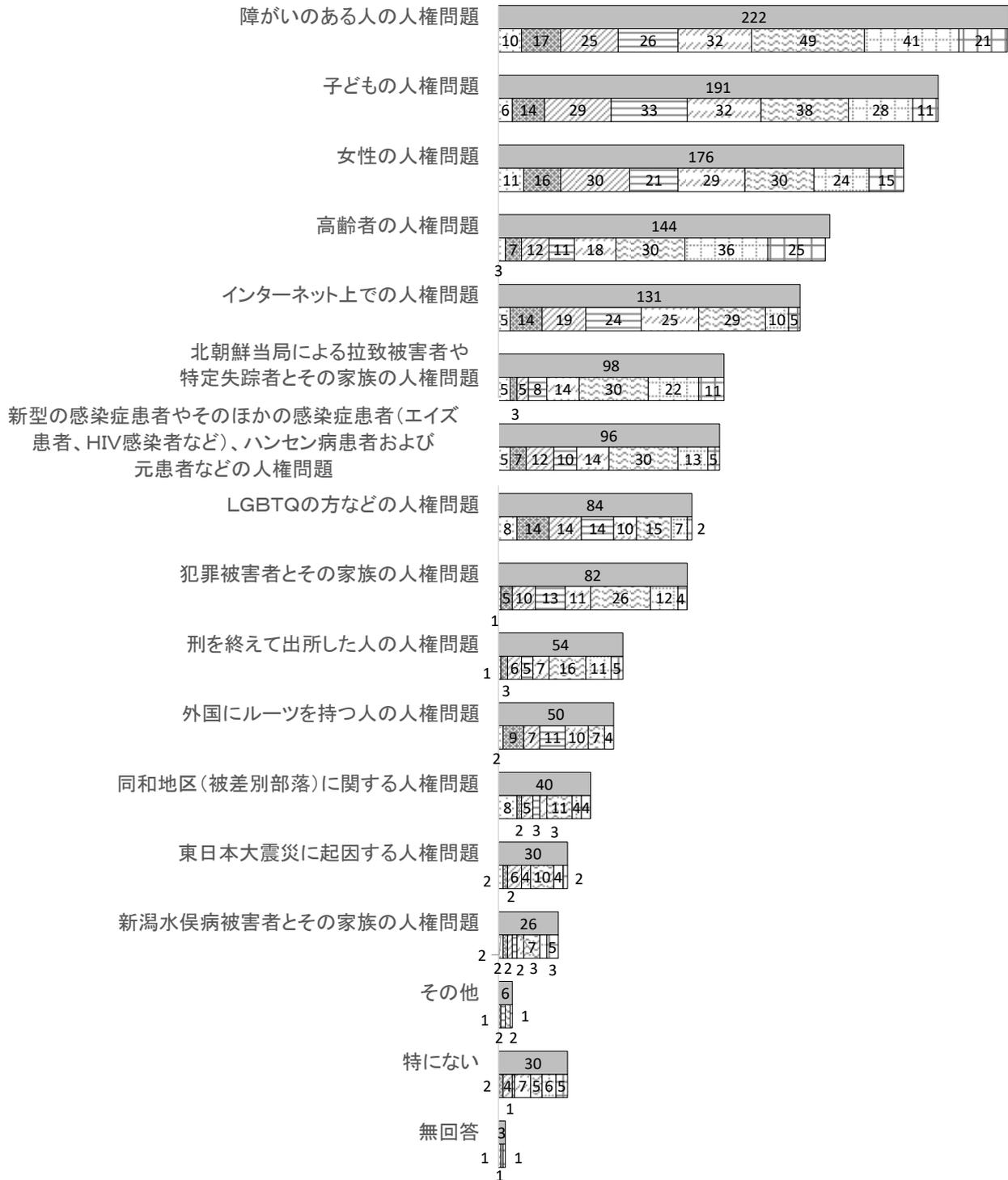
■ 回答数 □ 女性 ■ 男性 ▨ 選択しない □ 性別無回答



・女性の回答数が半数を超えた項目が多かった。

【 年代別分布 】

■ 回答数 ■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳以上



・「高齢者の人権問題（144件）」では、60歳代以上で半数以上の回答数を占めていた。

<< 回答数最上位項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「障がいのある人の人権問題（222件）」は、49件で60歳代で回答数が最も多かった。

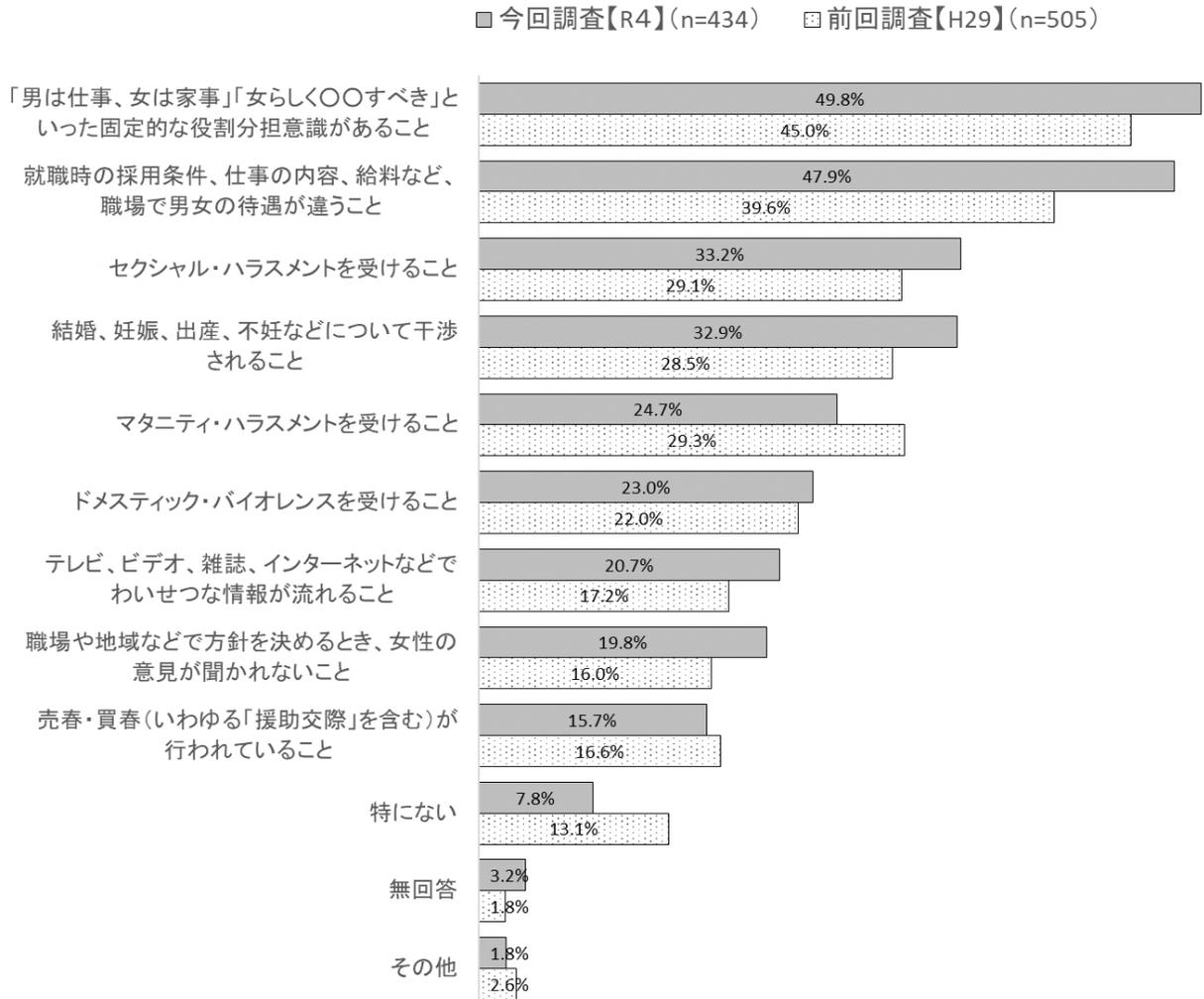
【 その他 】

- ・ 一般多数の人々とは異なる価値観(但し反社会的なものではないもの)を持つ人の人権問題。
- ・ いじめ問題 (子供)、人権とはちがうのかもしれないが、いじめられた側ががまんすることが多く、加害者は悪いことをしても教室にいて、その後も変わらない生活を送り続けられている。いじめられた側を守る方法を探してほしい。
- ・ 教育を受ける権利。
- ・ 加害者の家族の人権問題 (犯罪とは直接的に関係ない場合)。
- ・ 男性に人権問題がない考え。
- ・ 近隣町内でのありもしない男女間のうわさ話で苦しんでいる身近な人権問題。

3 女性の人権について

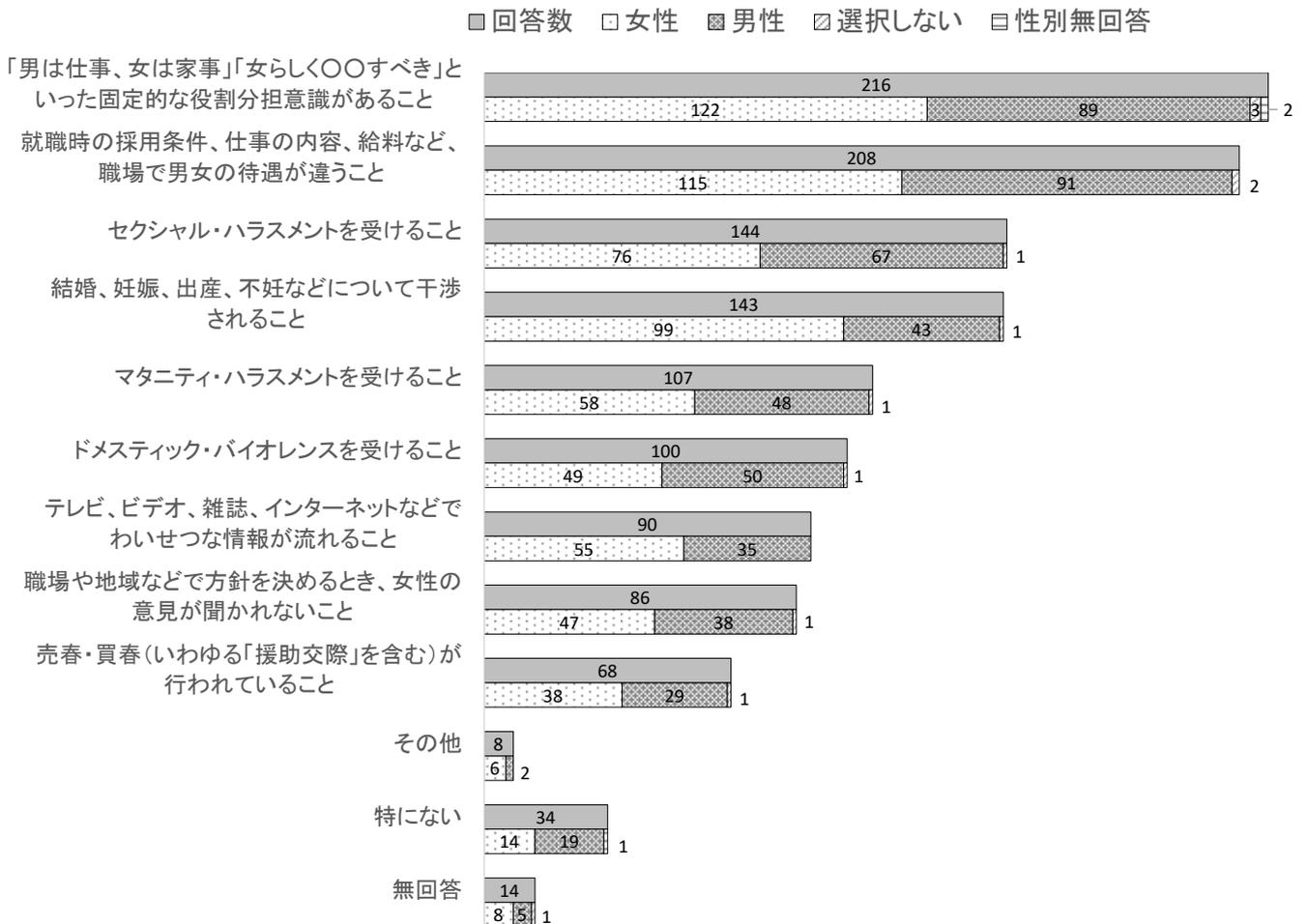
問9 女性の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・女性の人権について問題があると思うことは、「男は仕事、女は家事」「女らしく○○すべき」といった固定的な役割分担意識があること（216件）が最も多かった。次に、「就職時の採用条件、仕事の内容、給料など、職場で男女の待遇が違うこと（208件）」、「セクシャル・ハラスメントを受けること（144件）」、「結婚、妊娠、出産、不妊などについて干渉されること（143件）」、「マタニティ・ハラスメントを受けること（107件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「マタニティ・ハラスメントを受けること」の減少率が最も大きく、「就職時の採用条件、仕事の内容、給料など、職場で男女の待遇が違うこと」の増加率が最も大きかった。

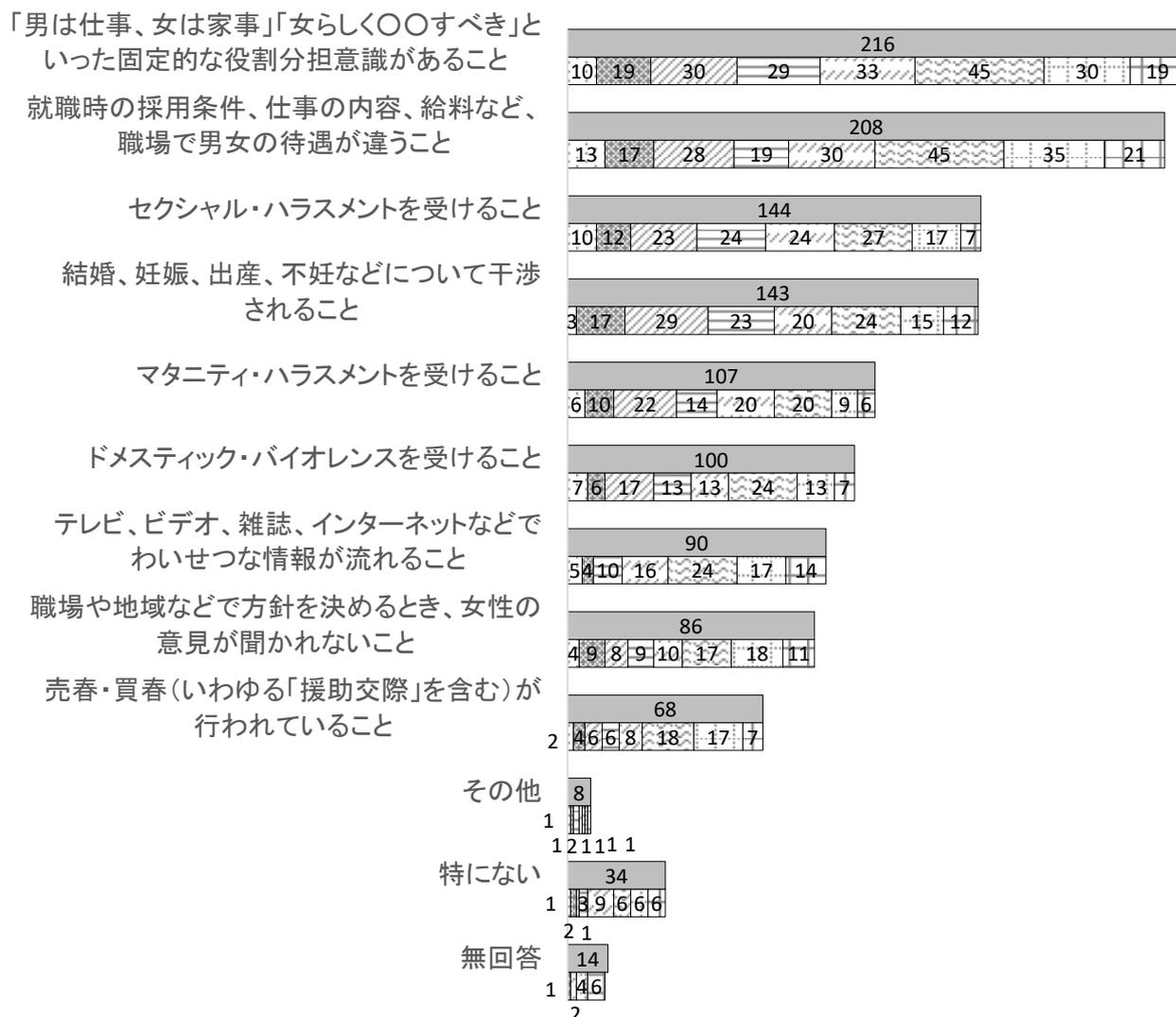
【 性別分布 】



- ・「結婚、妊娠、出産、不妊などについて干渉されること（143件：女性：99件、男性43件）」では、女性の回答数が男性を大きく上回っていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ■ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



・上位3項目では、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「男は仕事、女は家事」「女らしく〇〇すべき」といった固定的な役割分担意識があること (216件) は、45件で60歳代

「就職時の採用条件、仕事の内容、給料など、職場で男女の待遇が違うこと (208件)」は、45件で60歳代

「セクシャル・ハラスメントを受けること (144件)」は、27件で60歳代

「結婚、妊娠、出産、不妊などについて干渉されること (143件)」は、29件で30歳代

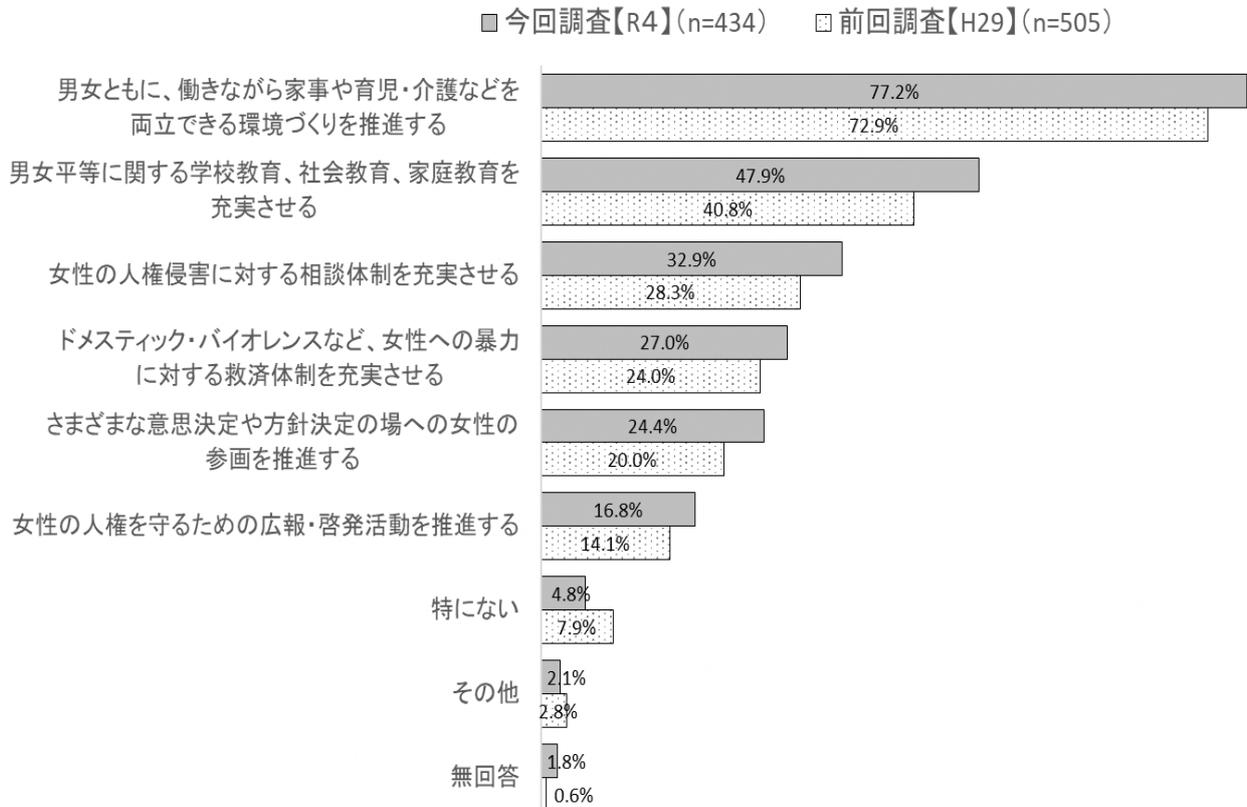
「マタニティ・ハラスメントを受けること (107件)」は、22件で30歳代で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ 女性が仕事も家事もかんぺきにこなされることが求められること。負担がかかりすぎ。
- ・ 育休中、子どもの具合が悪いと、全て母親が仕事を休まなければならない。小千谷市内の勤務先は男性が育児のために休むことへの理解が少ない。もしくは、勤務体制の整備が小千谷市はおくれている。
- ・ 市の文書「男性用は…女性用は…」1に該当区別する理由が不明。
- ・ ストーカー。
- ・ 今迄のうちは一生懸命過ごしてきた。
- ・ 役割分担意識や方針決定の場などに女性が自ら参加しようとしなない事が問題。
- ・ YouTube の CM で、女性を侮辱したセリフがある。(美容系商品)
- ・ 自分の役割、分担任務に対する意識がないから、このような問題が生ずる。

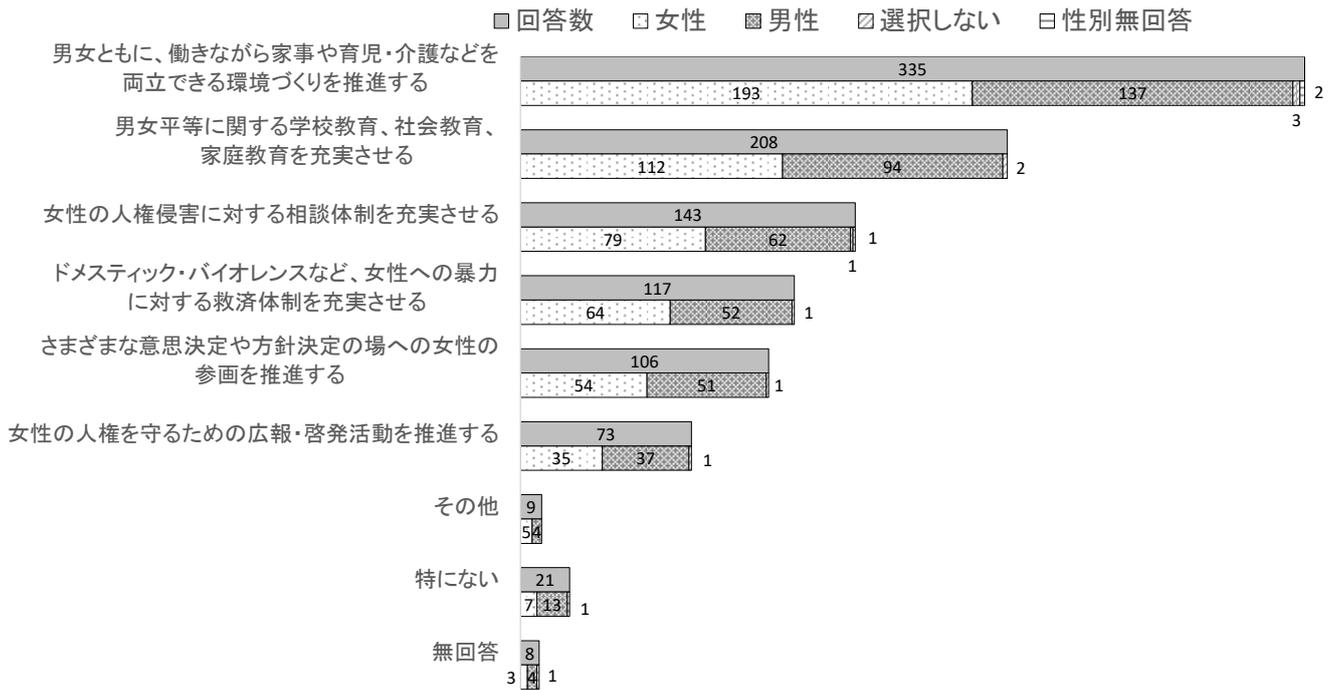
問 10 あなたは女性の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・女性の人権を守るために必要なことは、「男女ともに、働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境づくりを推進する（335件）」が最も多く、全体の8割弱を占めていた。次に、「男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる（208件）」、「女性の人権侵害に対する相談体制を充実させる（143件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる」の増加率が最も大きかった。

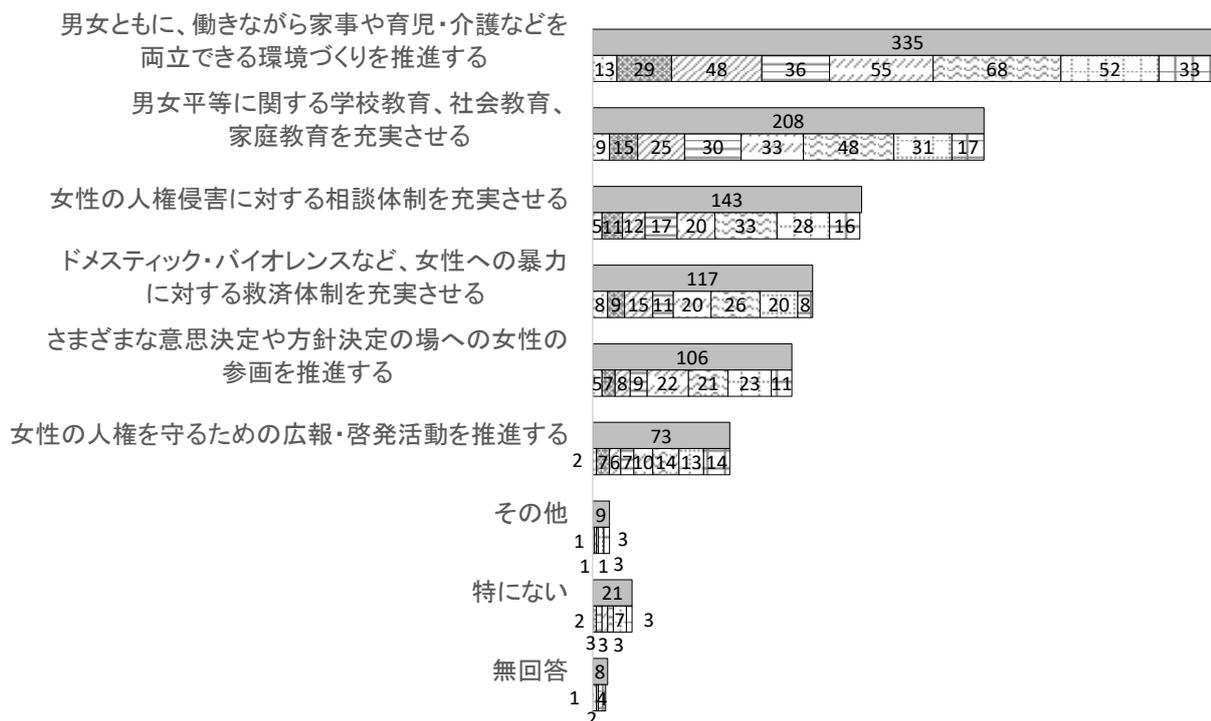
【 性別分布 】



- ・「女性の人権を守るための広報・啓発活動を推進する（73件：女性35件、男性37件）」では、男性の回答数が女性を上回っていたが、それ以外は、女性の回答数が男性を上回っていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 □ 50歳代 ▨ 60歳代 ▨ 70歳代 □ 80歳以上



・上位項目では、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「男女ともに、働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境づくりを推進する(335件)」は、68件で60歳代

「男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる(208件)」は、48件で60歳代

「女性の人権侵害に対する相談体制を充実させる(143件)」は、33件で60歳代

「ドメスティック・バイオレンスなど、女性への暴力に対する救済体制を充実させる(117件)」は、26件で60歳代

「さまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参画を推進する(106件)」は、23件で70歳代

で回答数が最も多かった。

【 その他 】

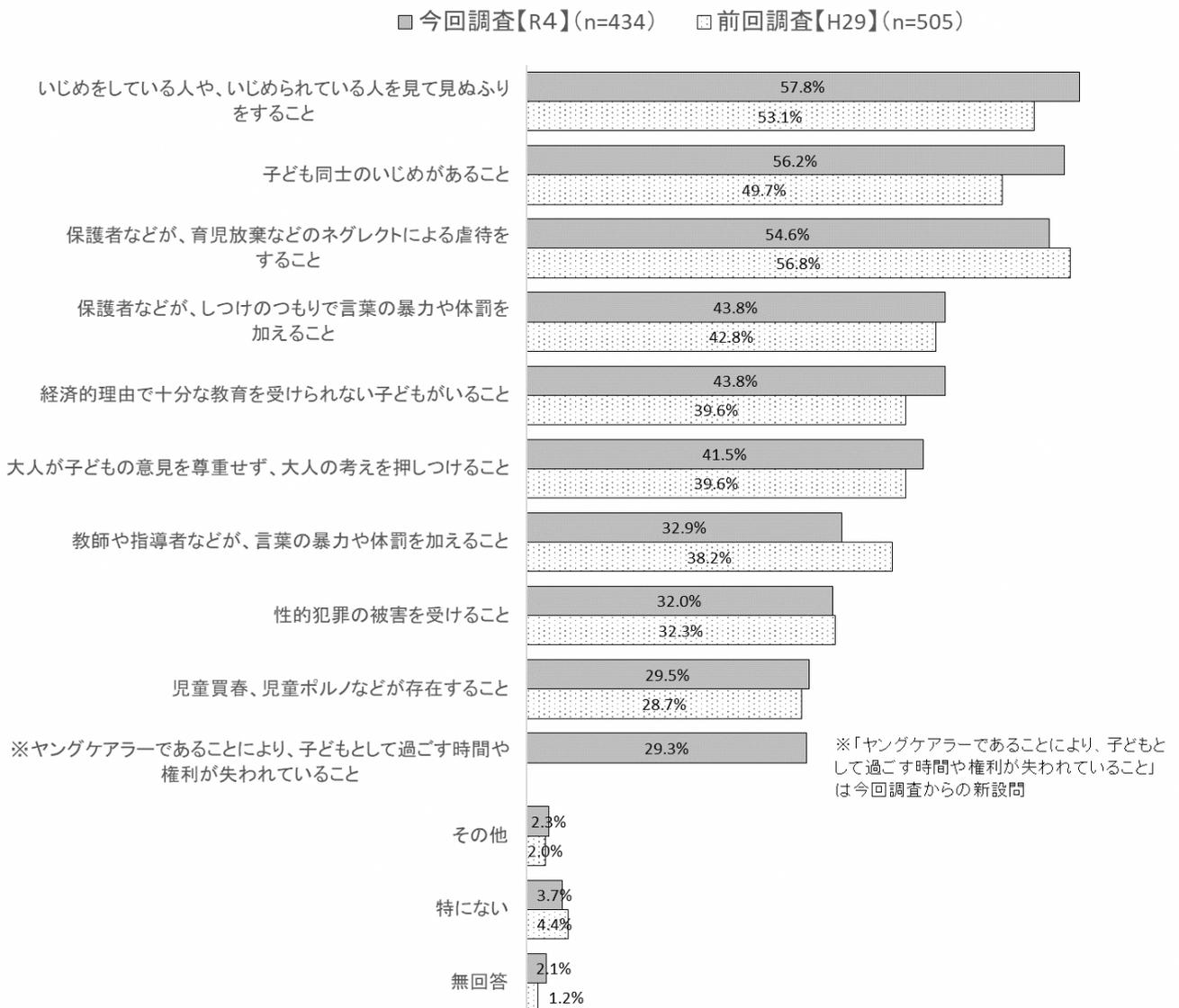
- ・ わからない。
- ・ 「女性」を取り上げて特別に対応しようとする風潮を廃止する。
- ・ 人権もそうですが基本的には親がどう育てたかが問われる。
- ・ 妊娠出産で一時的に仕事を休む時に休みやすかったり周りの理解が得られやすい職場。
- ・ 平等を前面に出すのではなく、一人一人の個性を大事に得意とするもの（それは男女に関係なく）ができる様にする。
- ・ 男女平等の意味の定義。
- ・ 家庭の中で親がしっかりと子供に“人がいやがることはしていけない”と教えることが大切。
- ・ 男女の区別をする体系とすることで互いに惻隱の心をもって生活できるものである。自由と平等では争いしか起きません！

4 子どもの人権について

問 11 子どもの人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

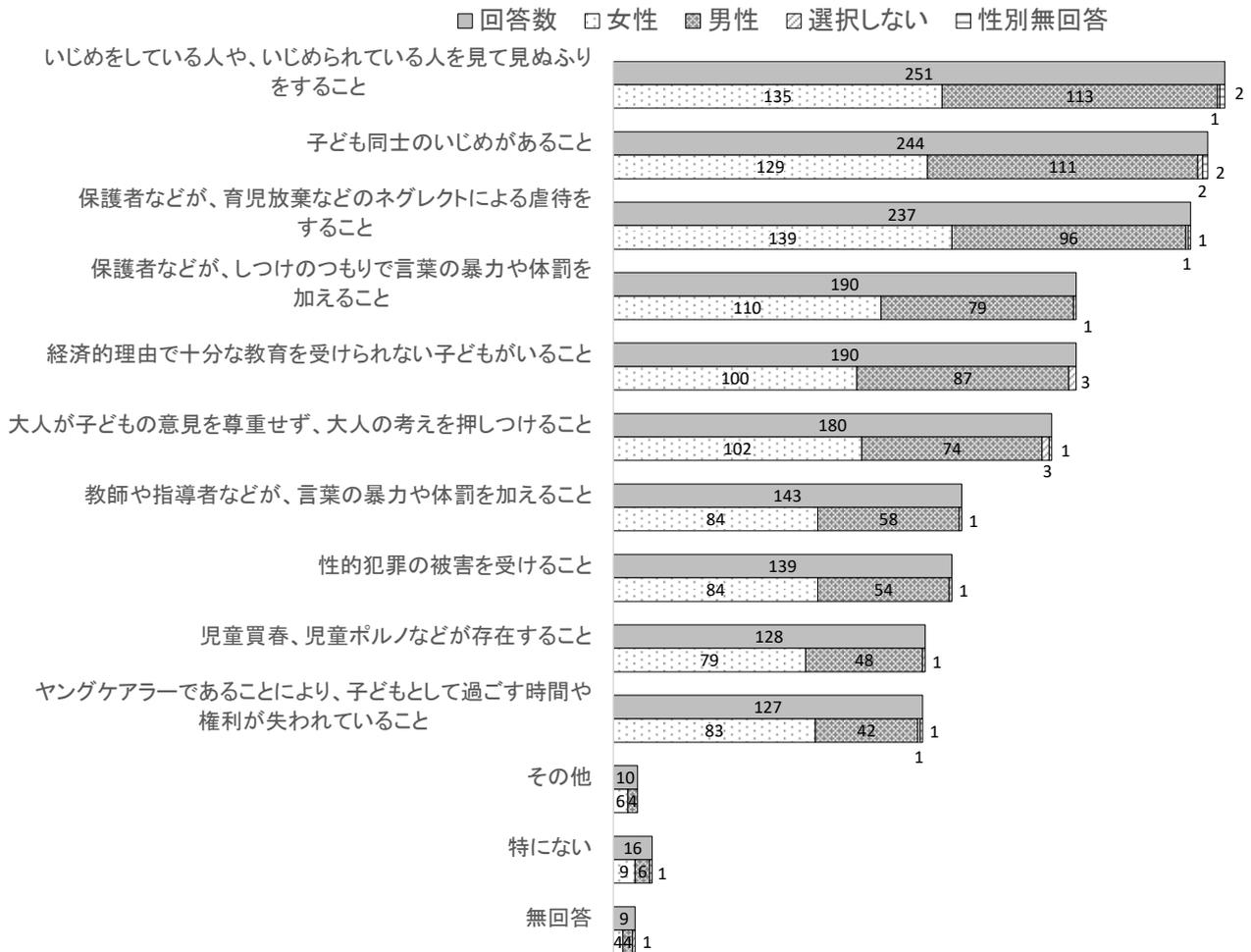
【 前回調査との比較 】



・子どもの人権について問題があると思うことは、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること（251件）」が最も多く、次に、「子ども同士のいじめがあること（244件）」、「保護者などが、育児放棄などのネグレクトによる虐待をすること（237件）」と続き、「保護者などが、しつけのつもりで言葉の暴力や体罰を加えること」と「経済的理由で十分な教育を受けられない子どもがいること」が同数（ともに190件）で並んだ。項目ごとの回答数差は比較的小さかった。

・前回調査と比べて、「教師や指導者などが、言葉の暴力や体罰を加えること」の減少率が最も大きく、「子ども同士のいじめがあること」の増加率が最も大きかった。

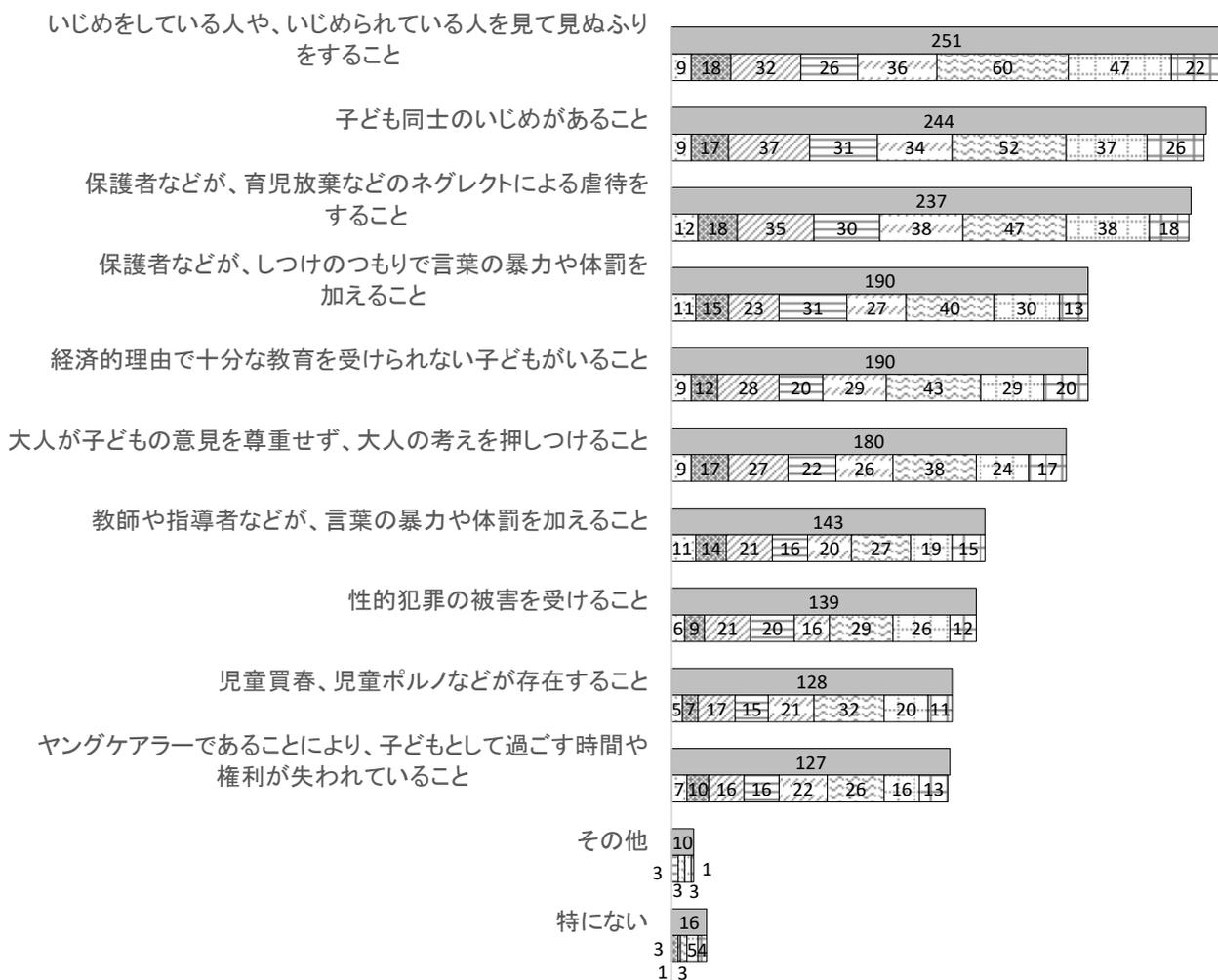
【 性別分布 】



- ・「ヤングケアラーであることにより、子どもとして過ごす時間や権利が失われていること（127件：女性 83 件、男性 42 件）」と「保護者などが、育児放棄などのネグレクトによる虐待をすること（237 件：女性 139 件、男性 96 件）」では、女性と男性の回答数差が比較的大きかった。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 □ 50歳代 ▨ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



・すべての項目で、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事（251件）」は、60歳代

「子ども同士のいじめがあること（244件）」は、52件で60歳代

「保護者などが、育児放棄などのネグレクトによる虐待をすること（237件）」は、47件で60歳代

「保護者などが、しつけのつもりで言葉の暴力や体罰を加えること（190件）」は、40件で60歳代

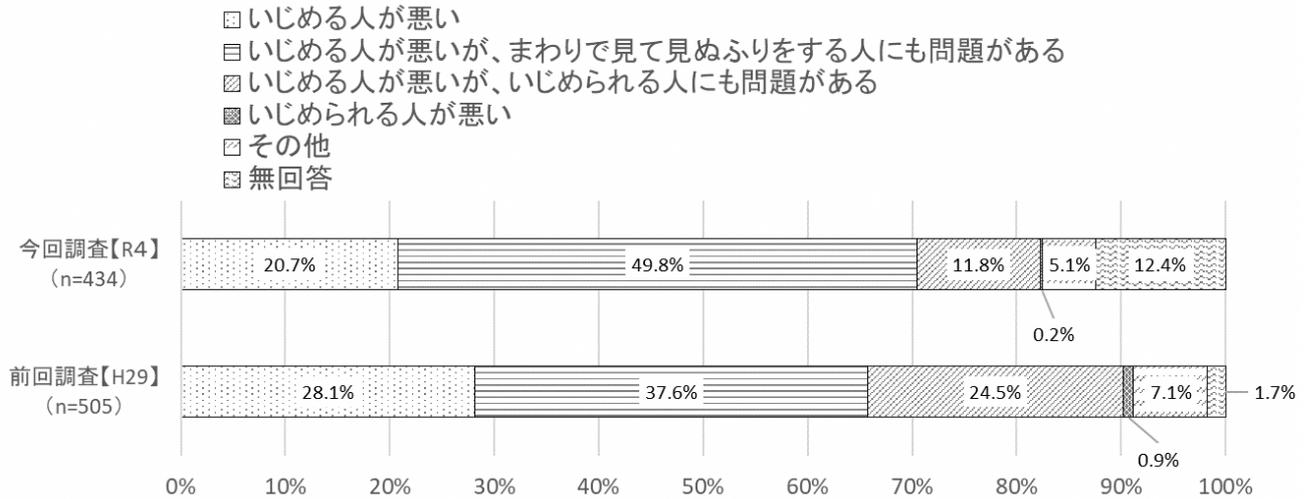
「経済的理由で十分な教育を受けられない子どもがいること（190件）」は、43件で60歳代で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ 子供に自立心をもたせるように親が心がけること。
- ・ 子供の声がうるさいなどと苦情を言うなど、自分本位の行動に走る大人がいること。
- ・ いじめた側の子供に対しての指導が、教師からの注意だけで終わっていること。ひどい行為を繰り返す子供にもペナルティを与えて悪は悪であることを教えて繰り返さないようにして欲しい。注意するだけでは何も解決しないで苦しんでいる子がいます。小学生でも学校以外の専門施設等で指導するとか悪いことをしたら、どうなるか社会に出て同じことをしたら刑務所だということを教えてほしい。
- ・ 今自分のまわりでは確認できないが、テレビでみたり（日本人）他の国で大勢の子供達が犠牲になっている事に胸が痛みます。
- ・ 不登校の子たちの第2、第3の居場所がない。
- ・ 当市に4.5.6.8等提案があるのですか。
- ・ 自分はヤングケアラーでしたが、家族として当然のことをしていると思っていたし、苦ではなかった。「ヤングケアラー」の言葉で、家族愛を悪いことにすることも問題。
- ・ いじめる側いじめられる側両方にもまなぶ事が有る。
- ・ 指導者自身の権威、指導力、忍耐、子供への愛情等々が足りないのでは？

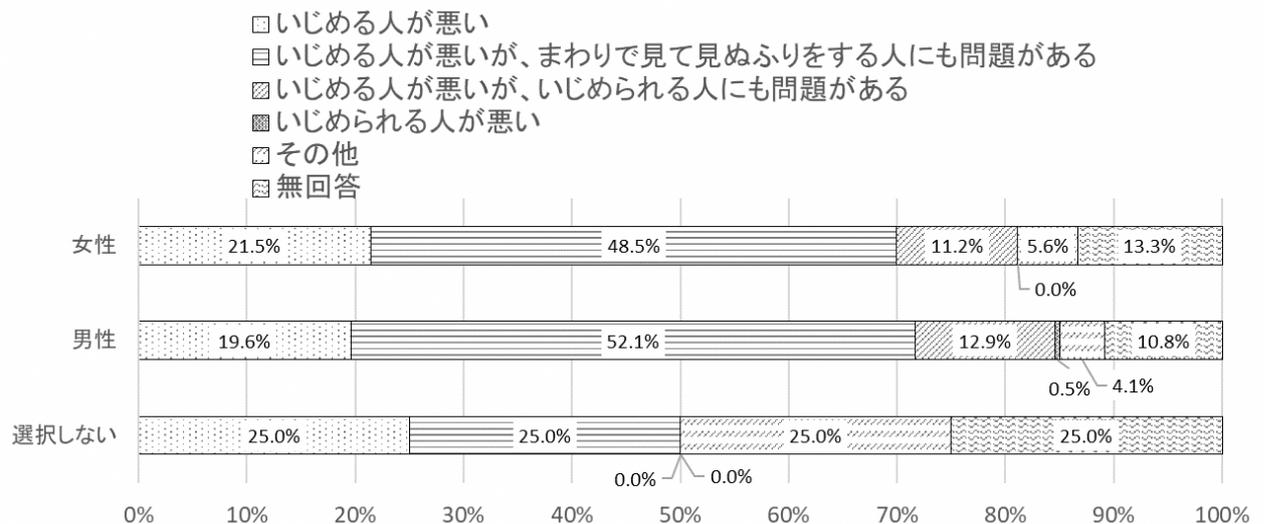
問 12 学校における子どもの「いじめ」問題について、あなたはどのように考えますか。特にあてはまる番号1つに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



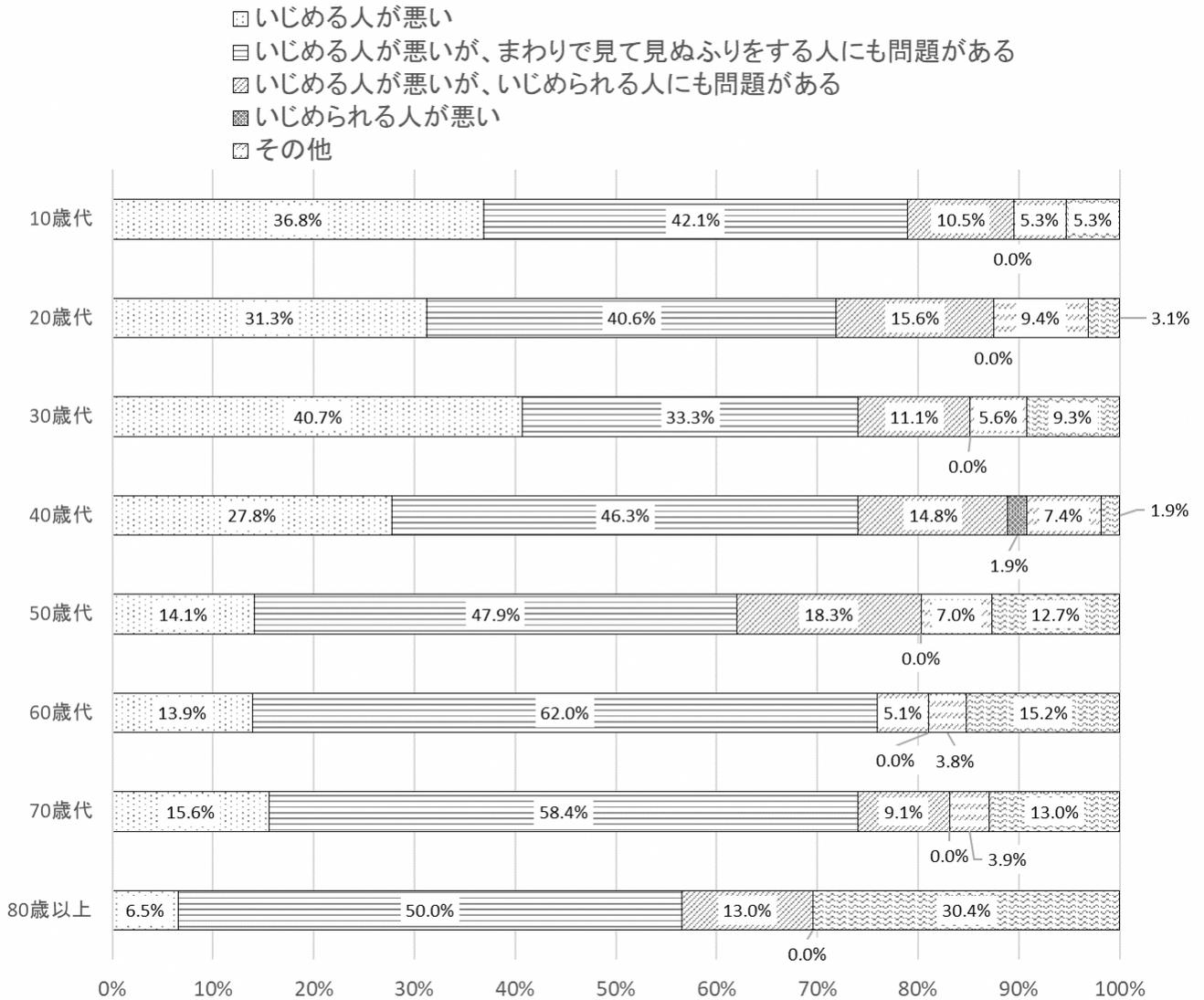
- ・学校における子どもの「いじめ」問題について聞いたところ、「いじめの人が悪いが、まわりで見ても見ぬふりをする人にも問題がある（49.8%）」が最も高く、ほぼ5割を占めていた。次に、「いじめの人が悪い（20.7%）」、「いじめの人が悪いが、いじめられる人にも問題がある（11.8%）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「いじめの人が悪いが、まわりで見ても見ぬふりをする人にも問題がある」で大きく増加し、「いじめの人が悪いが、いじめられる人にも問題がある」で大きく減少した。

【 性別分布 】



- ・性別では、女性も男性も、「いじめの人が悪いが、まわりで見ても見ぬふりをする人にも問題がある（女性 48.5%、男性 52.1%）」が最も高く、次に、「いじめの人が悪い（女性 21.5%、男性 19.6%）」、「いじめの人が悪いが、いじめられる人にも問題がある（女性 11.2%、男性 12.9%）」と続いた。
- ・回答順位は、女性も男性も同順だが、「いじめの人が悪い（女性 21.5%、男性 19.6%）」の回答割合が、男性より女性の方がやや高かった。

【 年代別分布 】



- ・回答数が最も高い「いじめる人が悪いが、まわりで見て見ぬふりをする人にも問題がある」では、60歳代以上で回答割合が5割以上となっていた。(60歳代62.0%、70歳代58.4%、80歳以上50.0%)

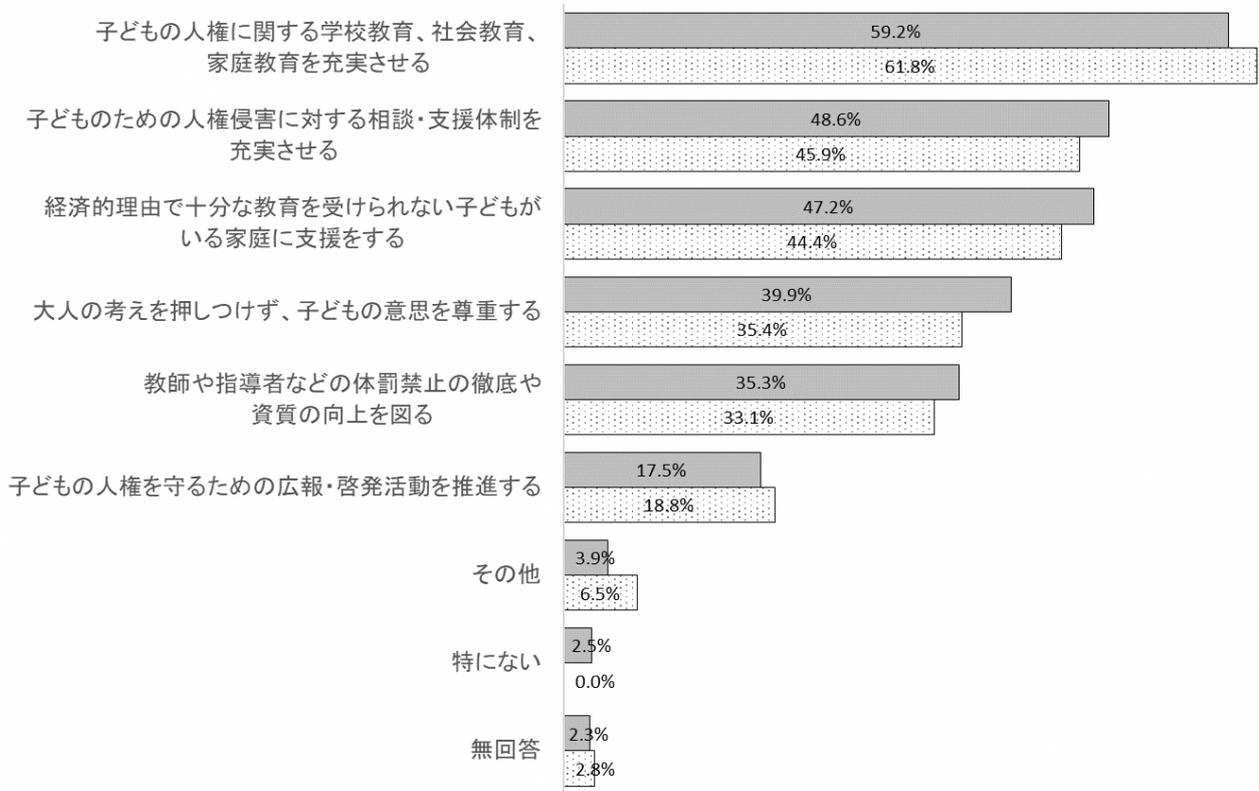
【 その他 】

- ・ 親に問題がある。
- ・ だれが悪いとか考えることがそもそも悪い。
- ・ いじめる人をとりまく環境（ストレス等）が悪い。
- ・ いじめる人をケアして、いじめをしなくなる体制がよわい。いじめがあると、いじめられている人だけががんばらなくてはいけないのはおかしい。
- ・ 大人の行動に問題があると思います。
- ・ いじめている人の家庭環境の調査やカウンセラー等の必要なケアがあった方が今後のいじめ防止につながるのではないのでしょうか。
- ・ 大人である教職員、保護者が悪い。いじめは常にあるものという認識に欠けており、子どもに責任を押しつけている。
- ・ 人は弱者、強者がいるので、いじめはなくなるならない。
- ・ いじめをする子供は何かしらのストレスをかかえているからかもしれないが、大人になって誰かをいじめていた自分を振り返ると意外といじめていたという認識ないのかもしれないとも思う。
- ・ 良いわるいの2項問の問題でなく、取り巻く環境を可能な限り調べて明るみに出す。
- ・ いじめる人が悪いが、家庭など自分の居場所、価値に問題を抱えるような社会に問題がある。
- ・ いじめが起こる全ての環境。
- ・ いじめる人が悪いがいじめている人が自分がいじめているという意識がない場合に問題がある。
- ・ 問題解決に積極的でない教員、教師。
- ・ 親のかかわり方によると思う。いじめる側の子供。
- ・ 子どもが、そうしてしまう背景。家庭の悩み、孤立、そうなるまでのサインを見逃してしまう事が問題。
- ・ どちらが悪いと決めつけず、真実はどうなのか知る（調べる）どちらの子供にも心に傷があるはず。
- ・ いじめる側の心の問題がある事も多い為、そのケアも必要。
- ・ 事象ごとに原因が異なるので一括りにして考えない。
- ・ 色々の経験は大事。
- ・ 道徳心、公德心の涵養を要す。権利ばかり振りかざす者が増えたら世も末である。

問 13 あなたは子どもの人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

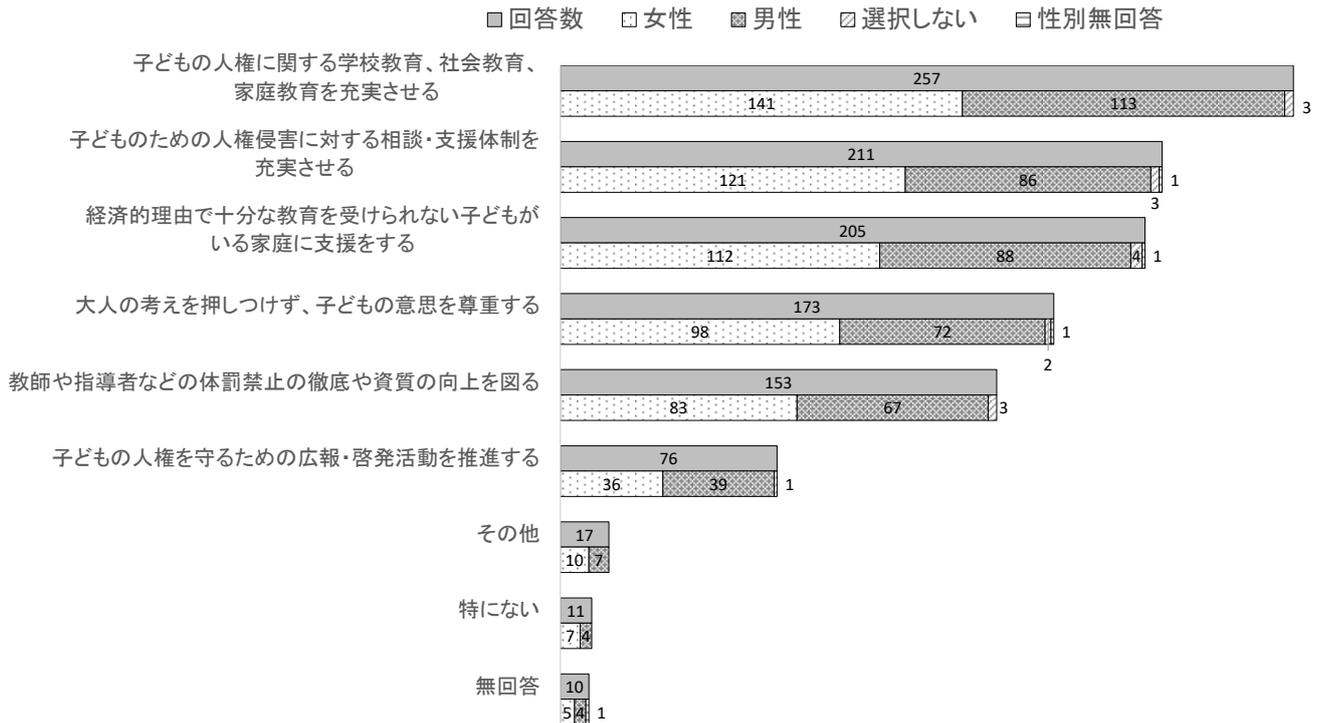
【 前回調査との比較 】

■ 今回調査【R4】(n=434) □ 前回調査【H29】(n=505)



- ・子どもの人権を守るために必要なことは、「子どもの人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる（257件）」が最も多かった。次に、「子どものための人権侵害に対する相談・支援体制を充実させる（211件）」、「経済的理由で十分な教育を受けられない子どもがいる家庭に支援をする（205件）」、「大人の考えを押しつけず、子どもの意思を尊重する（173件）」、「教師や指導者等の体罰禁止の徹底や資質の向上を図る（153件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、大きな変化はなかった。

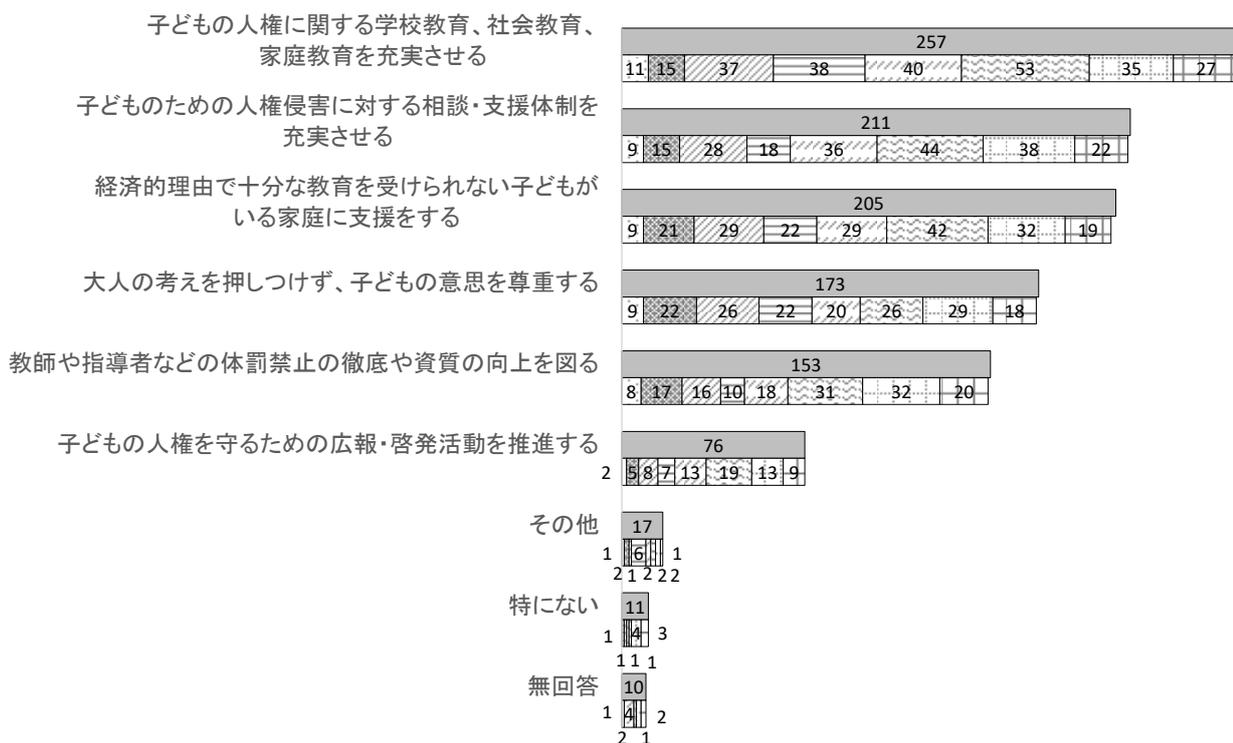
【 性別分布 】



- ・「子どものための人権侵害に対する相談・支援体制を充実させる（121件/211件）」と「子どもの人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる（141件/257件）」では、女性の回答数が女性全体（233件）の半数を超えていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ▨ 20歳代 ▩ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▩ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



・ 上位 3 項目では、60 歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位 5 項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「子どもの人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる (257 件)」は、53 件で 60 歳代

「子どものための人権侵害に対する相談・支援体制を充実させる (211 件)」は、44 件で 60 歳代

「経済的理由で十分な教育を受けられない子どもがいる家庭に支援をする (205 件)」は、42 件で 60 歳代

「大人の考えを押しつけず、子どもの意思を尊重する (173 件)」は、29 件で 70 歳代

「教師や指導者等の体罰禁止の徹底や資質の向上を図る (153 件)」は、32 件で 70 歳代で回答数が最も多かった。

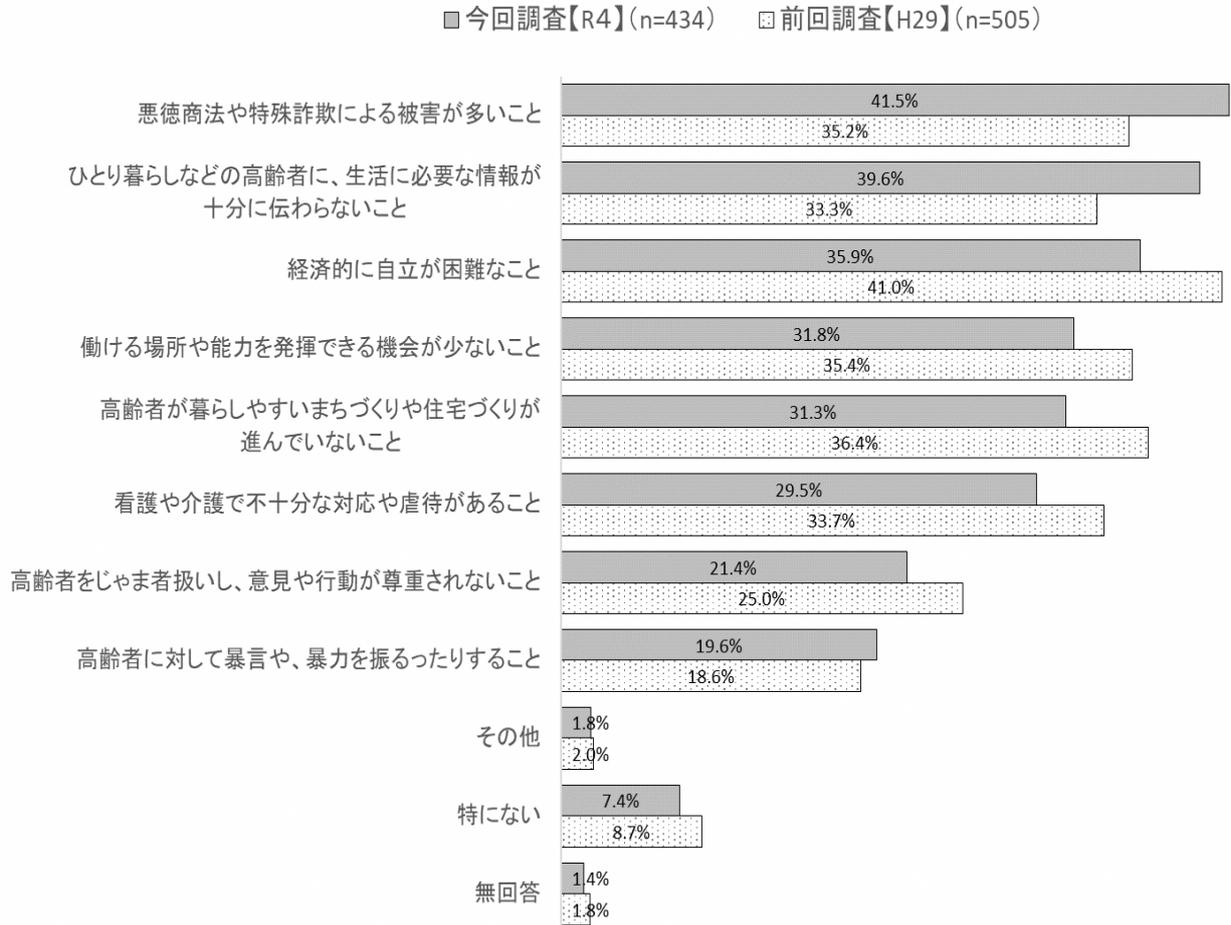
【 その他 】

- ・ いじめの加害者に対しての適切な対応と被害者の心のケア。
- ・ 嫌なことは嫌だと言っていいのだという事を小さい頃から身に付ける。
- ・ 親にしつけ。
- ・ クラス人数（担当）を少なくする。子どもにも教員を選ぶ権利を。
- ・ 教師の質、人間性に不安を感じる。教師やカウンセラーなど心のケアについての知識、対応力を高めて欲しい。中学に支援学級の説明会に親子で行った際に、支援学級の先生に「知的障害クラスは…情緒クラスは…」という言葉で説明された。子供を前にしてふさわしくない表現をされて本当にショックで不安になった。“障害”をバカにされた気分でした。
- ・ 人権を低下したり世の中へ広めにくくする SNS の廃止。
- ・ 教師などが子供に体罰をすること自体、無いのが当然。相手は子供なのに大人のすることではない！
- ・ こどもに優しい社会作り。
- ・ フリースクールなどの施設、専門のチームが必要。
- ・ 高校できこえるように言う悪口、それをたのしんで言う人。親、妹にぼうりょく（DV）、言葉のぼうりょく、それにより死を考えてしまっている人がいたりする。
- ・ CAP。
- ・ 1. 2. 3 が不足しているから問題になるのではないか。
- ・ そもそも正解がないと思います。
- ・ 教員、教師への教育。
- ・ 自己肯定感を高めること。（大人自身が）
- ・ 自分自身が強くなる努力が大事。
- ・ 前問 12 の答 5 と同じ。大人も子供も道徳心、公德心の涵養。権利教育で子供を救うことはできない。

5 高齢者の人権について

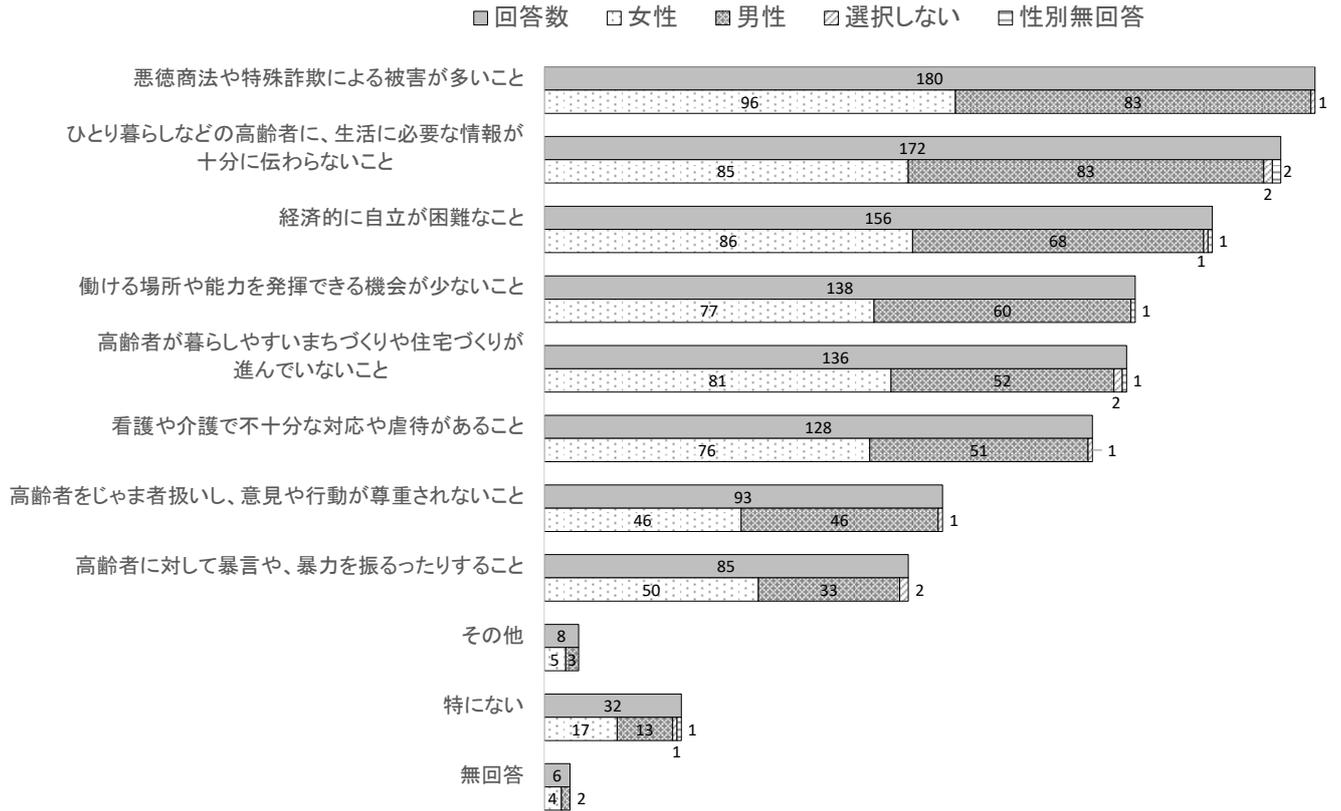
問 14 高齢者の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・ 高齢者の人権について問題があると思うことは、「悪徳商法や特殊詐欺による被害が多いこと（180件）」が最も多かった。次に、「ひとり暮らしなどの高齢者に、生活に必要な情報が十分に伝わらないこと（172件）」、「経済的に自立が困難なこと（156件）」、「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと（138件）」、「高齢者が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと（136件）」と続いた。
- ・ 前回調査と比べて、「経済的に自立が困難なこと」と「高齢者が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと」の減少率が最も大きく、「悪徳商法や特殊詐欺による被害が多いこと」と「ひとり暮らしなどの高齢者に、生活に必要な情報が十分に伝わらないこと」の増加率が最も大きかった。

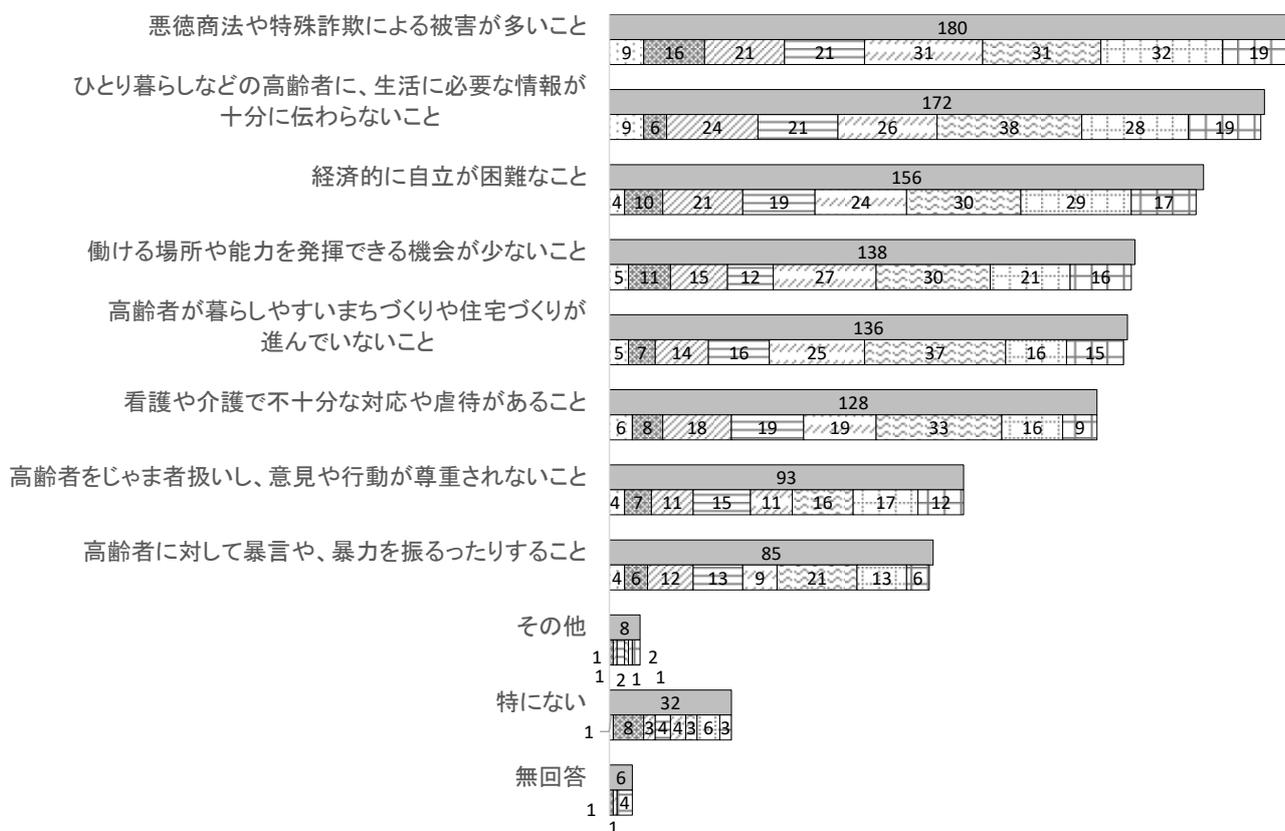
【 性別分布 】



・性別で大きな差はみられなかった。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 ▨ 70歳代 □ 80歳以上



- ・ほとんどの項目で60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「悪徳商法や特殊詐欺による被害が多いこと（180件）」は、32件で70歳代

「ひとり暮らしなどの高齢者に、生活に必要な情報が十分に伝わらないこと（172件）」は、38件で60歳代

「経済的に自立が困難なこと（156件）」は、30件で60歳代

「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと（138件）」は、30件で60歳代

「高齢者が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと（136件）」は、37件で60歳代

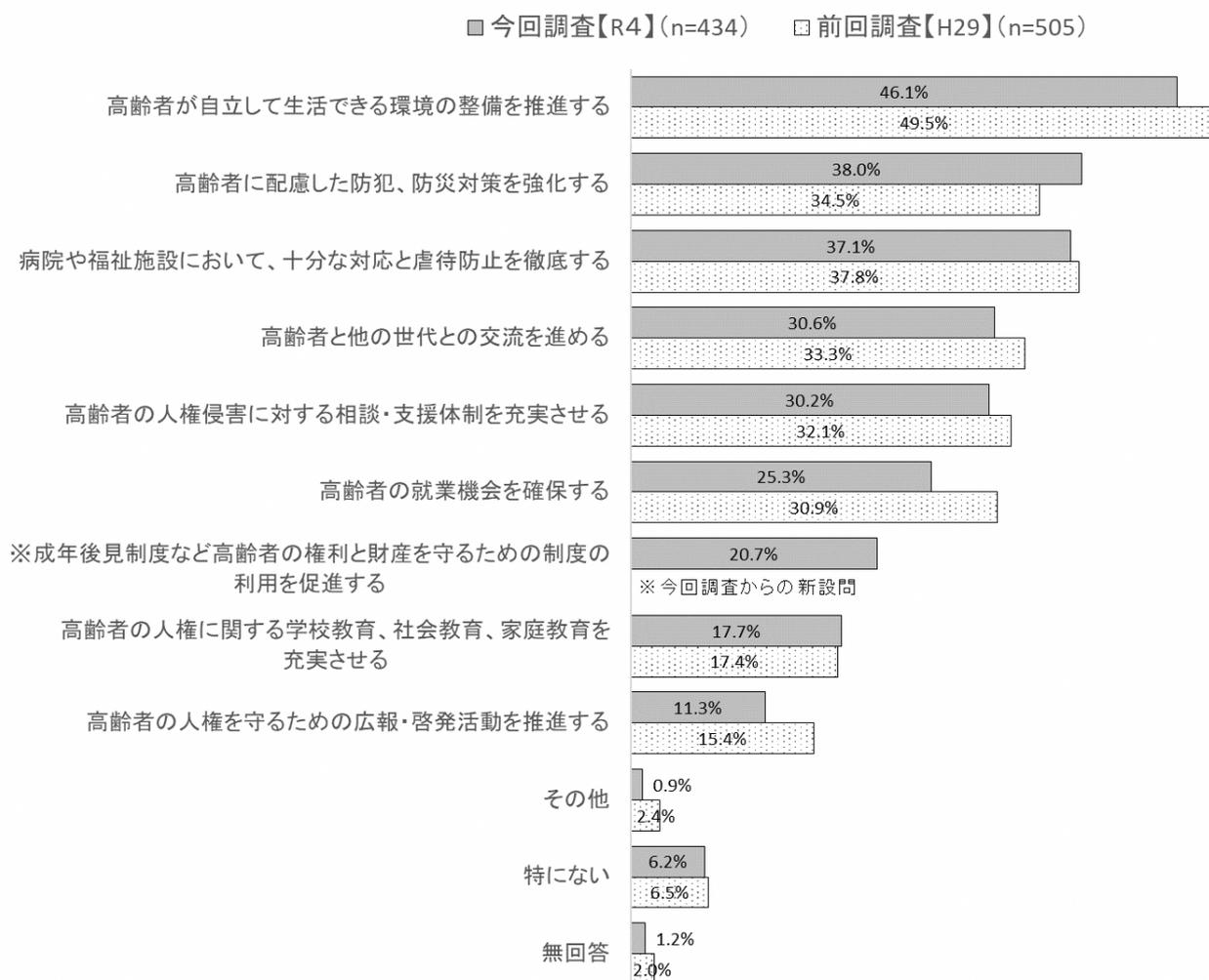
「看護や介護で不十分な対応や虐待があること（128件）」は、33件で60歳代で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ 1人暮らしや身よりのない方が増えて生活していく上で金銭面や介護サービスの調整や管理など行政がフォローすべきことがたくさんあると思います。
- ・ 年金受給年齢が上がっている一方、定年以降の継続雇用においてほぼ同一内容の勤務内容であるにもかかわらず受けとる賃金が減少している。
- ・ 高齢者はおおむね守られていると思います。民生委員も定期的に訪問しておりひとり暮らしの人達も安心だと思います。
- ・ 貧富の差が大きく大金を持っている高齢者が沢山いるのではないかと思う（特殊詐欺等）無ければ絶対お金は出せない。
- ・ ケアハウスが少なすぎる。チホウ症の人が入る所にも少ない。
- ・ 高齢者が働くより若い人で仕事の無い人に仕事をあたる（シルバーセンター）のようなもの。
- ・ 小千谷市はまだ十分にバリアフリーが進んでいないと思うので更なる発展が必要と考えます。
- ・ 自分（高齢）の立ち位置を自覚する。

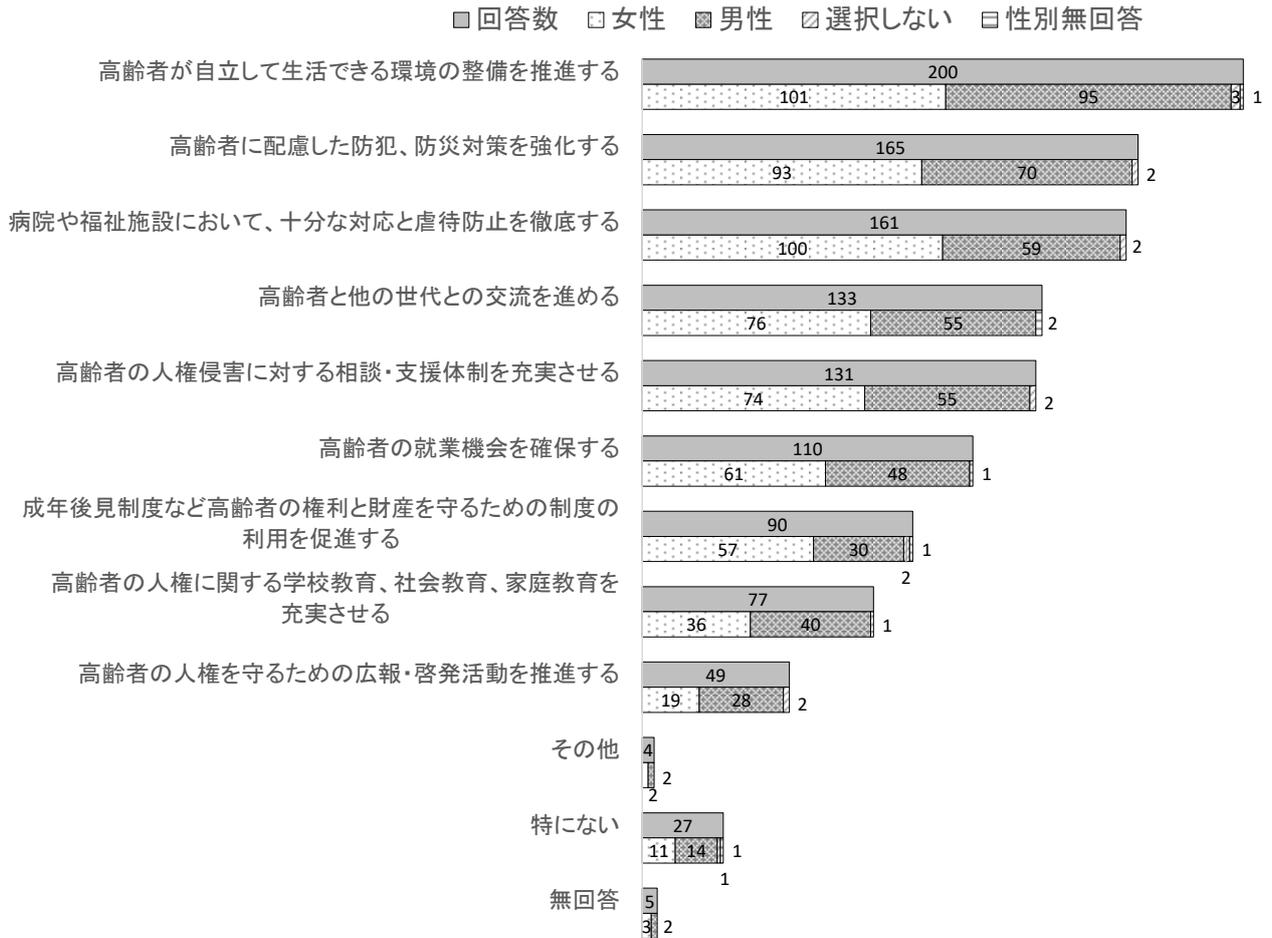
問 15 あなたは高齢者の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・高齢者の人権を守るために必要なことは、「高齢者が自立して生活できる環境の整備を推進する (200 件)」が最も多かった。次に、「高齢者に配慮した防犯、防災対策を強化する (165 件)」、「病院や福祉施設において、十分な対応と虐待防止を徹底する (161 件)」、「高齢者和其他の世代との交流を進める (133 件)」、「高齢者の人権侵害に対する相談・支援体制を充実させる (131 件)」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「高齢者の就業機会を確保する」の減少率が最も大きかった。

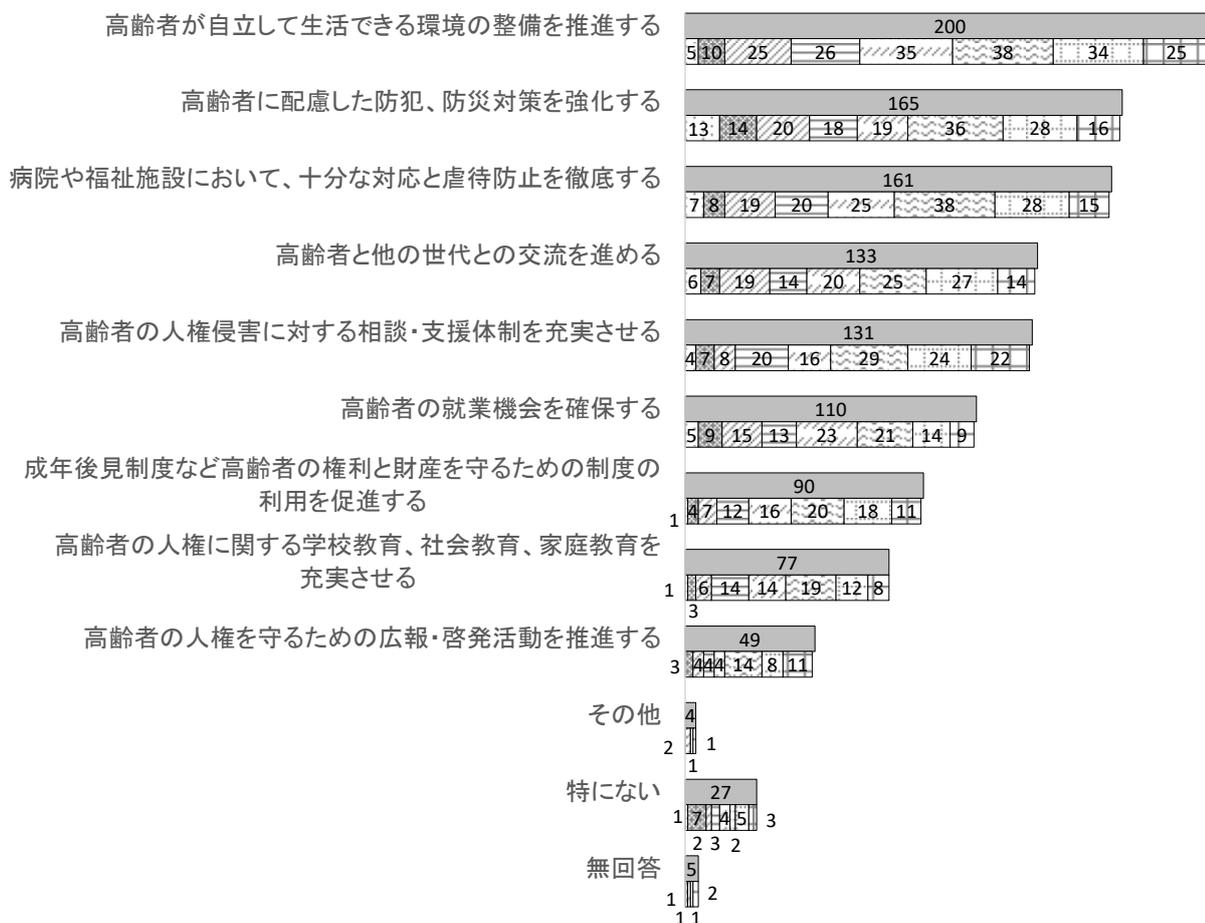
【 性別分布 】



- ・「高齢者の人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる（77件：女性36件、男性40件）」と「高齢者の人権を守るための広報・啓発活動を推進する（49件：女性19件、男性28件）」では、男性の回答数が女性を上回っていたが、それ以外は、女性の回答数が男性を上回っていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 □ 50歳代 ▨ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



・上位3項目では、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「高齡者が自立して生活できる環境の整備を推進する（200件）」は、38件で60歳代

「高齡者に配慮した防犯、防災対策を強化する（165件）」は、36件で60歳代

「病院や福祉施設において、十分な対応と虐待防止を徹底する（161件）」は、38件で60歳代

「高齡者和其他の世代との交流を進める（133件）」は、27件で70歳代

「高齡者の人権侵害に対する相談・支援体制を充実させる（131件）」は、29件で60歳代で回答数が最も多かった。

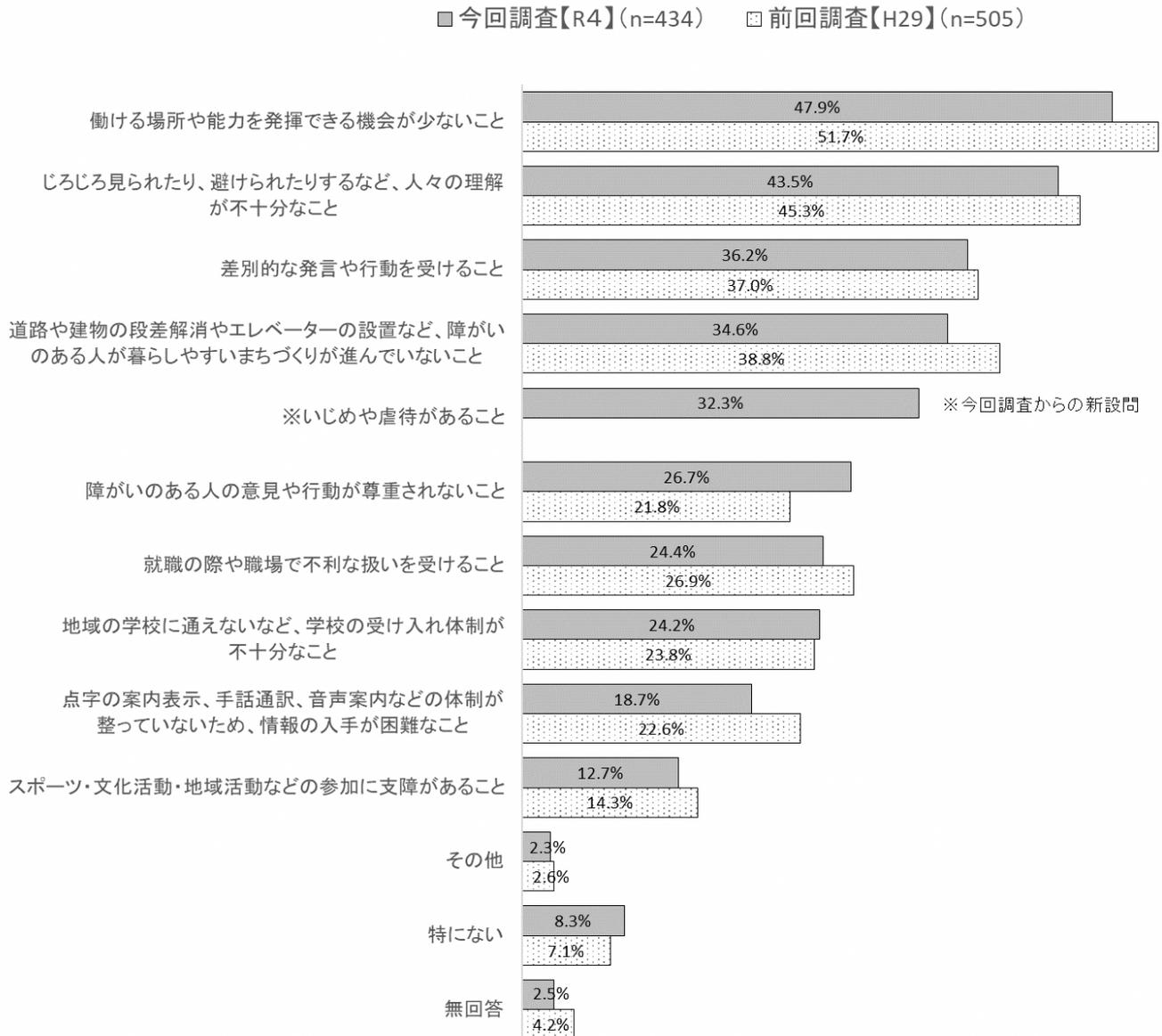
【 その他 】

- ・ 病院や福祉施設の職員が十分な余裕を持って仕事ができるような、またその職種への就業希望者が増えるような画期的な政策立法をする。
- ・ 高齢者が取る自分勝手な言動が多く、高齢者自身が自分の行動に気を配るべき。高齢者に対する教育、啓蒙も必要。(因みに私も高齢者)
- ・ 高齢者が増える現代社会の中で廃校などを利用して高齢者大学をつくり、学び合い社会に貢献していくことも必要。
- ・ 高齢者と同居する家族（親族）に対する支援（支援費や何らかの軽減措置など）行って、高齢者との同居を推奨するのはどうか。

6 障がいのある人の人権について

問 16 障がいのある人の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

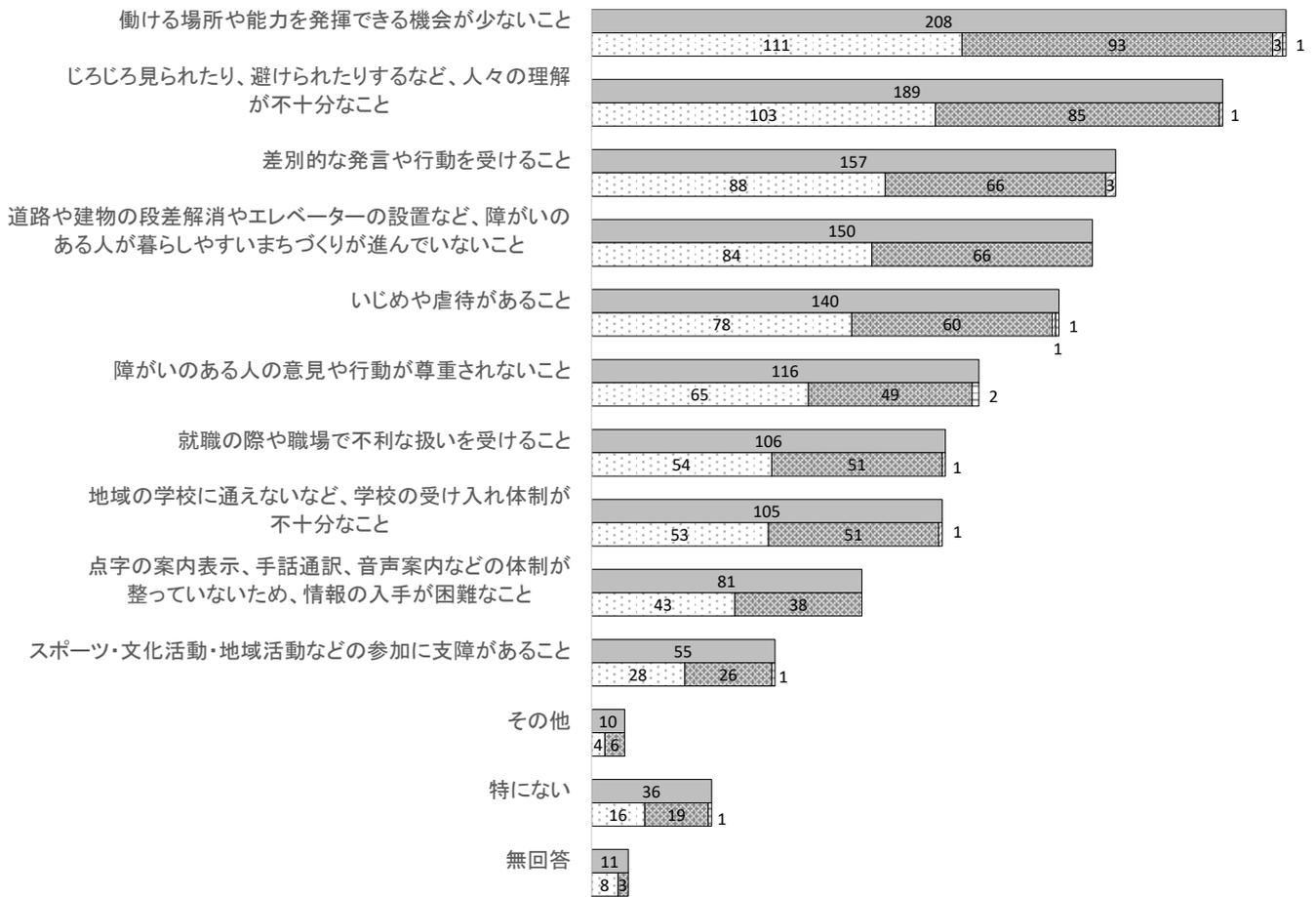
【 前回調査との比較 】



- ・障がいのある人の人権について問題があると思うことは、「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと（208件）」が最も多かった。次に、「じろじろ見られたり、避けられたりするなど、人々の理解が不十分なこと（189件）」、「差別的な発言や行動を受けること（157件）」、「道路や建物の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすいまちづくりが進んでいないこと（150件）」、「いじめや虐待があること（140件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「障がいのある人の意見や行動が尊重されないこと」の増加率が最も大きかった。

【 性別分布 】

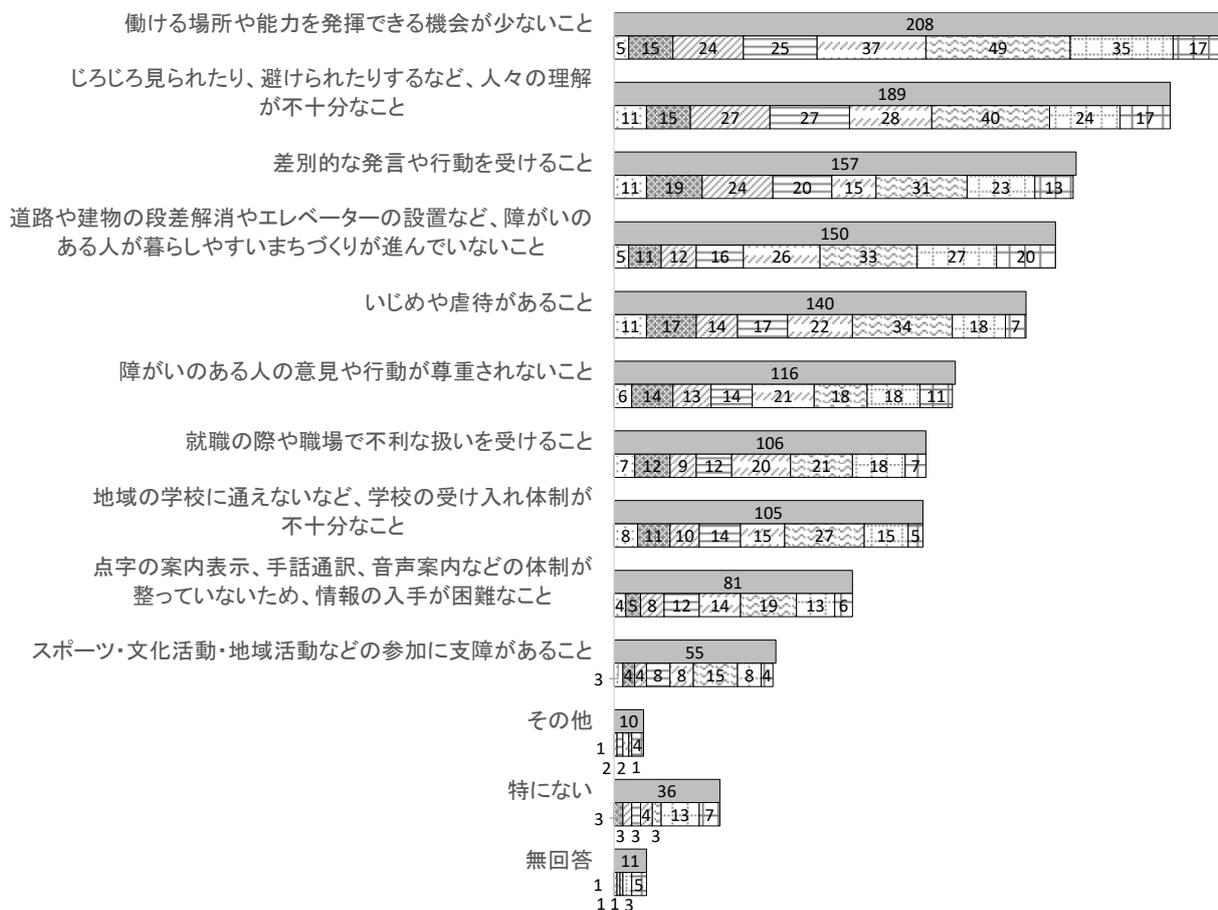
■ 回答数 □ 女性 ■ 男性 □ 選択しない □ 性別無回答



- ・「差別的な発言や行動を受けること（157件：女性88件、男性66件）」では、女性と男性の回答数差が比較的大きかった。

【年代別分布】

■ 回答数 ■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳以上



・ほとんどの項目で、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと（208件）」は、46件で60歳代

「じろじろ見られたり、避けられたりするなど、人々の理解が不十分なこと（189件）」は、40件で60歳代

「差別的な発言や行動を受けること（157件）」は、31件で60歳代

「道路や建物の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすいまちづくりが進んでいないこと（150件）」は、33件で60歳代

「いじめや虐待があること（140件）」は、34件で60歳代

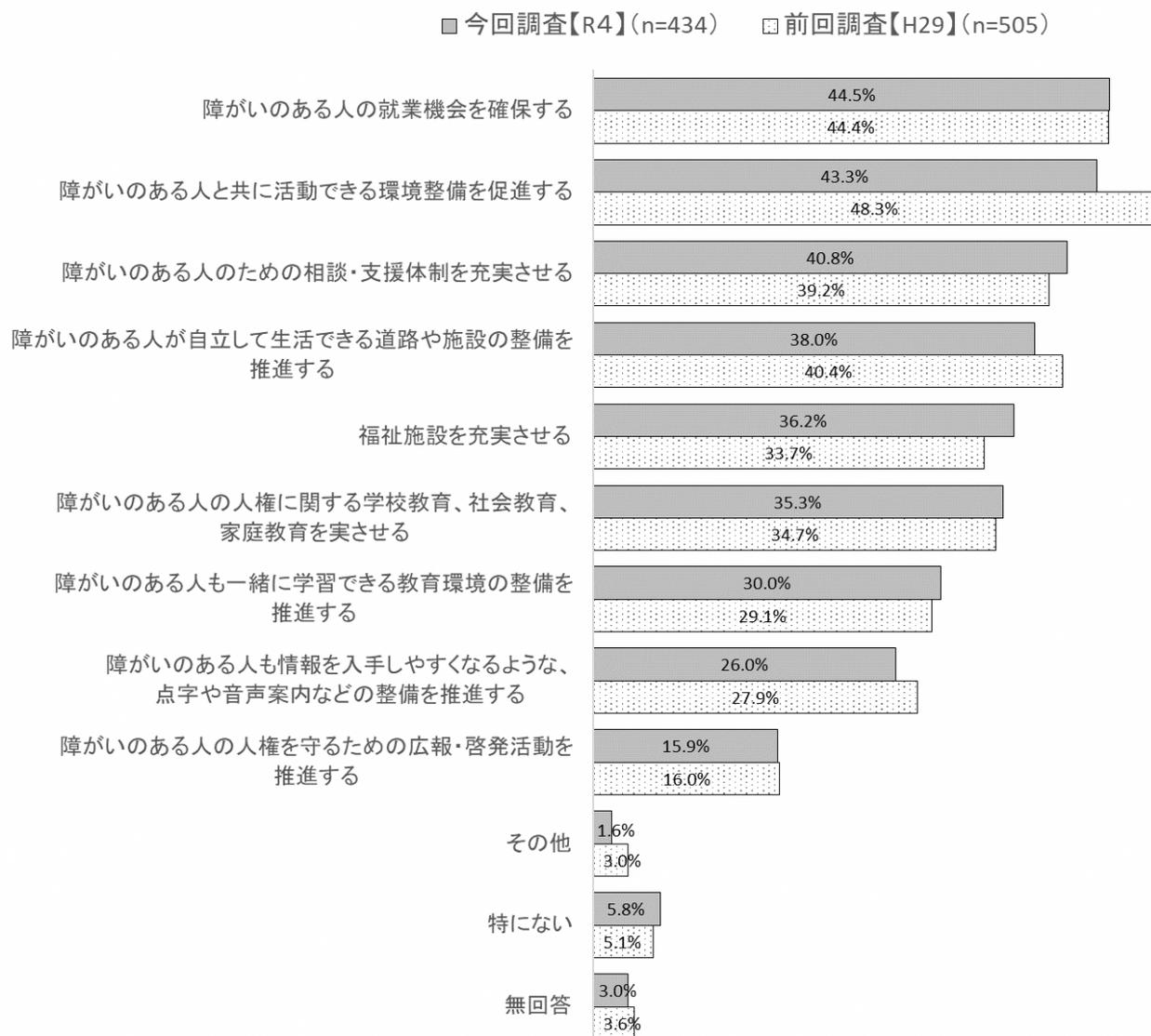
で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ 障がいのレベルによるので、何とも言えません。
- ・ その人が障がいを持っていることを周囲の人が察知できないために、適切な配慮ができないこと。
- ・ 視野が狭く白杖を必要としている知人が駅を利用している際に、白杖を奪われ線路に投げられたと話していた。目が視えづらい等の状況を利用した犯罪行為は多いのではないかと感じた。
- ・ 外から見えないもの一心ぞう、腎臓、ぼうこう、小腸、直腸機能障害などはその方でないとわからないものがある。しかし彼等はわからない障害だけに苦しんでいます。
- ・ 健常者の意識を高め行政の体制を十分に考慮する。
- ・ 障がい者用の駐車スペースに健常者が車を止めている事。
- ・ 近くに居ないから良くわからない。
- ・ 目に見えない障害のある人への人権は特に理解がないと思う。
- ・ 障がいのある人自身が健常者と比べて、できないことに目をむけてしまうこと。引け目を感じてしまうこと。
- ・ 障害を持つ子供の親のケアが大切。

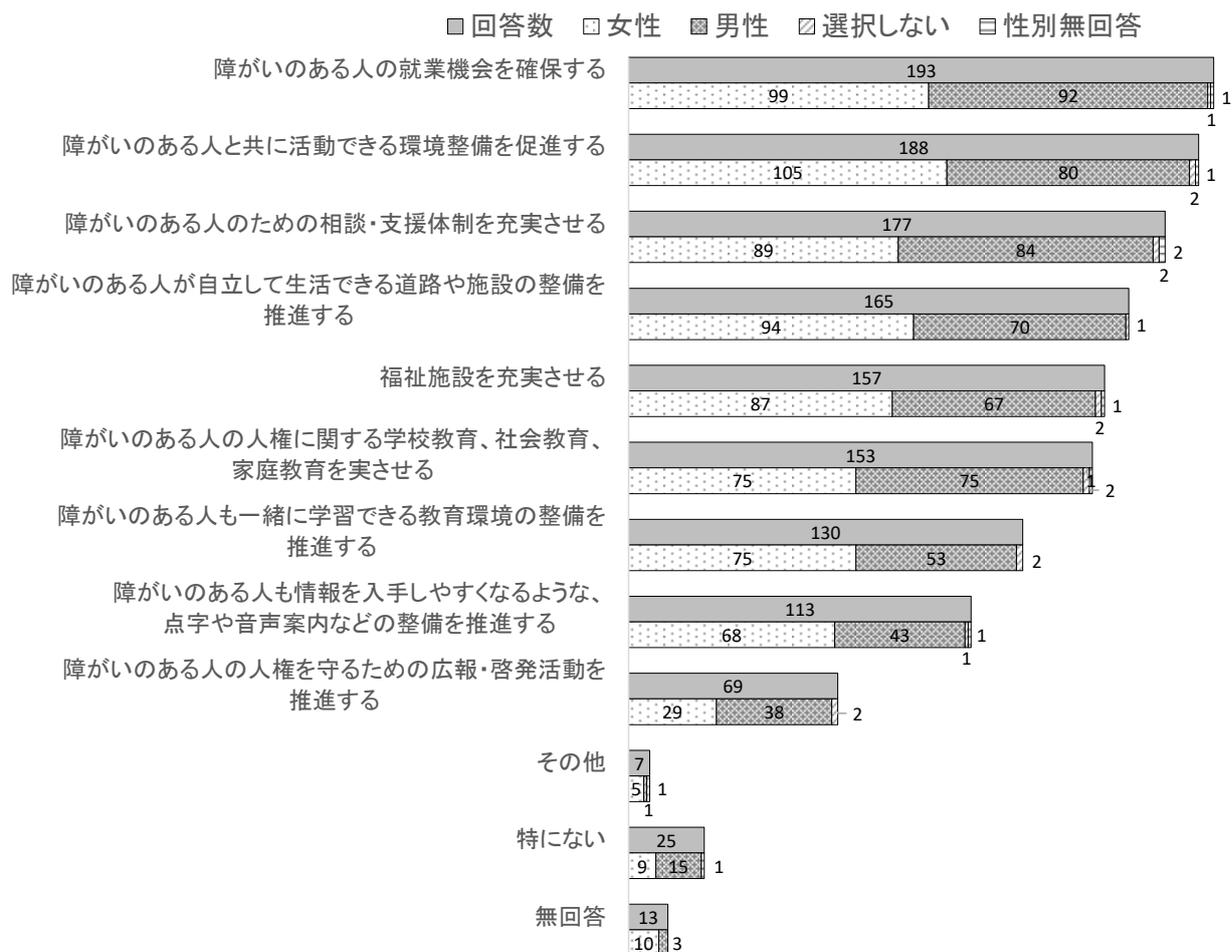
問 17 あなたは障がいのある人の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・障がいのある人の人権を守るために必要なことは、「障がいのある人の就業機会を確保する（193 件）」が最も多かった。次に、「障がいのある人と共に活動できる環境整備を促進する（188 件）」、「障がいのある人のための相談・支援体制を充実させる（177 件）」、「障がいのある人が自立して生活できる道路や施設の整備を推進する（165 件）」、「福祉施設を充実させる（157 件）」と続いたが、項目ごとの回答数差は比較的小さかった。
- ・前回調査と比べて、「障がいのある人と共に活動できる環境整備を促進する」の減少率が最も大きかった。

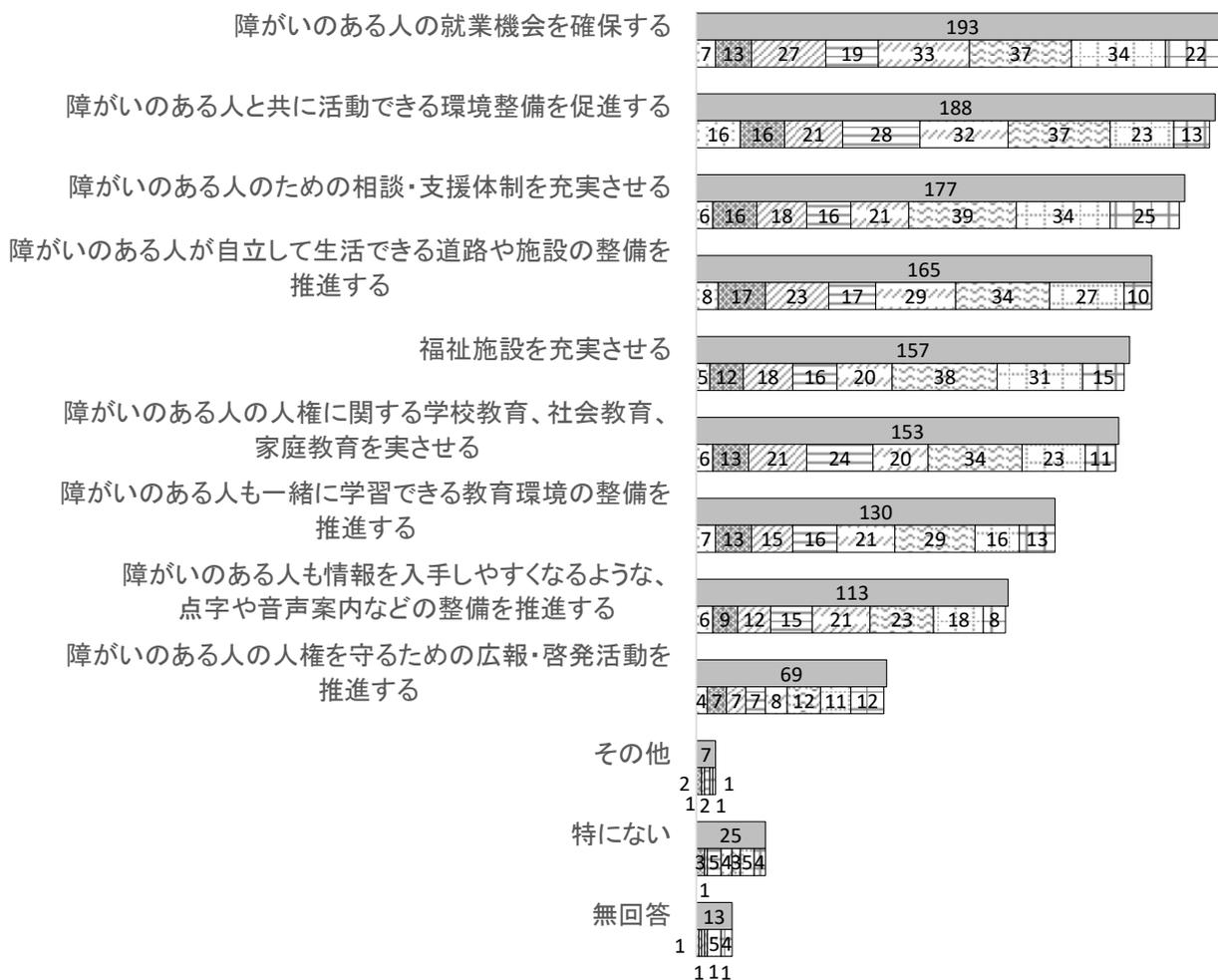
【 性別分布 】



- ・「障がいのある人の人権を守るための広報・啓発活動を推進する（69件：女性29件、男性38件）」では、男性の回答数が女性を上回っていたが、それ以外は、女性の回答数が男性を上回っていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 □ 50歳代 ▨ 60歳代 ▨ 70歳代 □ 80歳以上



・すべての項目で、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「障がいのある人の就業機会を確保する（193件）」は、37件で60歳代

「障がいのある人と共に活動できる環境整備を促進する（188件）」は、37件で60歳代

「障がいのある人のための相談・支援体制を充実させる（177件）」は、39件で60歳代

「障がいのある人が自立して生活できる道路や施設の整備を推進する（165件）」は、34件で60歳代

「福祉施設を充実させる（157件）」は、38件で60歳代で回答数が最も多かった。

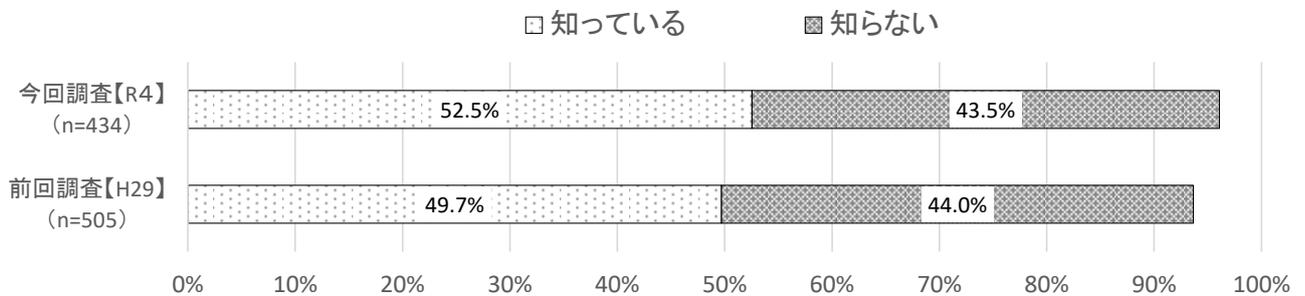
【 その他 】

- ・ 発達障害についての知識がないままに、教室に立っている教師が多すぎると思います。理解してもらえないと子供も親も大変苦しいです。正しい知識がある先生に指導してもらえればこんなに苦しまなくてもよいのと思います。
- ・ 困っている状況を周囲に伝える手段（ツール）を増やし、周知させる必要がある。
- ・ 通り一遍の解答にしかない。今更聞く程の事もない。
- ・ 健常者の意識改革。少し困難なことであれば、一緒にやったら同じ気持ちですごせるのかと思う。手伝ってあげる、手伝ってもらうではない意識。
- ・ 障がいのある人でも気軽に利用できる公共交通の整備。
- ・ 障害者が自立できるように教育や訓練の他、生活哲学を身に付けられるようにする。

7 同和問題について

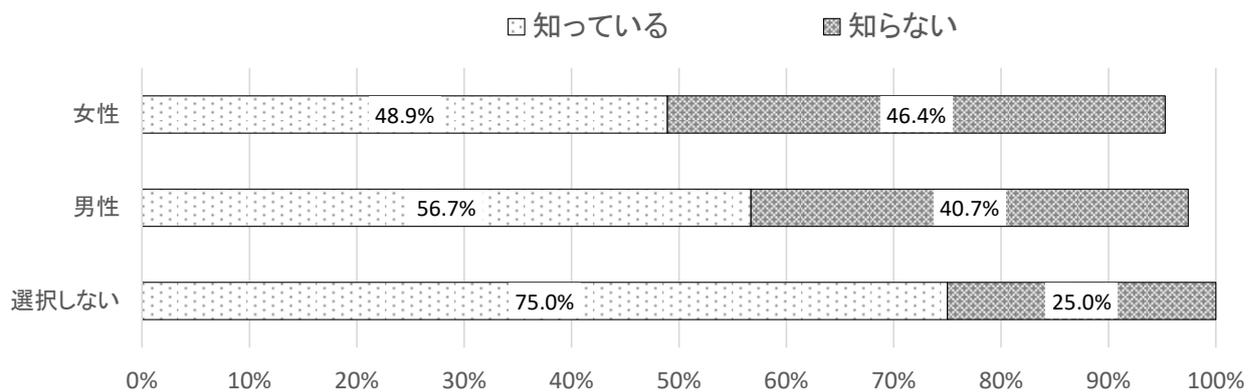
問 18 あなたは、同和問題や同和地区があることを知っていますか。いずれか1つに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



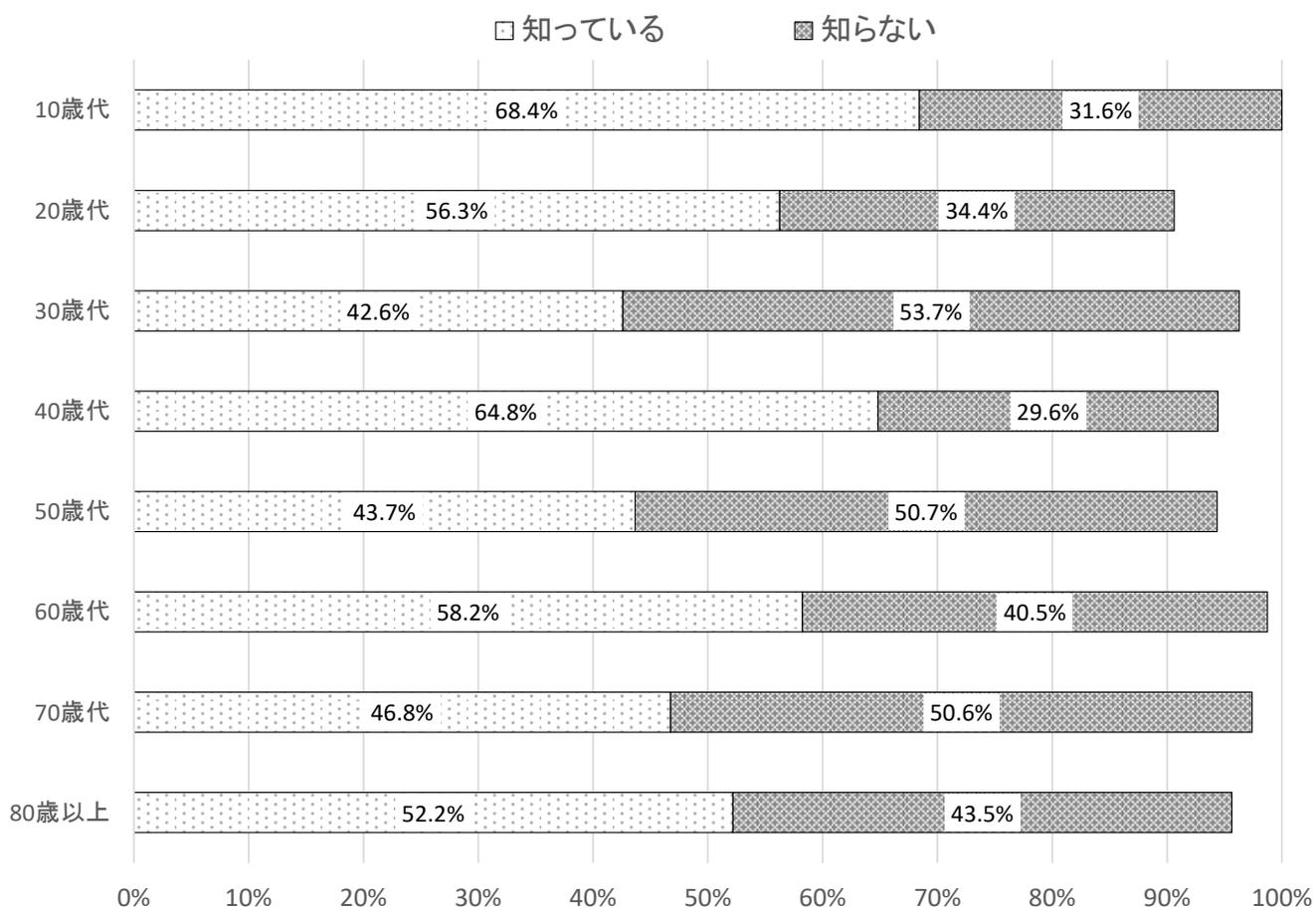
- ・同和問題や同和地区があることを知っているかについて聞いたところ、「知っている (52.5%)」が「知らない (43.5%)」を9.0ポイント上回っていた。
- ・前回調査と比較して、「知っている」がやや増加した。

【 性別分布 】



- ・性別では、男性の「知っている (56.7%)」が6割弱を占め、「知らない (40.7%)」を大きく上回っていた。

【 年代別分布 】

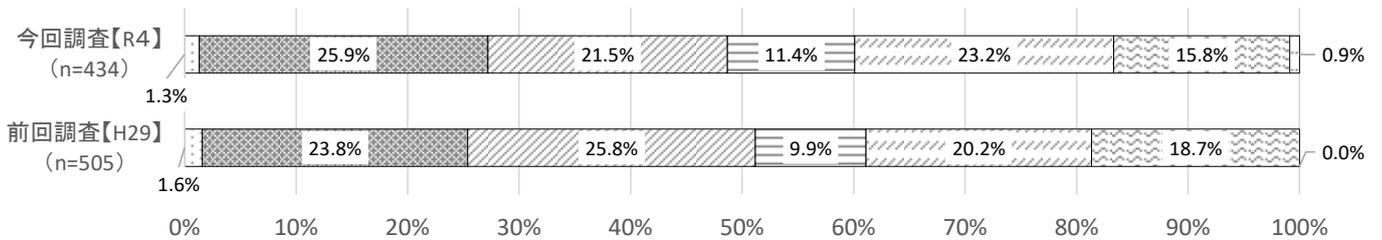


- ・年代別では、「知っている」と回答した中で、10歳代（68.4%）が最も高く、30歳代（42.6%）が最も低かった。
- ・すべての年代で、「知っている」が4割を超えていた。

問 19 あなたが同和問題や同和地区について初めて知ったのは、いつ頃ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】

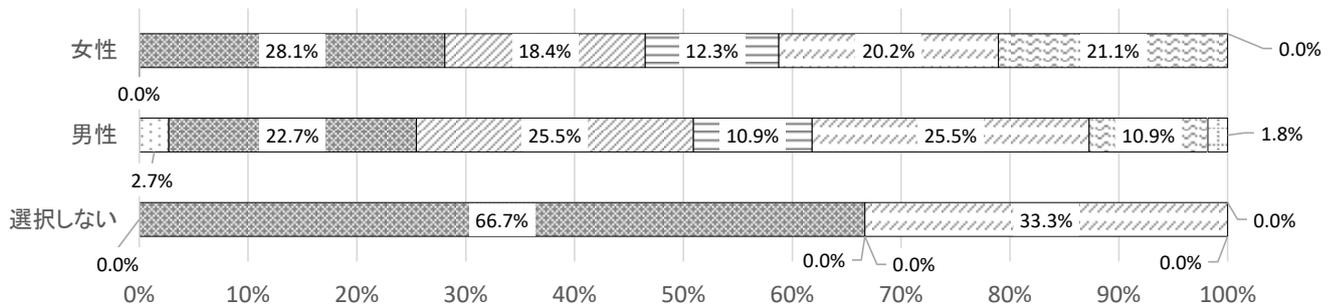
- ☐ 小学校入学前 ☒ 小学生のとき ☑ 中学生のとき ☐ 16歳～18歳頃 (高校生のとき)
- ☑ 19歳以降 ☐ はっきり覚えていない ☐ 無回答



- ・ 同和問題や同和地区について初めて知った頃について聞いたところ、中学生までの回答割合 (48.7%) が5割弱を占めていた。
- ・ 前回調査と比較して、中学生までの回答割合がやや減少した。

【 性別分布 】

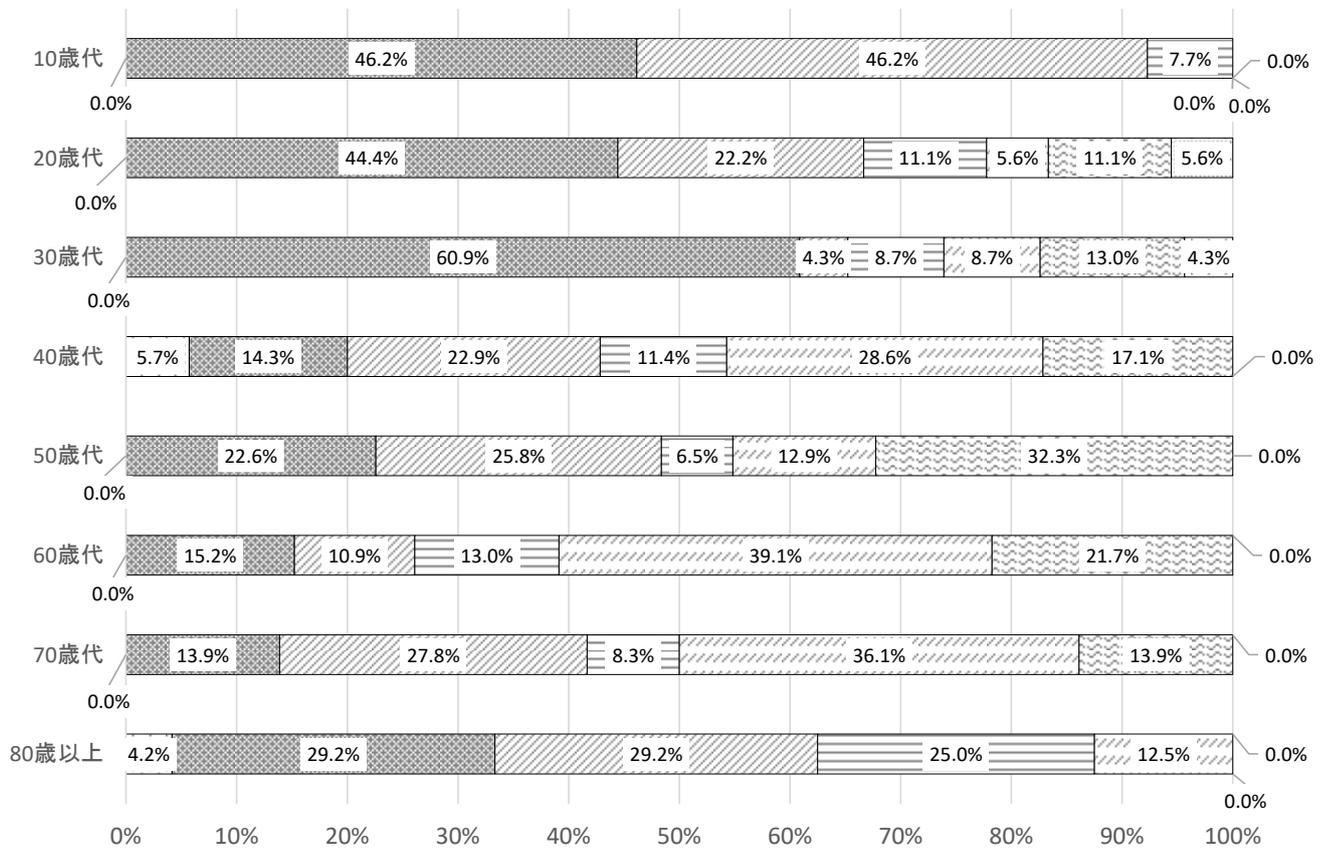
- ☐ 小学校入学前 ☒ 小学生のとき ☑ 中学生のとき ☐ 16歳～18歳頃 (高校生のとき)
- ☑ 19歳以降 ☐ はっきり覚えていない ☐ 無回答



- ・ 性別では、中学生までの回答割合 (女性 46.5%、男性 50.9%) は、男性の方が女性を4.4ポイント上回っていた。

【年代別分布】

□ 小学校入学前 ■ 小学生のとき ▨ 中学生のとき □ 16歳～18歳頃
▨ 19歳以降 ▨ はっきり覚えていない □ 無回答 (高校生のとき)



・ 30歳までと80歳以上で、中学生までの回答割合が6割を超えていた。

10歳代では、「中学生のとき (46.2%)」、「小学生のとき (46.2%)」を合わせると92.4%

20歳代では、「中学生のとき (22.2%)」、「小学生のとき (44.4%)」を合わせると66.6%

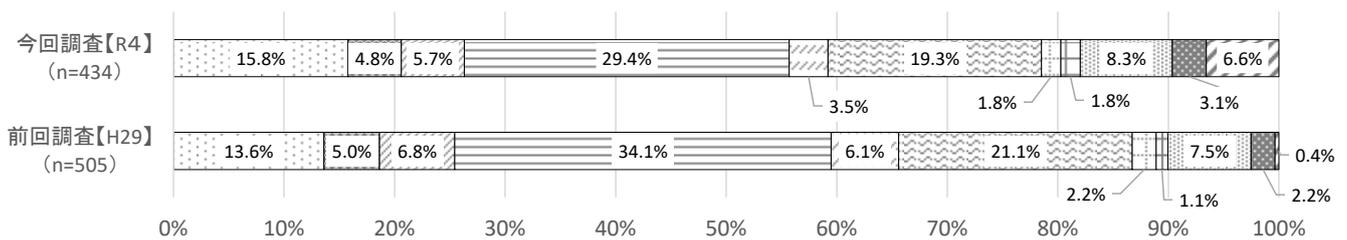
30歳代では、「中学生のとき (4.3%)」、「小学生のとき (60.9%)」を合わせると65.2%

80歳以上では、「中学生のとき (29.2%)」、「小学生のとき (29.2%)」、「小学校入学前 (4.2%)」を合わせると62.6%

問 20 あなたが同和問題や同和地区について初めて知ったきっかけは、何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】

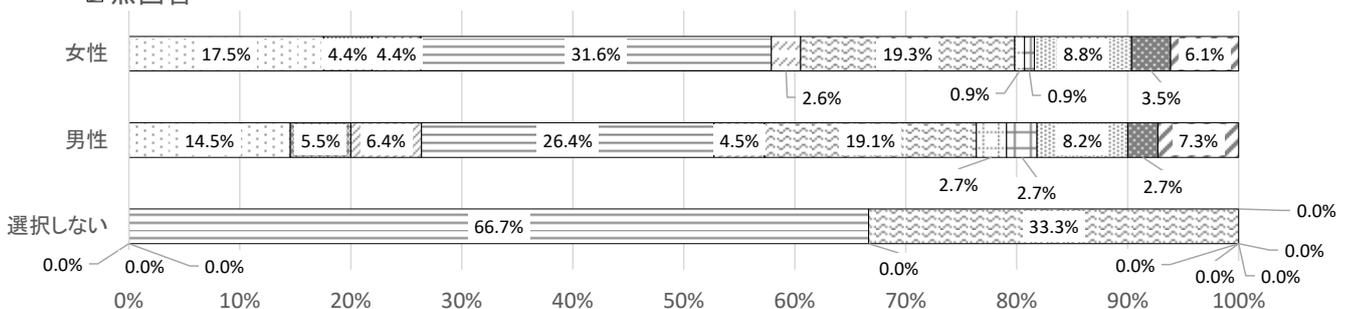
- 家族から聞いた
- 友だちや先輩・後輩から聞いた
- 職場の人から聞いた
- 同和問題の集会や研修会で知った
- はっきり覚えていない
- 無回答
- 親せきや近所の人から聞いた
- 学校の授業で教わった
- テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った
- 県や市町村の広報誌などで知った
- その他



- ・同和問題を初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった (29.4%)」が最も多く、全体のほぼ 3 割を占めていた。次に、「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った (19.3%)」、「家族から聞いた (15.8%)」と続いた。
- ・前回調査と比較して、「学校の授業で教わった」は 4.7 ポイント減少した。

【 性別分布 】

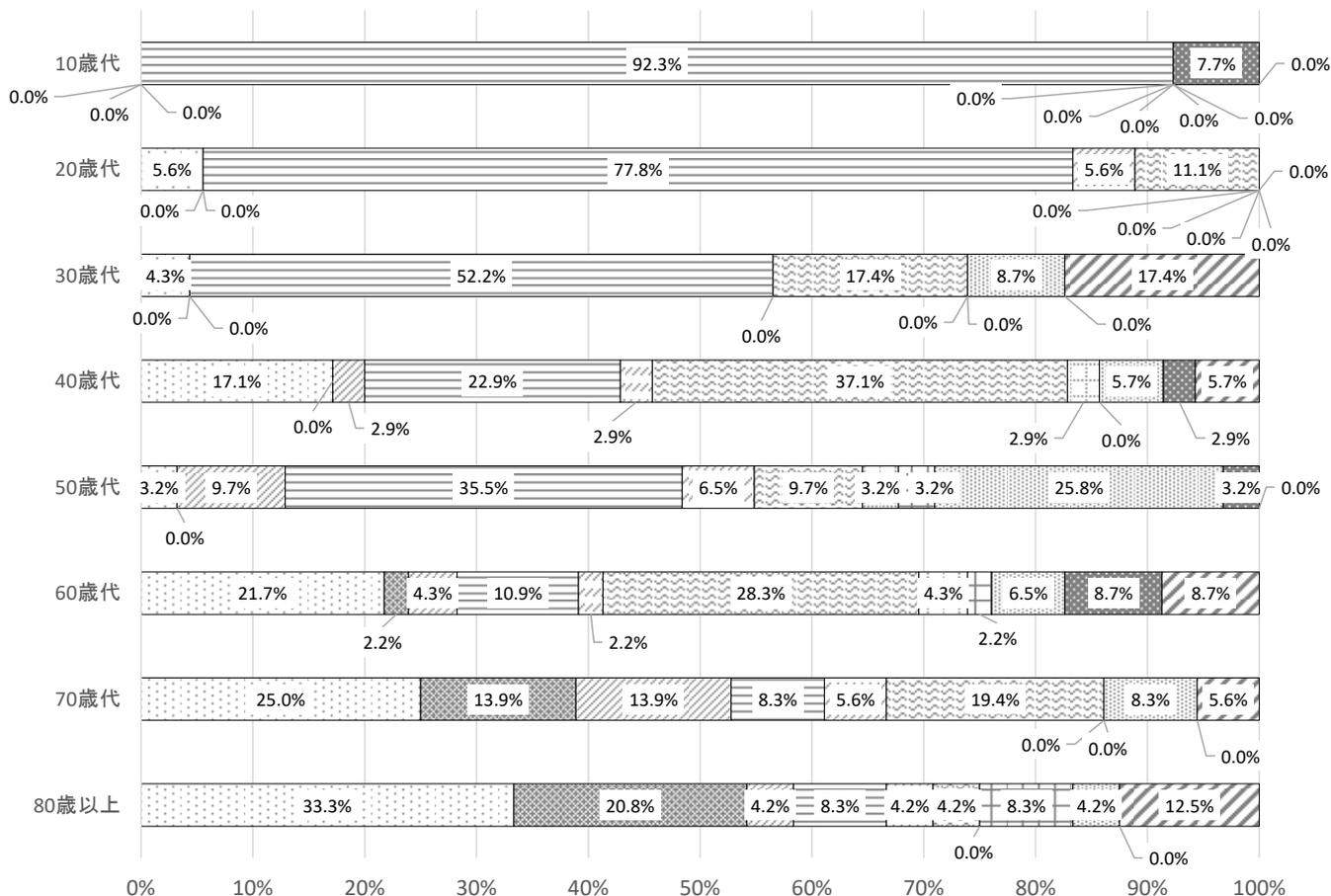
- 家族から聞いた
- 友だちや先輩・後輩から聞いた
- 職場の人から聞いた
- 同和問題の集会や研修会で知った
- はっきり覚えていない
- 無回答
- 親せきや近所の人から聞いた
- 学校の授業で教わった
- テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った
- 県や市町村の広報誌などで知った
- その他



- ・性別では、「学校の授業で教わった (女性 31.6%、男性 26.4%)」で女性が男性を 5.2 ポイント上回っていた。

【年代別分布】

- 家族から聞いた
- 友だちや先輩・後輩から聞いた
- 職場の人から聞いた
- 同和問題の集会や研修会で知った
- はっきり覚えていない
- 無回答
- 親せきや近所の人から聞いた
- 学校の授業で教わった
- テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った
- 県や市町村の広報誌などで知った
- その他



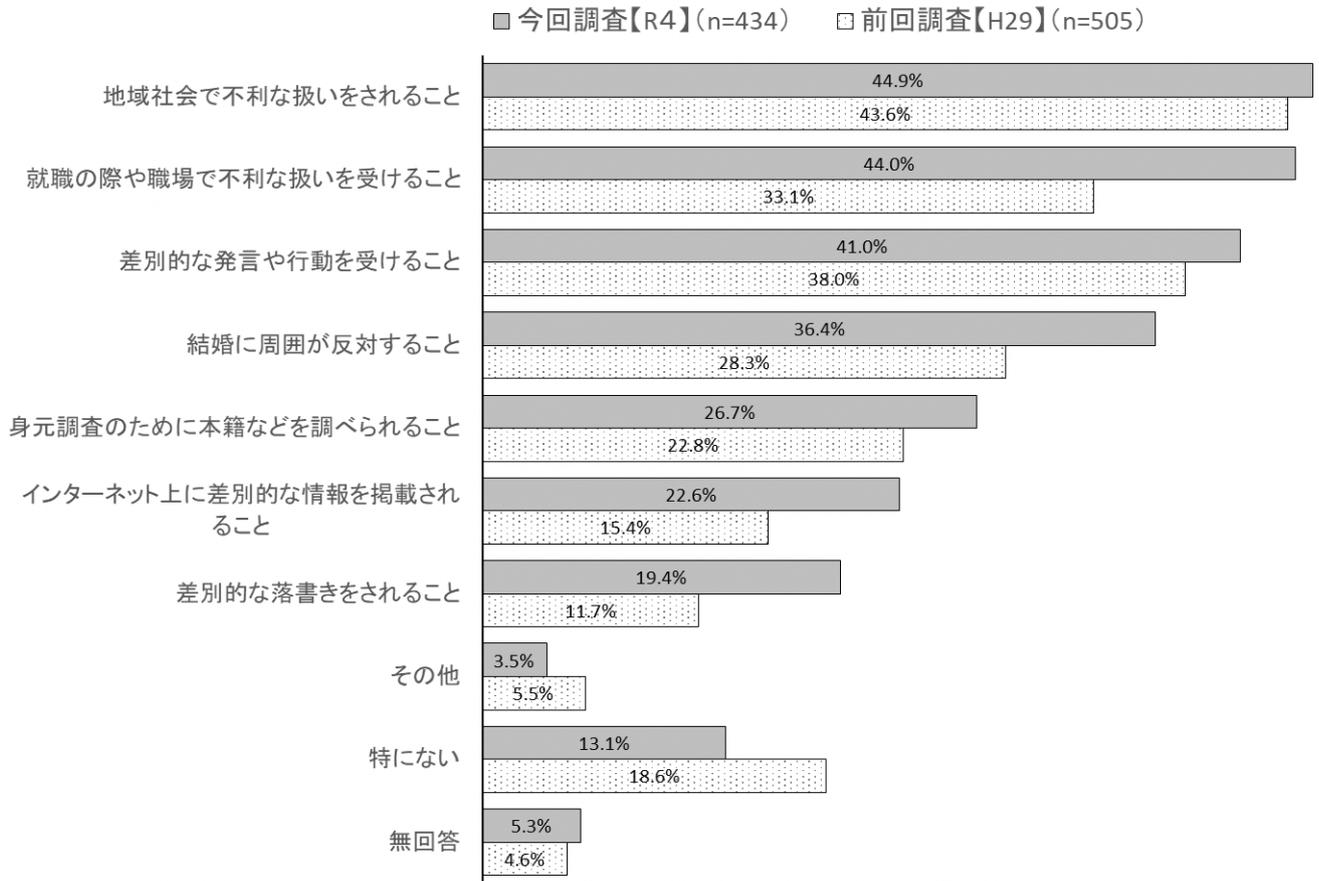
- ・ 10歳代では、「学校の授業で教わった（92.3%）」が、9割強を占めていた。20歳代（77.8%）と30歳代（52.2%）でも5割を超え、若い世代で高い傾向がみられた。
- ・ 40歳代では、「テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った（37.1%）」が4割弱と最も高かった。

【 その他 】

- ・ 学校職員となり、研修を受けたこと
- ・ 本
- ・ 職場の講習会
- ・ 他県において授業時間に同和教育を受けた。
- ・ 小説で知った。島崎藤村「破戒」
- ・ 職場で人権問題、同和問題について研修があった。
- ・ 歴史の本を読んだ。

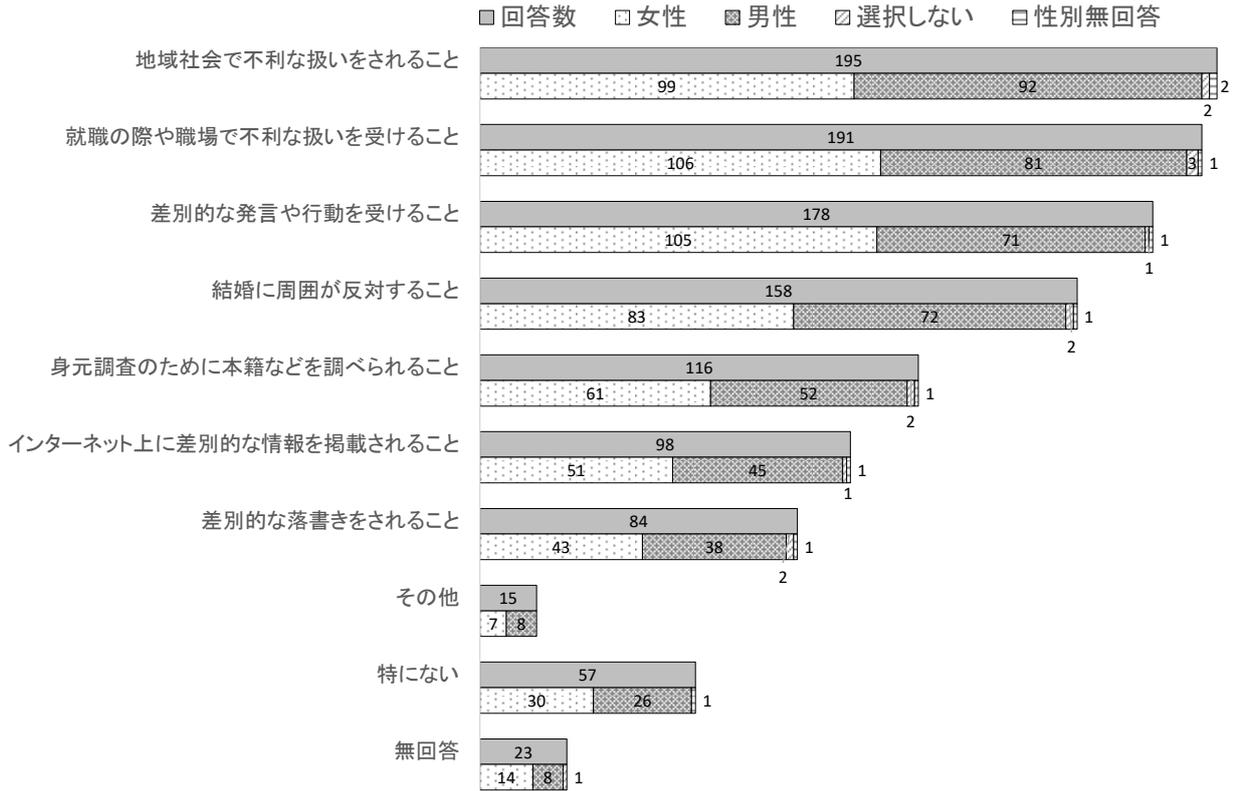
問 21 同和問題について、次の問題や差別が全国で報告されています。あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・同和問題について問題があると思うことは、「地域社会で不利な扱いをされること（195件）」が最も多かった。次に、「就職の際や職場で不利な扱いを受けること（191件）」、「差別的な発言や行動を受けること（178件）」、「結婚に周囲が反対すること（158件）」、「身元調査のために本籍などを調べられること（116件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「就職の際や職場で不利な扱いを受けること」の増加率が最も大きかった。

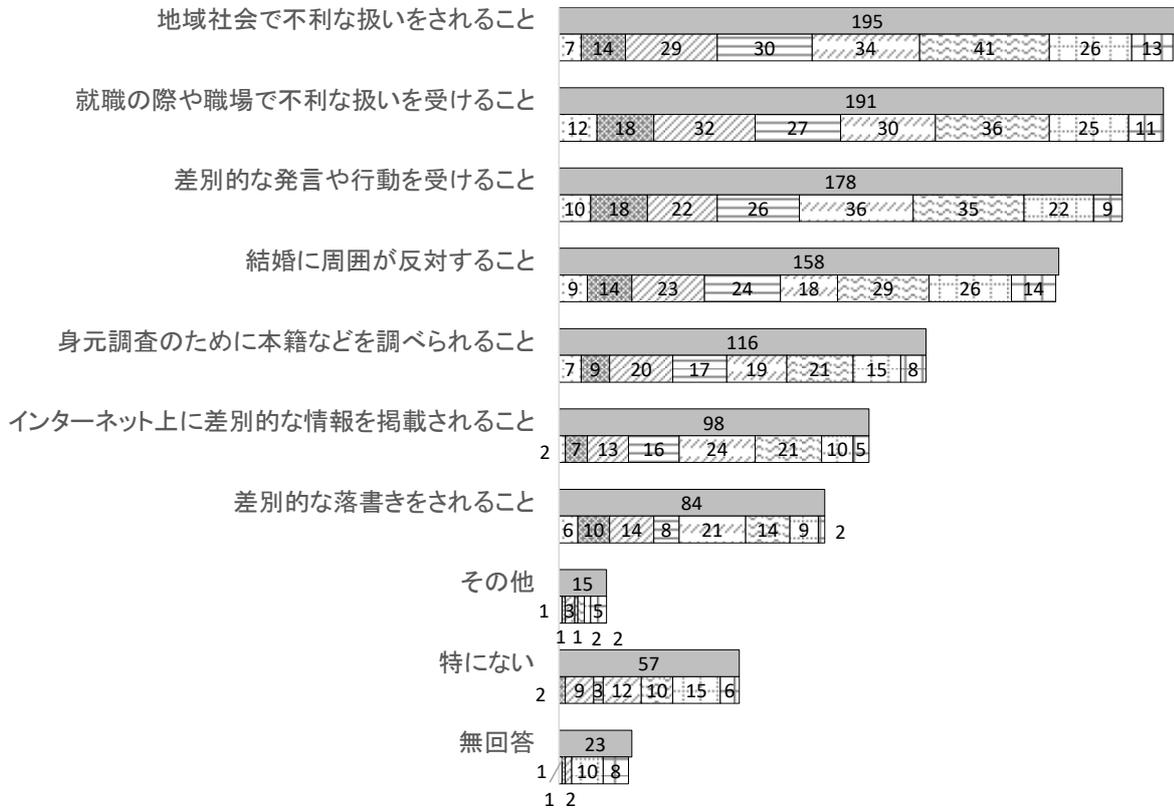
【 性別分布 】



- ・「差別的な発言や行動を受けること（178件：女性105件、男性71件）」では、女性と男性の回答数差が比較的大きかった。

【 年代別分布 】

回答数
 10歳代
 20歳代
 30歳代
 40歳代
 50歳代
 60歳代
 70歳代
 80歳以上



<< 回答数上位 5 項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「地域社会で不利な扱いをされること（195件）」は、41件で60歳代

「就職の際や職場で不利な扱いを受けること（191件）」は、36件で60歳代

「差別的な発言や行動を受けること（178件）」は、36件で50歳代

「結婚に周囲が反対すること（158件）」は、29件で60歳代

「身元調査のために本籍などを調べられること（116件）」は、21件で60歳代で回答数が最も多かった。

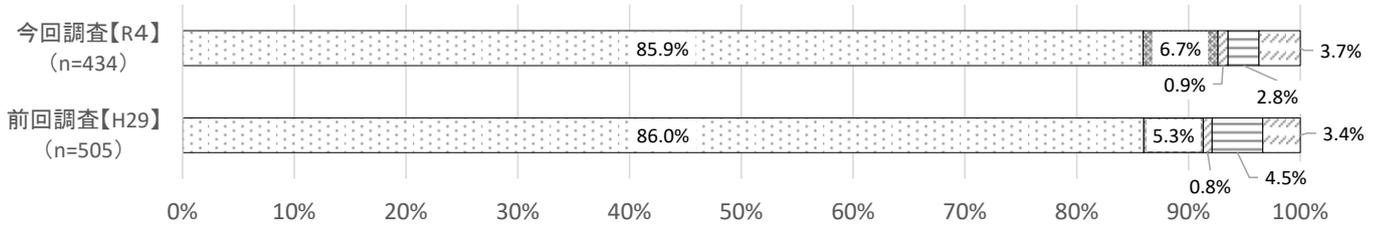
【 その他 】

- ・ 考えた事なし。
- ・ わからない。
- ・ 今の時代になっても、上記の 1~7 の様な差別が有るのかと思うと、日本人ってそんな民族だったのかと悲しい気分になります。
- ・ 高学歴と言われる人種差別の傾向が強い様な気がしています。(私だけでしょうか)
- ・ 友達よりきいた。
- ・ インターネットもスマホもやってません。
- ・ 同和問題が何なのか分からない。
- ・ 階層のパーティーの仲間はずれ、いやがる姿をたのしむ上階層の人たち。助けあいをしてくれない。
- ・ 直接タッチした経験なし。
- ・ 自分のまわりで、あった事がないので現実感がわからない。
- ・ 近くに居ましたが、特に感じた事はなかった。
- ・ 良くわかりません。

問 22 あなたは、親しく付き合ってきた人が同和地区出身とわかった場合、どうしますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】

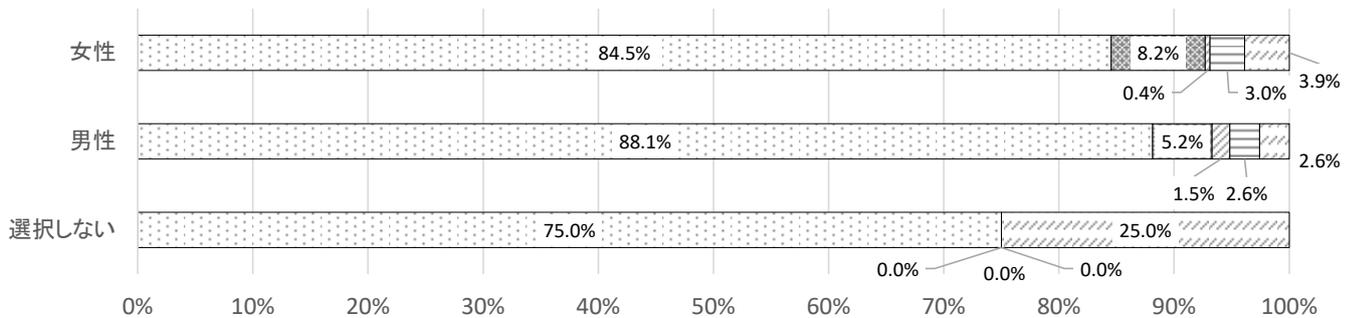
□これまでと同じように付き合う ■表面的には付き合うが、できるだけ避ける ▨付き合いをやめる □その他 □無回答



- ・親しく付き合ってきた人が同和地区出身とわかった場合について聞いたところ、「これまでと同じように付き合う（85.9%）」が最も高く、全体の9割弱を占めていた。次に、「表面的には付き合うが、できるだけ避ける（6.7%）」が続いたが、回答割合の差はかなり大きかった。
- ・前回調査と比較して、大きな変化はなかった。

【 性別分布 】

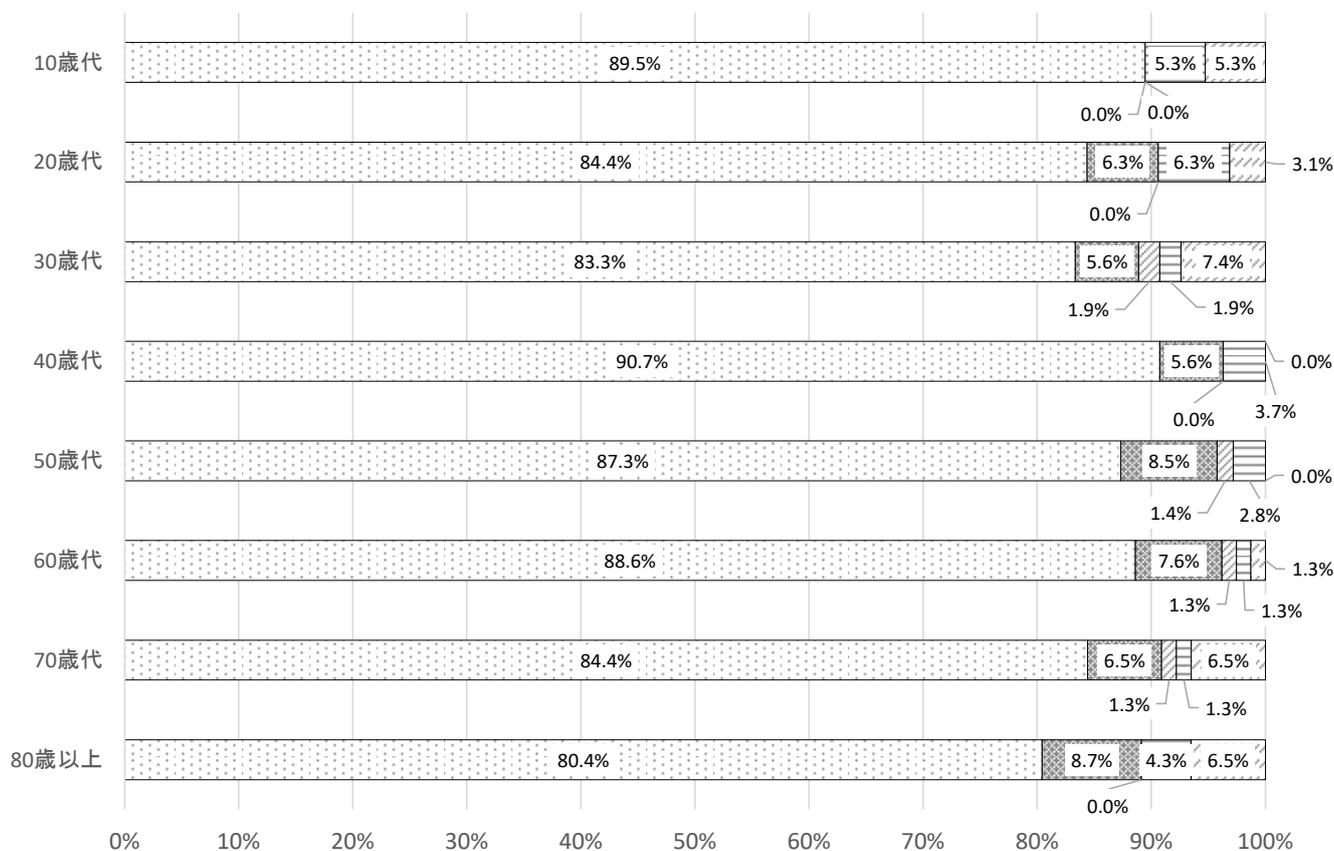
□これまでと同じように付き合う ■表面的には付き合うが、できるだけ避ける ▨付き合いをやめる □その他 □無回答



- ・性別では、男女ともに、「これまでと同じように付き合う（女性 84.5%、男性 88.1%）」が最も高く、それぞれ8割を超えていた。

【 年代別分布 】

□ これまでと同じように付き合う ■ 表面的には付き合うが、付き合いをやめる □ その他 □ 無回答
できるだけ避ける



・すべての年代で、「これまでと同じように付き合う」が8割を超えていた。

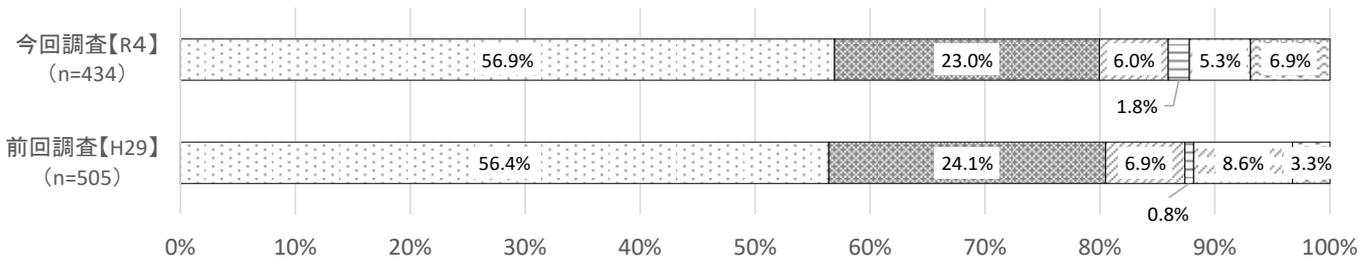
【 その他 】

- ・ 考えた事なし。
- ・ いじめや上から目線で言う人だったら付き合いをやめる。そうでなく、かんけいなくせつしてくれる方なら付きあう。
- ・ 人格、性格が良ければかまわない。
- ・ そんな事はどうでも良い。
- ・ 今の時代にそんなものない。
- ・ ①気にする必要がない。(いちいち否定的に考える必要はない！) ②その人の先祖のルーツを一緒に探す。その御苦勞を考えるとその生き様に感謝し自信と誇りを持つこともできるのでは？
- ・ (正直) わからない。×5件

問 23 仮に、あなたやあなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとしたとき、家族や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどのように思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】

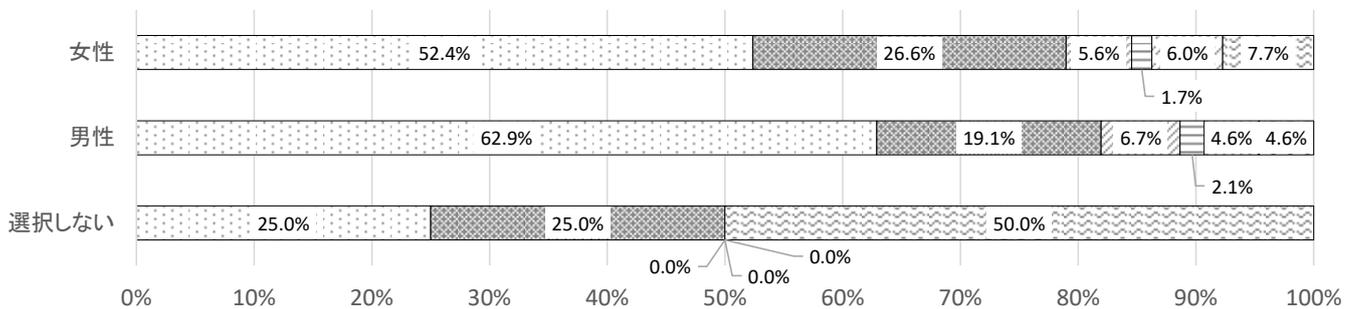
- 自分の意志を貫いて結婚する／子どもの意志を尊重する
- 家族や親せきを説得して結婚する／させる
- ▨ 家族や親せきの反対があれば結婚しない／させない
- 絶対に結婚しない／させない
- その他
- 無回答



- ・同和地区出身の人との結婚に反対を受けた場合について聞いたところ、「自分の意志を貫いて結婚する／子どもの意志を尊重する (56.9%)」が最も高く、6割弱を占めていた。次に、「家族や親せきを説得して結婚する／させる (23.0%)」が続き、これら、2項目を合わせると、回答割合は全体のほぼ8割を占めていた。
- ・前回調査と比較して、大きな変化はなかった。

【 性別分布 】

- 自分の意志を貫いて結婚する／子どもの意志を尊重する
- 家族や親せきを説得して結婚する／させる
- ▨ 家族や親せきの反対があれば結婚しない／させない
- 絶対に結婚しない／させない
- その他
- 無回答



- ・性別では、男女ともに、「自分の意志を貫いて結婚する／子どもの意志を尊重する (女性 52.4%、男性 62.9%)」が最も高く、それぞれ、回答割合が5割を超えていた。女性と男性を比べると、男性が女性を大きく上回っていた。
- ・男性では、「自分の意志を貫いて結婚する／子どもの意志を尊重する (62.9%)」と「家族や親せきを説得して結婚する／させる (19.1%)」を合わせると、8割強が結婚を肯定する回答となった。

【 年代別分布 】

☐ 自分の意志を貫いて結婚する／
子どもの意志を尊重する

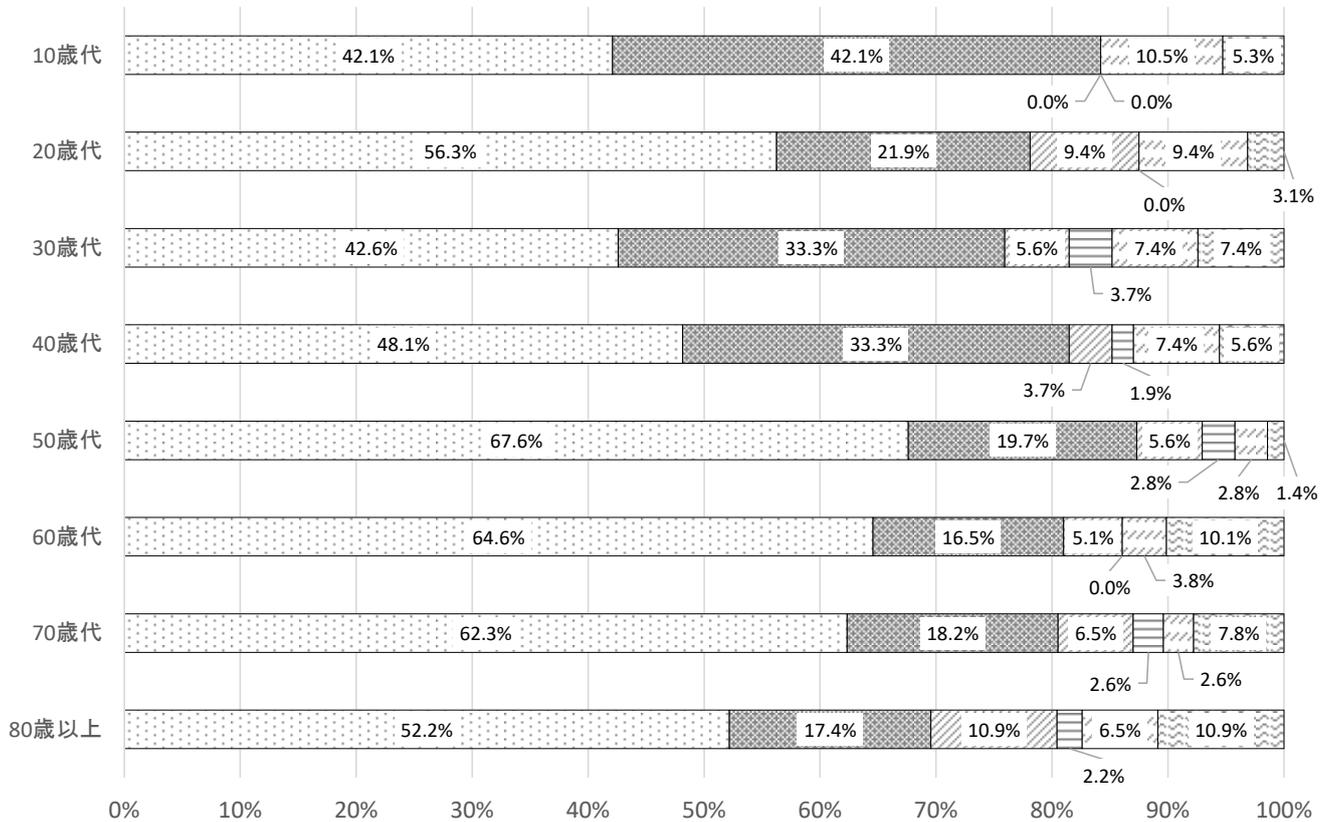
■ 家族や親せきを説得して結婚する／させる

▨ 家族や親せきの反対があれば
結婚しない／させない

□ 絶対に結婚しない／させない

▩ その他

■ 無回答



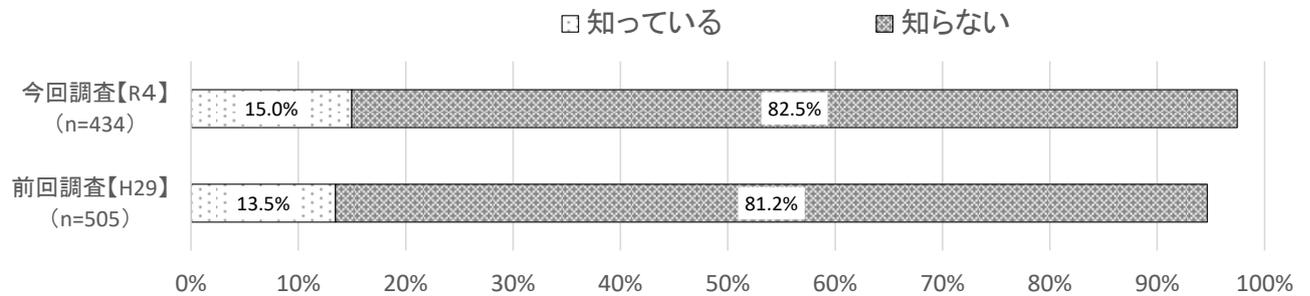
- すべての年代で、「自分の意志を貫いて結婚する／子どもの意志を尊重する」が4割を超えていた。
- 50歳代では、「自分の意志を貫いて結婚する／子どもの意志を尊重する (67.6%)」と「家族や親せきを説得して結婚する／させる (19.7%)」を合わせると、9割弱が結婚を肯定する回答となった。

【 その他 】

- ・ 考えた事なし。
- ・ 反対される理由を聞いた上で再考する。
- ・ どおするかは時間をかけて話をしたい。
- ・ 理由をきいて新聞に投書するなどして事を大きくする。後は本人の意志を尊重する。
- ・ まずは相手の方がどの様な方なのか。それによると思う。部落問題ではない。
- ・ その人の周りのふんいきやコミュニケーションなどってみてその対応による。
- ・ この問題かなしい。
- ・ そんな風になるなら結婚しない。
- ・ どこで生まれたとか関係ない。同和問題をとりあげることこそが問題。
- ・ 不明。
- ・ わからない。実際その状況にならないと想像できない。
- ・ その問題はすごく難しいです…。
- ・ 本人の気持次第（気にならず）。
- ・ （正直、よく）わからない。×7件

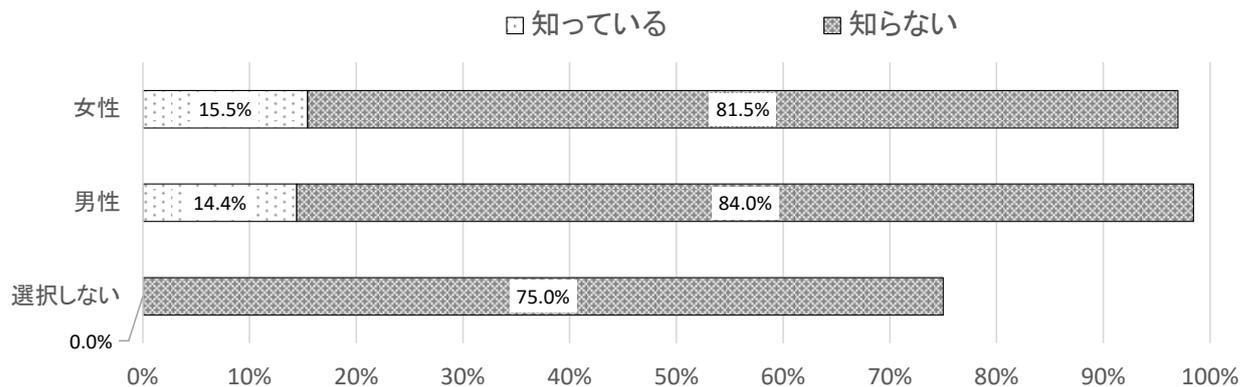
問 24 2016 年 12 月「部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題である」として、「部落差別の解消の推進に関する法律」（部落差別解消推進法）が制定施行されたことをあなたは知っていますか。どちらかに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



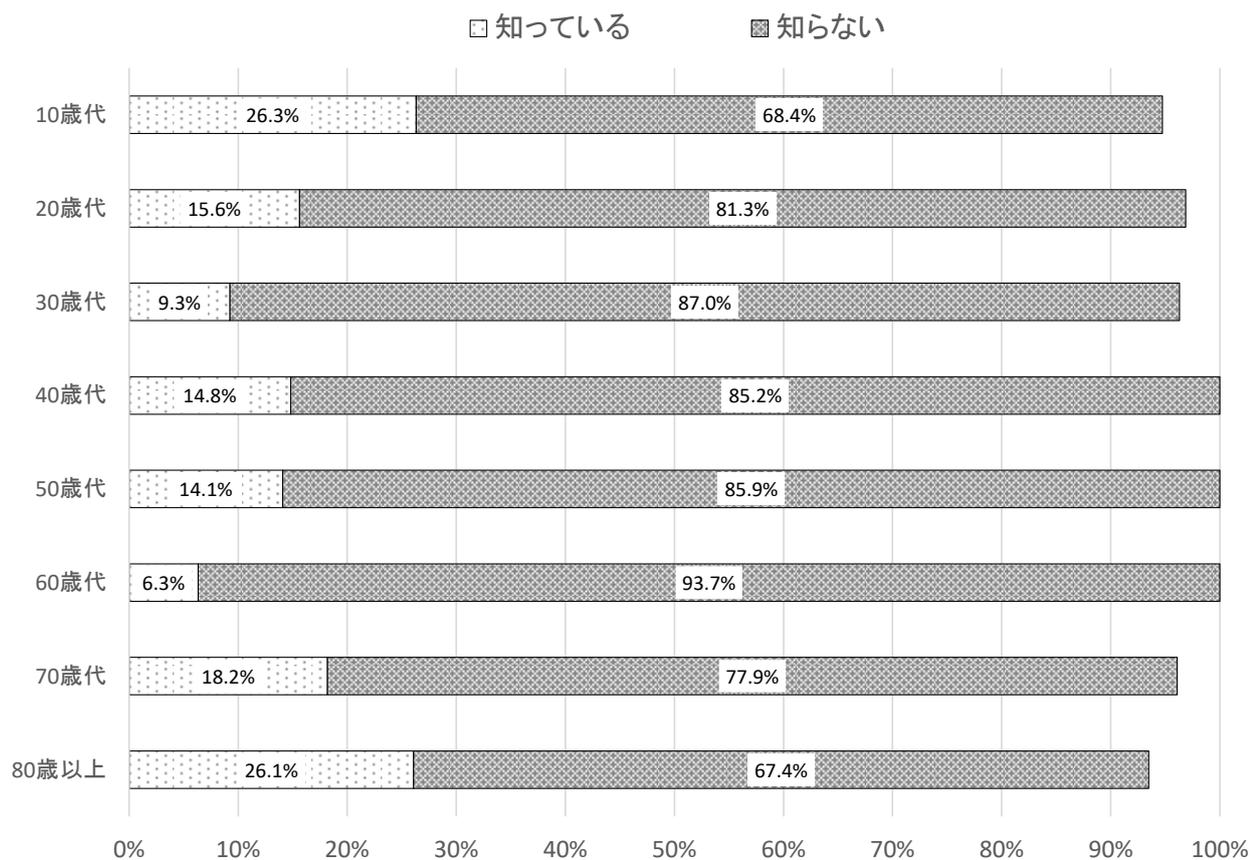
- ・ 2016 年 12 月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が制定施行されたことについて、「知らない（82.5%）」が 8 割強を占めていた。
- ・ 前回調査と比較して、大きな変化はなかった。

【 性別分布 】



- ・ 性別では、男女ともに「知っている（女性 15.5%、男性 14.4%）」の回答割合が 2 割にも及ばなかった。

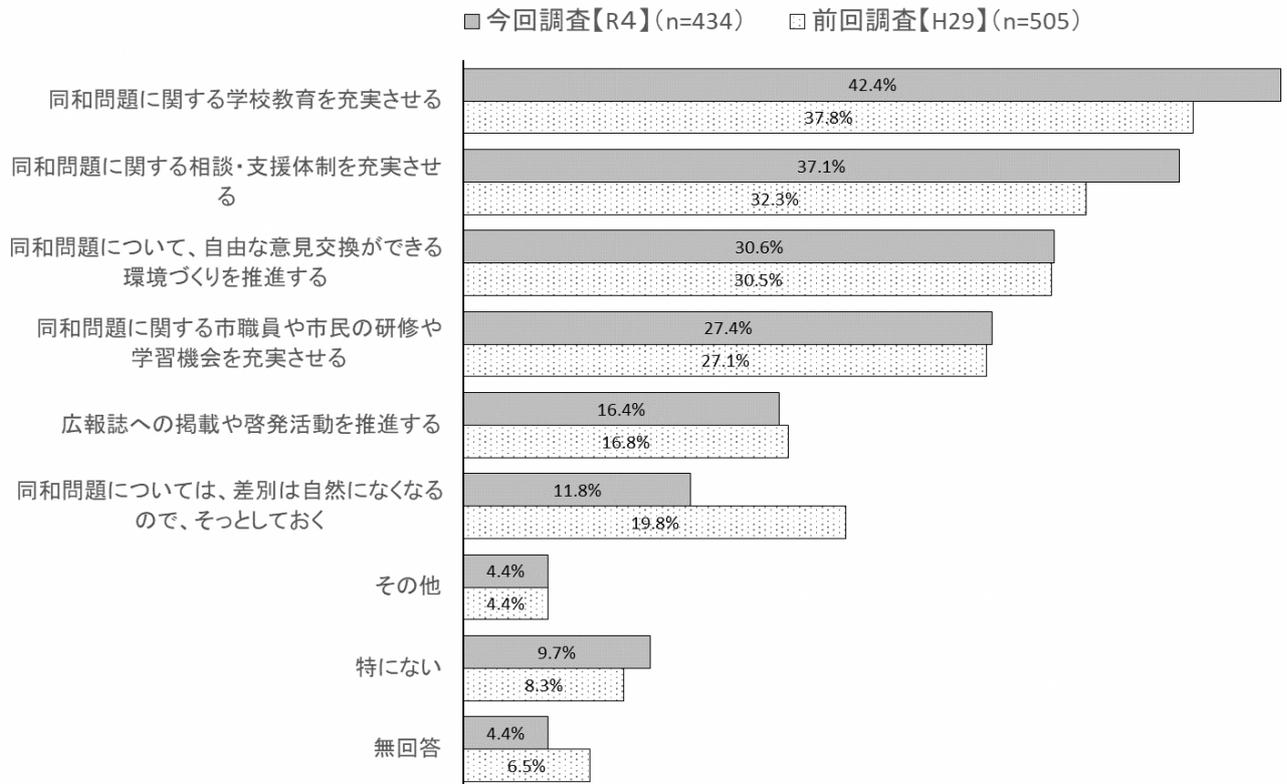
【 年代別分布 】



- ・年代別では、「知っている」と回答した中で、10歳代（26.3%）が最も高く、60歳代（6.3%）が最も低かった。

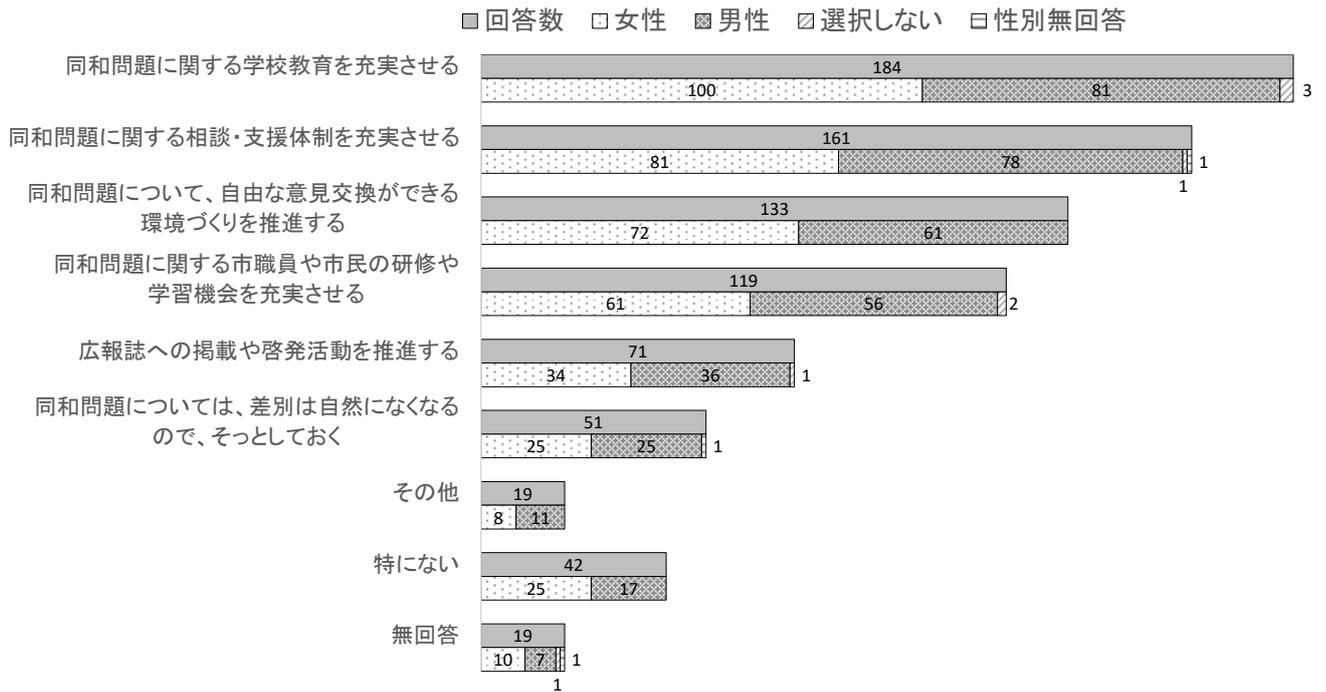
**問 25 あなたは、同和問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。**

【 前回調査との比較 】



- ・同和問題を解決するために必要なことは、「同和問題に関する学校教育を充実させる（184 件）」が最も多かった。次に、「同和問題に関する相談・支援体制を充実させる（161 件）」、「同和問題について、自由な意見交換ができる環境づくりを推進する（133 件）」、「同和問題に関する市職員や市民の研修や学習機会を充実させる（119 件）」、「広報誌への掲載や啓発活動を推進する（71 件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「同和問題については、差別は自然になくなるので、そっとしておく」の減少率が最も大きかった。

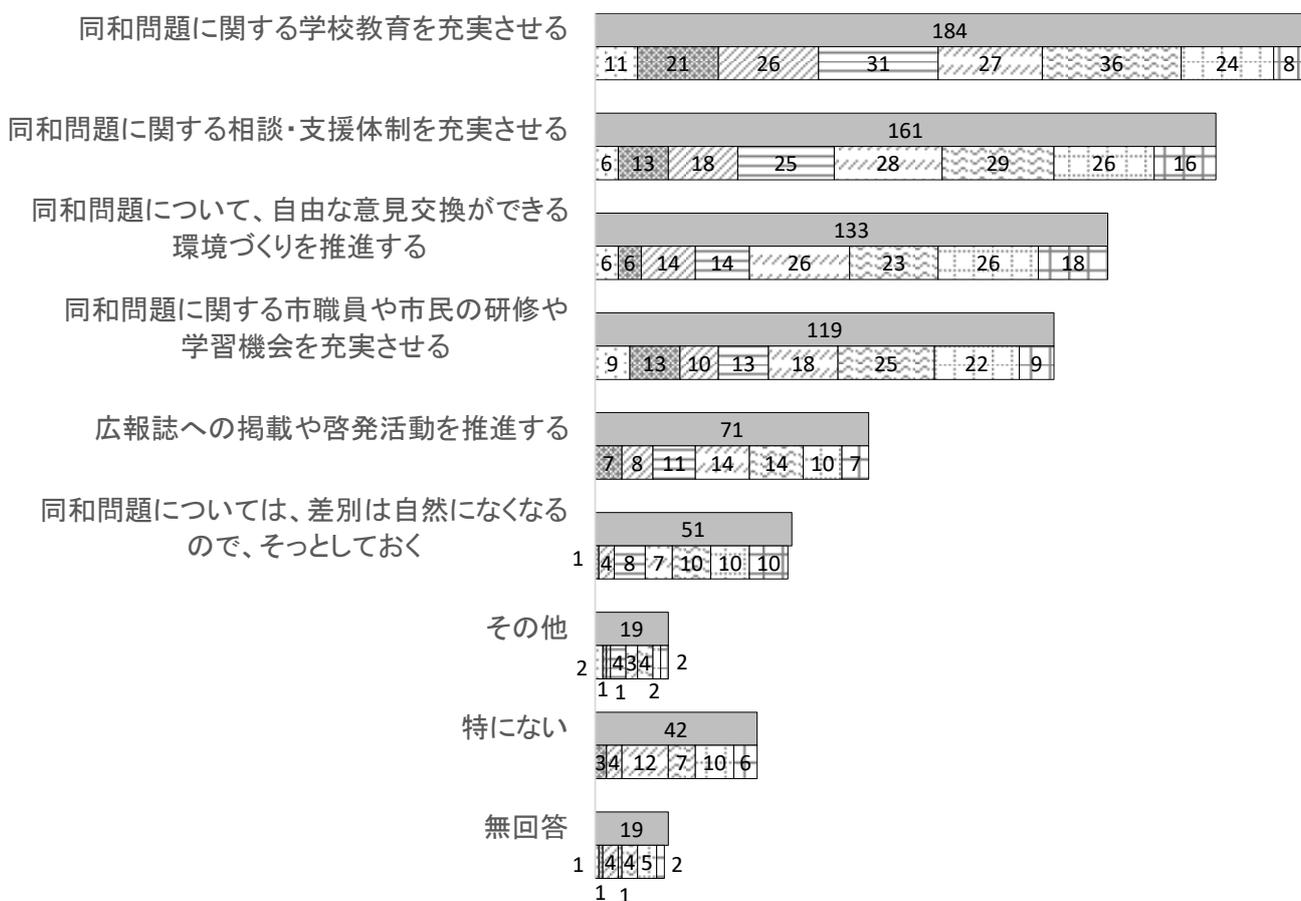
【 性別分布 】



- ・「広報誌への掲載や啓発活動を推進する（71件：女性34件、男性36件）」では、男性の回答数が女性を上回っていたが、それ以外は、女性の回答数が男性を上回っていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 ▨ 70歳代 □ 80歳以上



<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「同和問題に関する学校教育を充実させる（184件）」は、36件で60歳代

「同和問題に関する相談・支援体制を充実させる（161件）」は、29件で60歳代

「同和問題について、自由な意見交換ができる環境づくりを推進する（133件）」は、26件で50歳代と70歳代

「同和問題に関する市職員や市民の研修や学習機会を充実させる（119件）」は、25件で60歳代

「広報誌への掲載や啓発活動を推進する（71件）」は、14件で50歳代と60歳代で回答数が最も多かった。

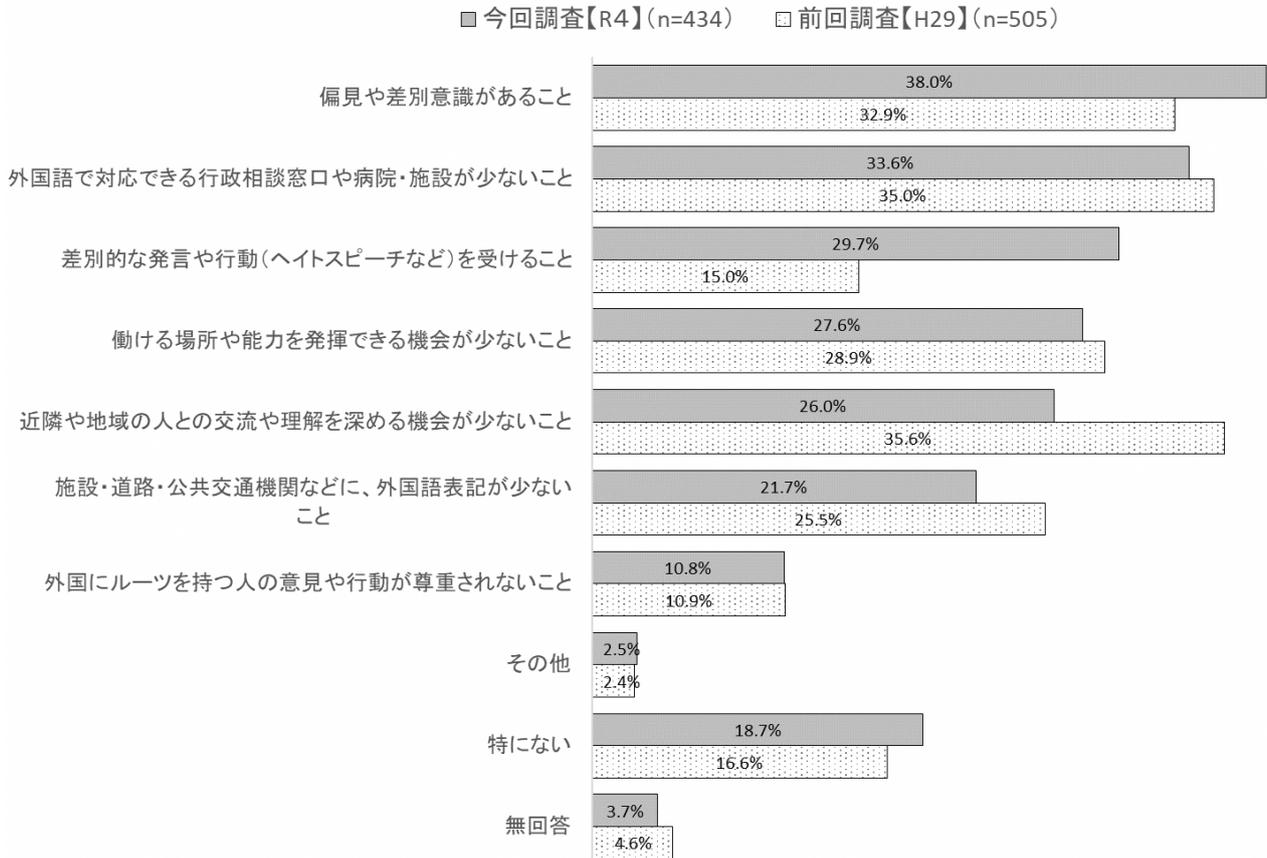
【 その他 】

- ・ 特別扱いしない。
- ・ あえて触れない事も解決手段の1つだと思います。
- ・ 同和問題のみならず、すべての差別や偏見の心を抱かないように他者を思いやることを基本にした学校教育や社会啓発活動を行う。
- ・ 同和地区について殊更問題となっていない地区で教育問題として取り上げることで、逆に同和地区の差別を助長する可能性を検討すべきだと思います。
- ・ 当市では深刻な話を聞いていない気がします。知識としてはありますが実感がありません。
- ・ 同和問題をねた子をおこすようなことする必要があるのでしょうか？今さらくわしく知るひつようはないと思う。
- ・ 特に意識づける事が不自然。
- ・ 知らない人にこの問題を思いださせること。
- ・ 同和問題を知らない世代にアプローチすることで、良い面もあるが、逆のパターンもあるので、知っている世代へのアプローチを強化。
- ・ 出来ることからしていく。
- ・ 同じ人であるという認識が有ればなくなる。
- ・ 同和問題が現代に至ってもくすぶり返していることの意味を考えて対処することが大事。
- ・ 同年代の人はどの地区がそうであるなど関心はなく、授業で初めて知るようであった。そこからどの地区なのか調べるといふ流れは最悪に思える。児童への教育よりも差別意識がより濃かった時代の人物が若い世代に伝えないようにしてほしい。
- ・ ①この問題は利権がらみになっている。停止廃止すべき法律である。②なぜ先祖がやってきた事に自信を持たないのか？自分達の先祖の生活を知るべき。
- ・ (どうすればいいか、) わからない。×4件

8 外国にルーツを持つ人の人権について

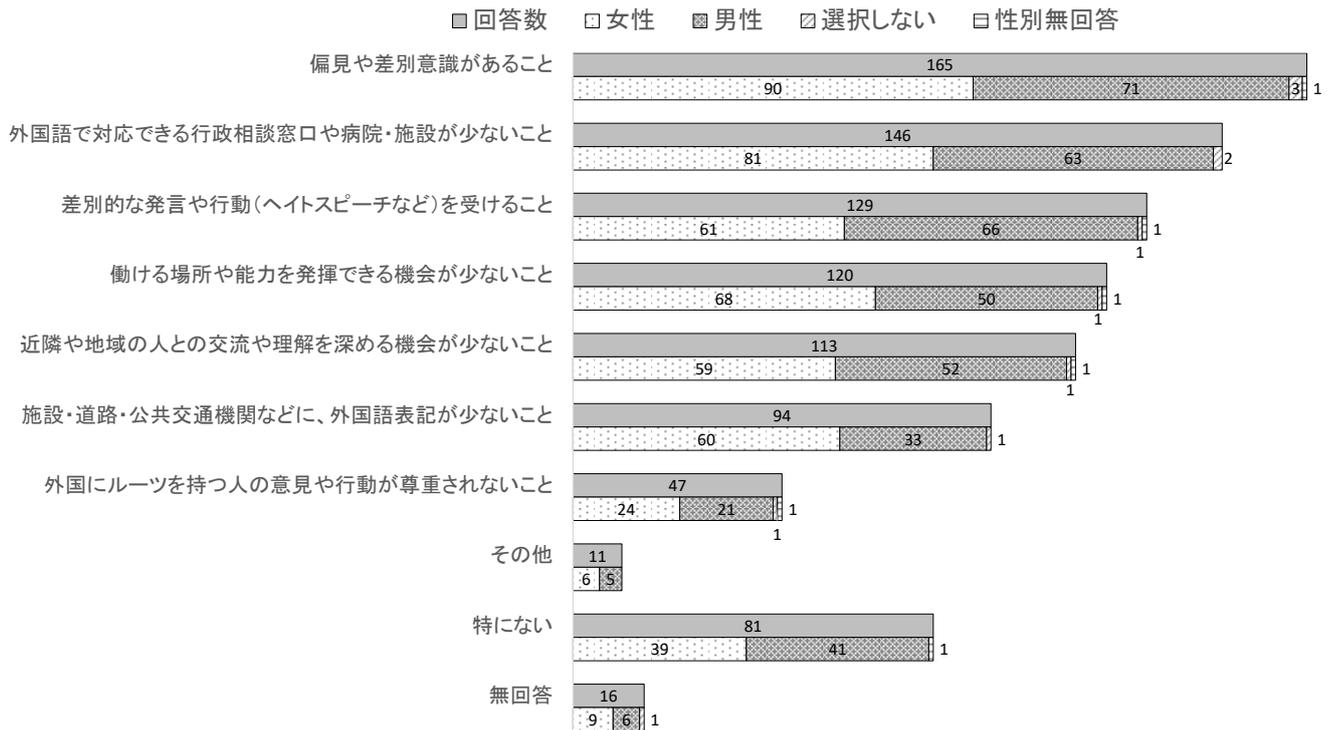
問 26 外国にルーツを持つ人の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・外国にルーツを持つ人の人権について問題があると思うことは、「偏見や差別意識があること（165件）」が最も多かった。次に、「外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと（146件）」、「差別的な発言や行動（ヘイトスピーチなど）を受けること（129件）」、「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと（120件）」、「近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと（113件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「差別的な発言や行動（ヘイトスピーチなど）を受けること」の増加率が突出して大きかった。一方で、減少率が最も大きかったのは、「近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと」だった。

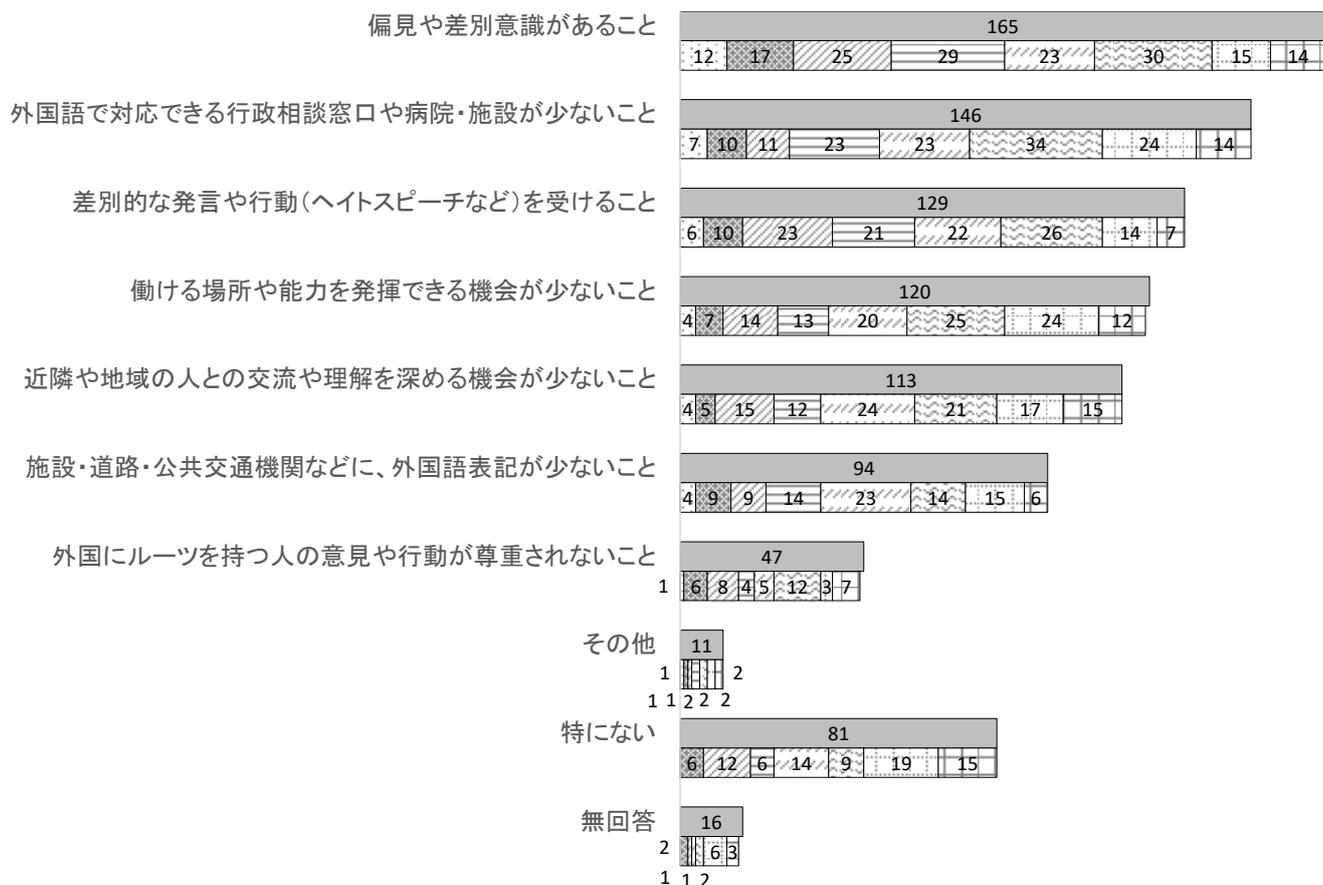
【 性別分布 】



- ・「施設・道路・公共交通機関などに、外国語表記が少ないこと (94 件: 女性 60 件、男性 33 件)」では、女性と男性の回答数差が比較的大きかった。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ▨ 20歳代 ▩ 30歳代 ▪ 40歳代 ▫ 50歳代 ▬ 60歳代 ▭ 70歳代 ▮ 80歳以上



・上位4項目では、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「偏見や差別意識があること (165件)」は、30件で60歳代

「外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと (146件)」は、34件で60歳代

「差別的な発言や行動(ヘイトスピーチなど)を受けること (129件)」は、26件で60歳代

「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと (120件)」は、25件で60歳代

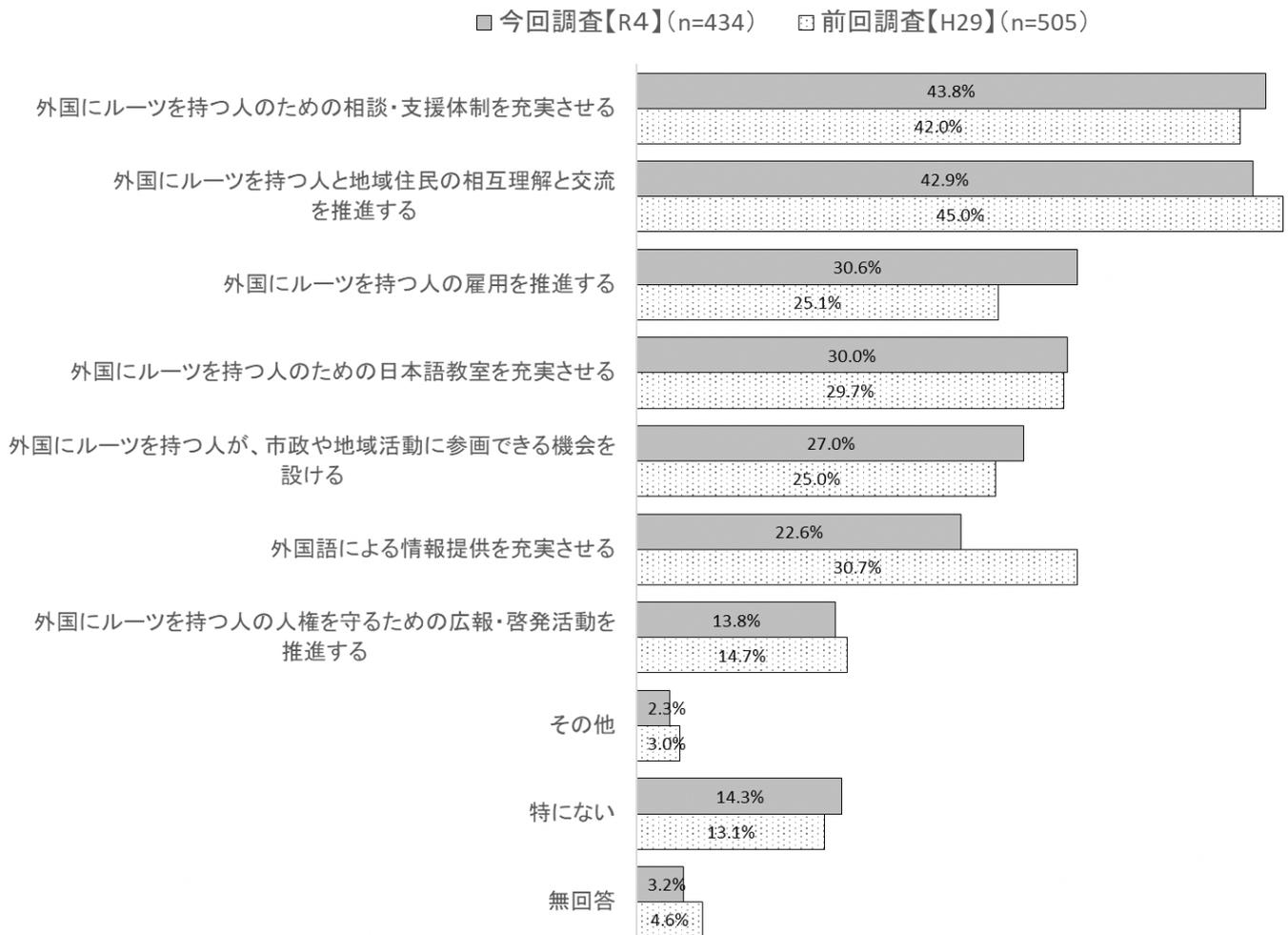
「近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと (113件)」は、24件で50歳代で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ わからない。
- ・ 不当な環境で働かされてお給料もまともに支払わない事業者がいるとニュースで聞くと腹立たしくなります。
- ・ 深く考えたり関わったり介した事がない。
- ・ 近くにそう人が居ないのでわからない。
- ・ 小千谷市では無いのでは？
- ・ まわりにいないのでわからない。
- ・ 国の偏見にも問題がある。
- ・ ルーツが無いので分かりません。

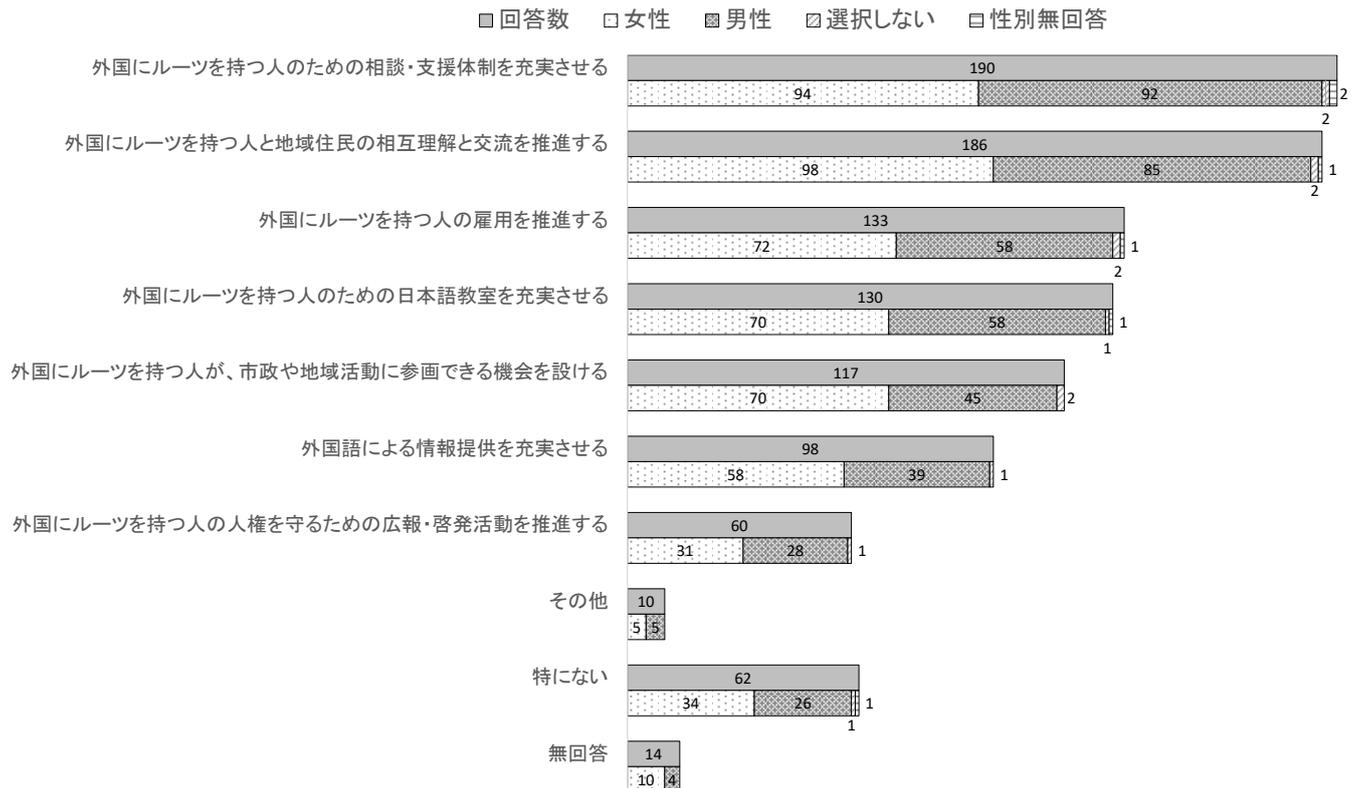
問 27 あなたは外国にルーツを持つ人の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・外国にルーツを持つ人の人権を守るために必要なことは、「外国にルーツを持つ人のための相談・支援体制を充実させる（190件）」が最も多かった。次に、「外国にルーツを持つ人と地域住民の相互理解と交流を推進する（186件）」、「外国にルーツを持つ人の雇用を推進する（133件）」、「外国にルーツを持つ人のための日本語教室を充実させる（130件）」、「外国にルーツを持つ人が、市政や地域活動に参画できる機会を設ける（117件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「外国語による情報提供を充実させる」の減少率が最も大きく、「外国にルーツを持つ人の雇用を推進する」の増加率が最も大きかった。

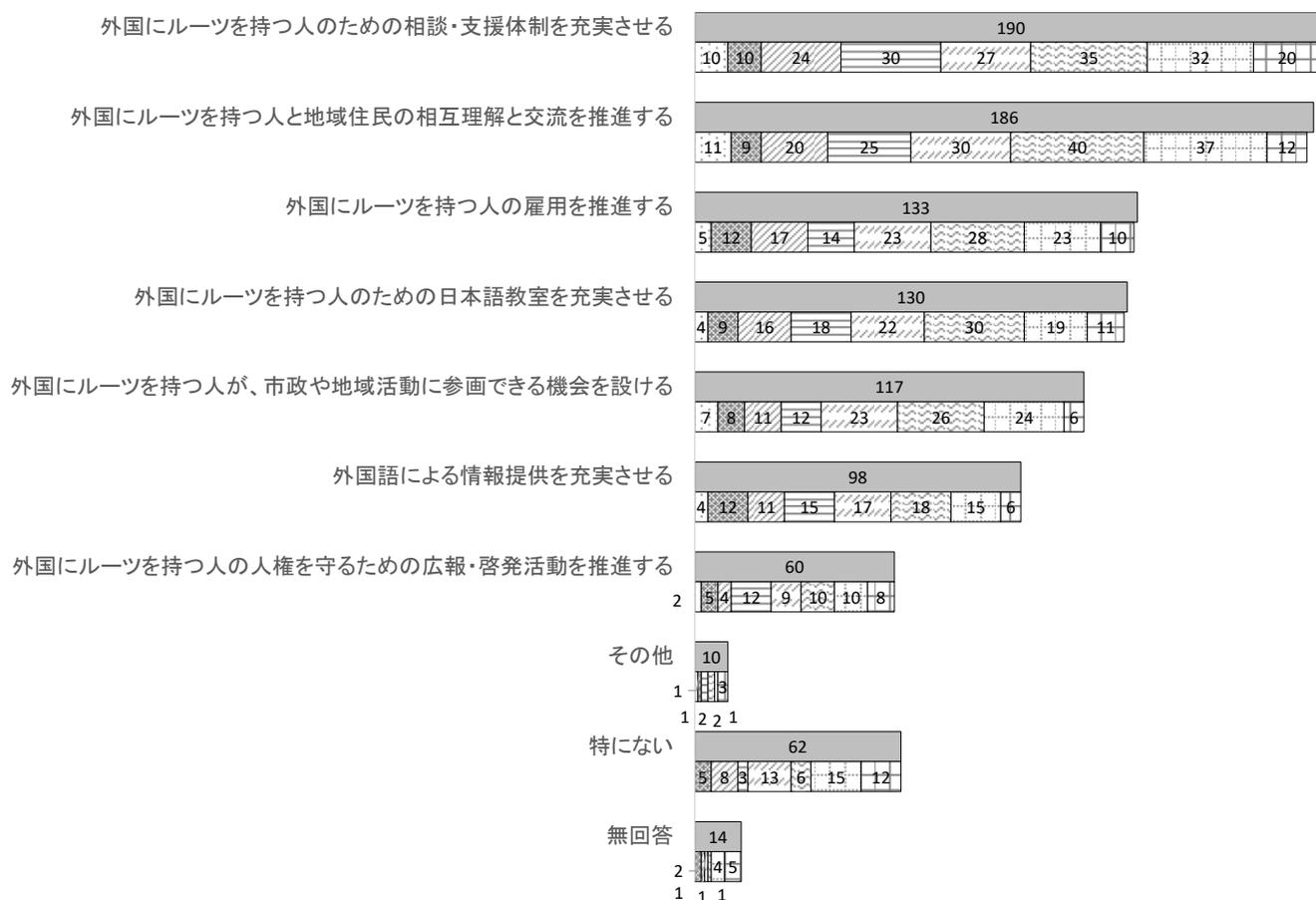
【 性別分布 】



- ・「外国にルーツを持つ人が、市政や地域活動に参画できる機会を設ける（117件：女性70件、男性45件）」では、女性と男性の回答数差が比較的大きかった。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 □ 20歳代 □ 30歳代 □ 40歳代 □ 50歳代 □ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



・上位6項目では、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「外国にルーツを持つ人のための相談・支援体制を充実させる（190件）」は、35件で60歳代

「外国にルーツを持つ人と地域住民の相互理解と交流を推進する（186件）」は、40件で60歳代

「外国にルーツを持つ人の雇用を推進する（133件）」は、28件で60歳代

「外国にルーツを持つ人のための日本語教室を充実させる（130件）」は、30件で60歳代

「外国にルーツを持つ人が、市政や地域活動に参画できる機会を設ける（117件）」は、26件で60歳代

で回答数が最も多かった。

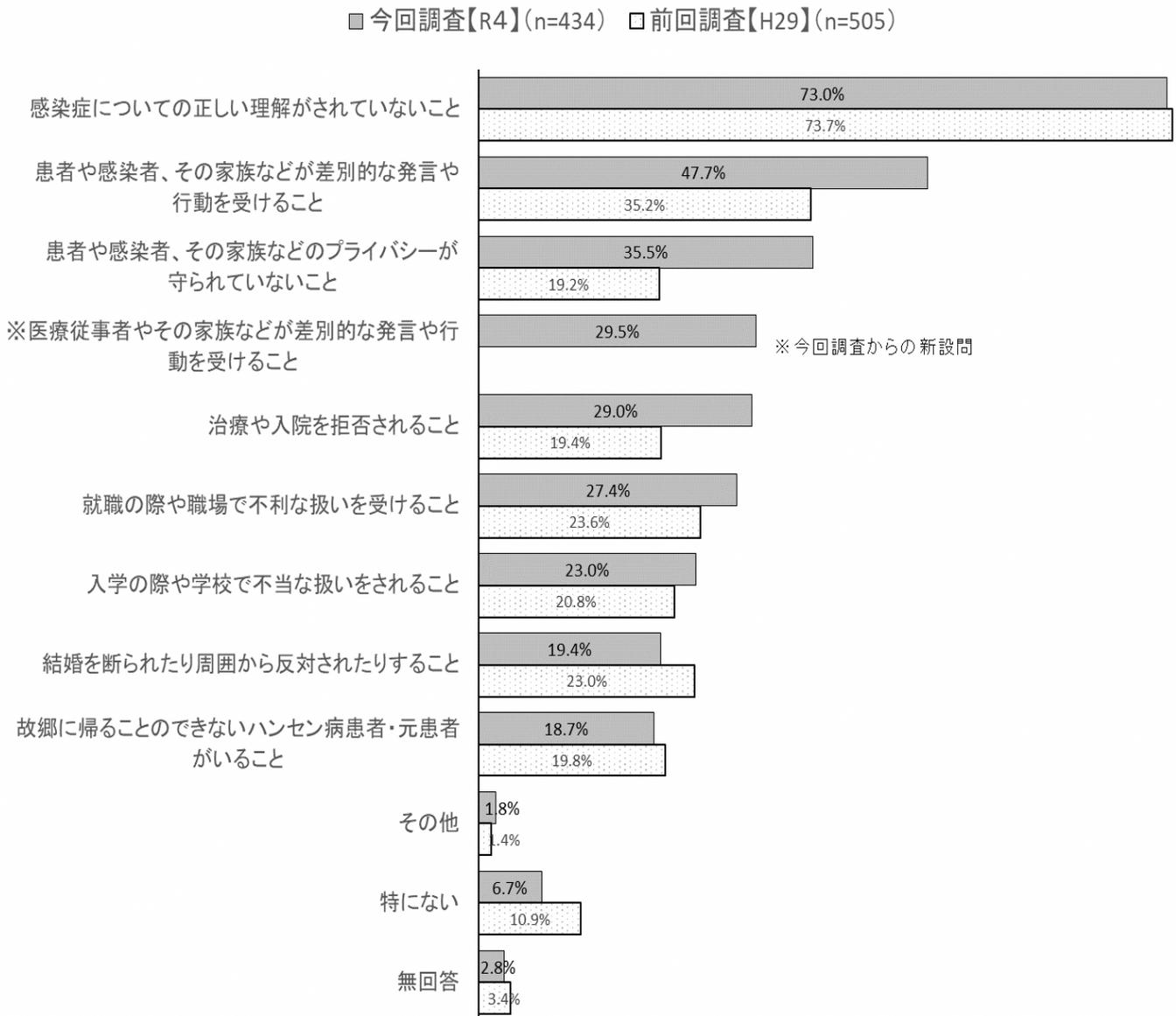
【 その他 】

- ・ 法整備とネットパトロールなどの取り締まりにより、差別する人を的確に罰する体制を作り、実行すること。
- ・ わからない。
- ・ 外国人と解る人が何人位いるのですか、目立たないです。
- ・ 近くにそう人が居ないのでわからない。
- ・ 人権を守るというよりも、尊重しあえたら良い。外国も日本も居る所が変われば同じ。
- ・ まわりにいないのでわからない。
- ・ 外国との事はあまり良くわからない。

9 新型の感染症患者やそのほかの感染症患者(エイズ患者、HIV感染者など)、ハンセン病患者および元患者などの人権について

問 28 感染症患者等の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

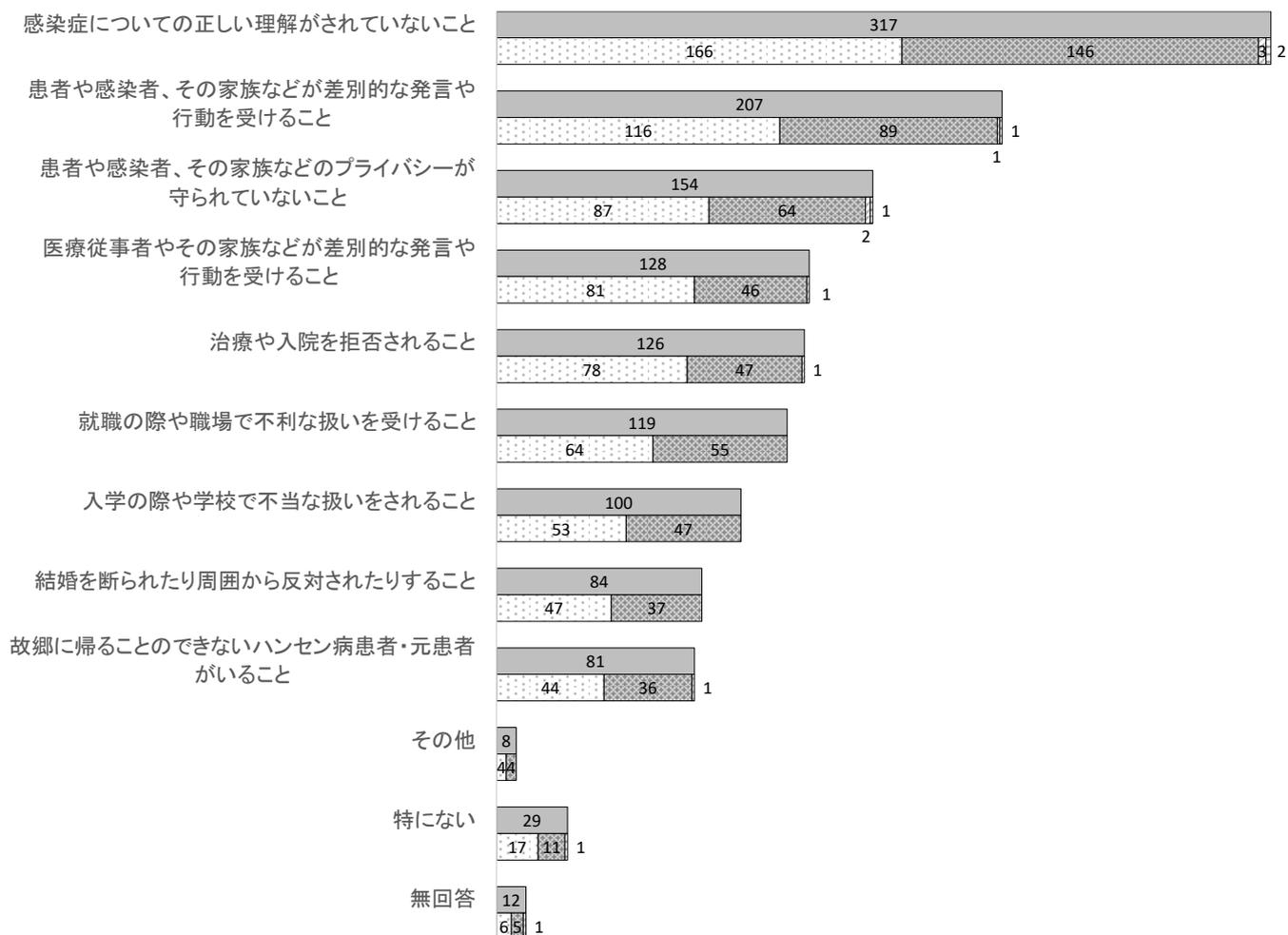
【 前回調査との比較 】



- ・感染症患者等の人権について問題があると思うことは、「感染症についての正しい理解がされていないこと（317件）」が最も多かった。次に、「患者や感染者、その家族などが差別的な発言や行動を受けること（207件）」、「患者や感染者、その家族などのプライバシーが守られていないこと（154件）」、「医療従事者やその家族などが差別的な発言や行動を受けること（128件）」、「治療や入院を拒否されること（126件）」と続いた。
- ・前回調査に比べて、「患者や感染者、その家族などが差別的な発言や行動を受けること」、「患者や感染者、その家族などのプライバシーが守られていないこと」と「治療や入院を拒否されること」の増加率が大きかった。

【 性別分布 】

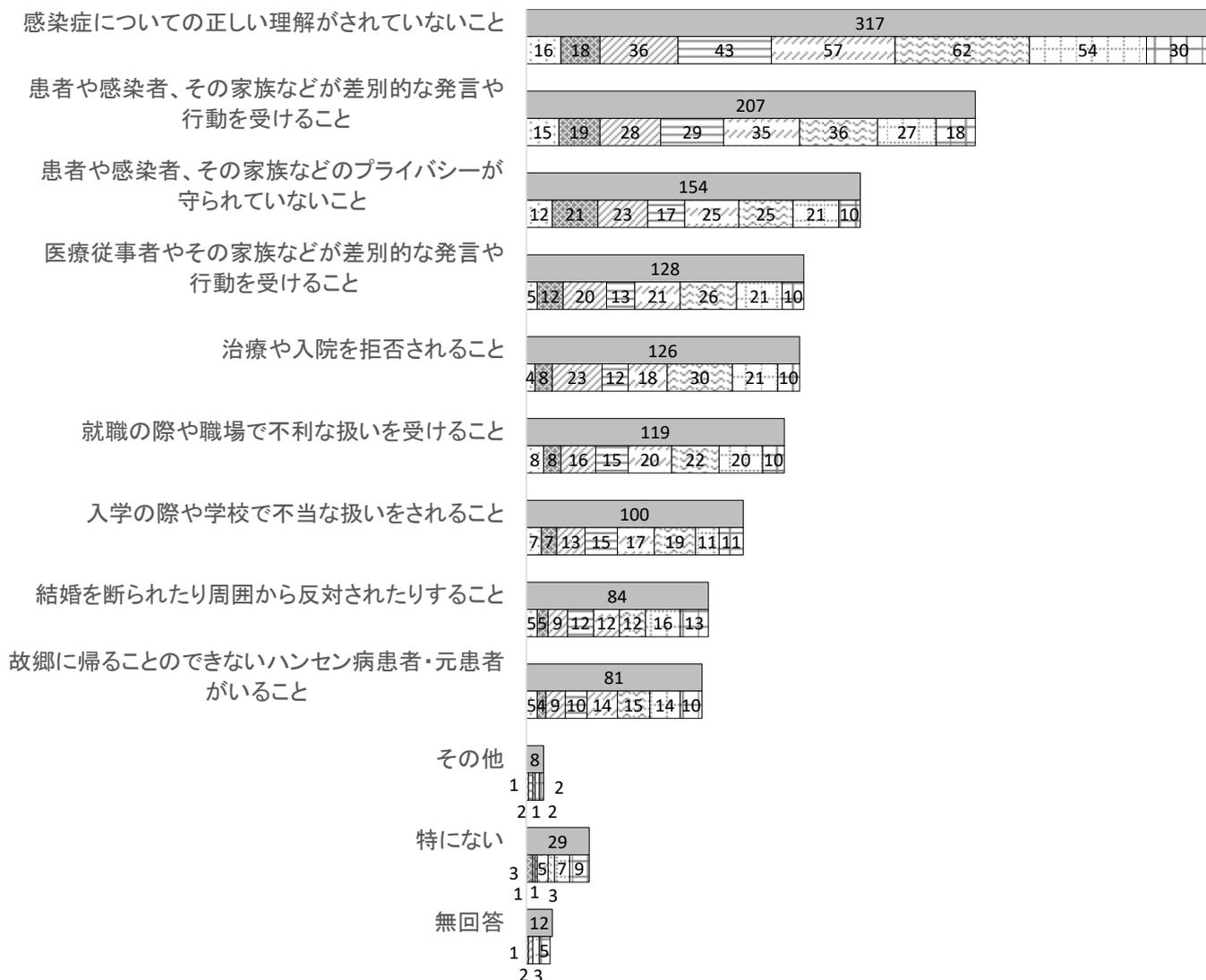
■ 回答数 □ 女性 ■ 男性 ▨ 選択しない □ 性別無回答



- ・「医療従事者やその家族などが差別的な発言や行動を受けること（128件：女性81件、男性46件）」では、女性と男性の回答数差が比較的大きかった。

【年代別分布】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▩ 50歳代 ▪ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



・ほとんど項目で、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「感染症についての正しい理解がされていないこと（317件）」は、62件で60歳代

「患者や感染者、その家族などが差別的な発言や行動を受けること（207件）」は、36件で60歳代

「患者や感染者、その家族などのプライバシーが守られていないこと（154件）」は、25件で50歳代と60歳代

「医療従事者やその家族などが差別的な発言や行動を受けること（128件）」は、26件で60歳代

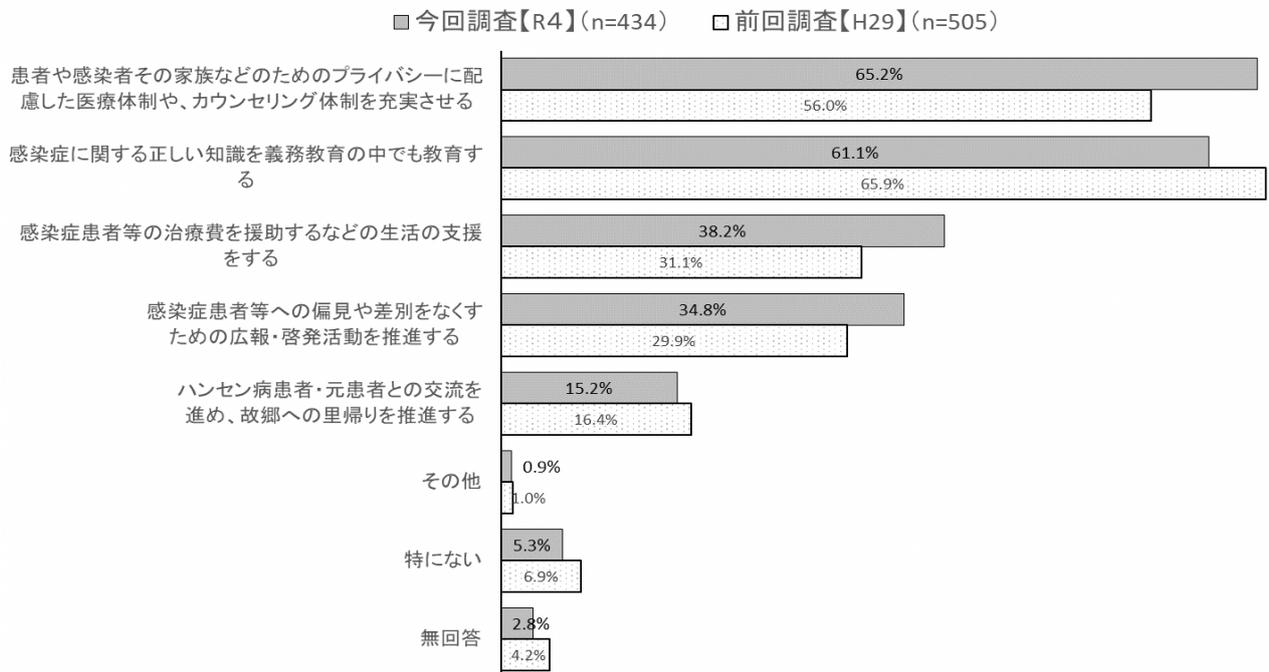
「治療や入院を拒否されること（126件）」は、30件で60歳代で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ いつまでもマスコミが騒ぎ立てるから
- ・ 初期にコロナに感染した家庭が村八分になったとの話が聞かれたが、雇用に影響があったとされたのは他者が他の家族に介入しすぎたとの印象を受ける。
- ・ ハンセン病に関しては私自身母から「感染する病気」と聞いていたのでそうではないと知った時にとっても驚いた記憶があります。何故もっと早く世の中に事実が伝えられなかったのかと思いました。
- ・ 身近に患者さんがいないのでわかりません。
- ・ 身近に感じていないのが実情です。
- ・ 当事者でないとわからない
- ・ ①昭和初中期はいろいろありました。今はわかりません。
- ・ HIVの感染に対する封じ込め対策が必要。安心・安全の確保。そうでなければ他の一般人の人権が守れない。

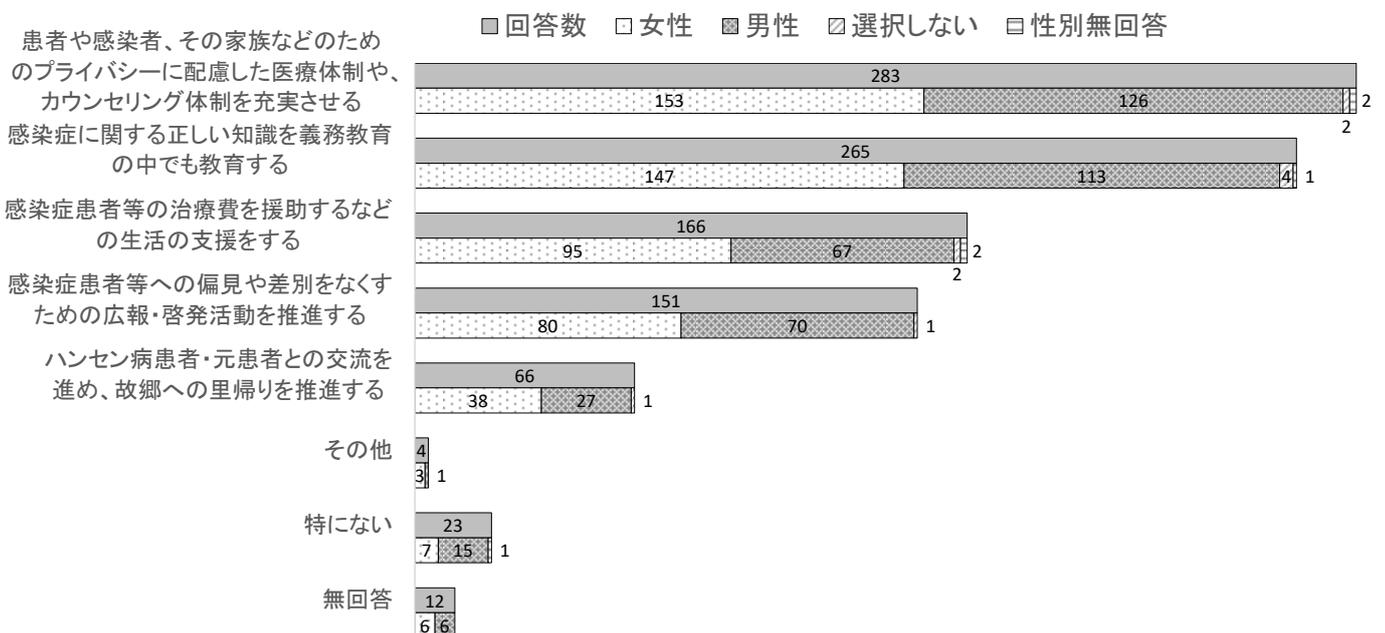
問 29 あなたは感染症患者等の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・感染症患者等の人権を守るために必要なことは、「患者や感染者、その家族などのためのプライバシーに配慮した医療体制や、カウンセリング体制を充実させる（283件）」が最も多かった。次に、「感染症に関する正しい知識を義務教育の中でも教育する（265件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「感染症に関する正しい知識を義務教育の中でも教育する」の減少率が最も大きく、「患者や感染者、その家族などのためのプライバシーに配慮した医療体制や、カウンセリング体制を充実させる」の増加率が最も大きかった。

【 性別分布 】

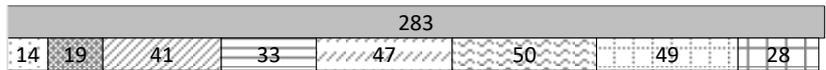


- ・どの項目も、女性の回答数が半数以上を占めていた。

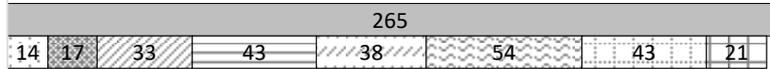
【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上

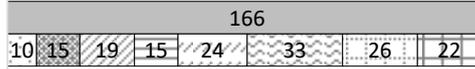
患者や感染者、その家族などのため
のプライバシーに配慮した医療体制や、
カウンセリング体制を充実させる
感染症に関する正しい知識を義務教育
の中でも教育する



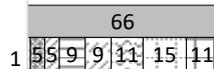
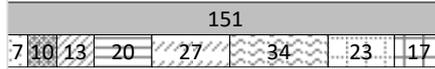
感染症患者等の治療費を援助するなど
の生活の支援をする



感染症患者等への偏見や差別をなくす
ための広報・啓発活動を推進する



ハンセン病患者・元患者との交流を
進め、故郷への里帰りを推進する



その他



特にない



無回答



- ・ 上位 4 項目で、60 歳代の回答数が最も多かった。

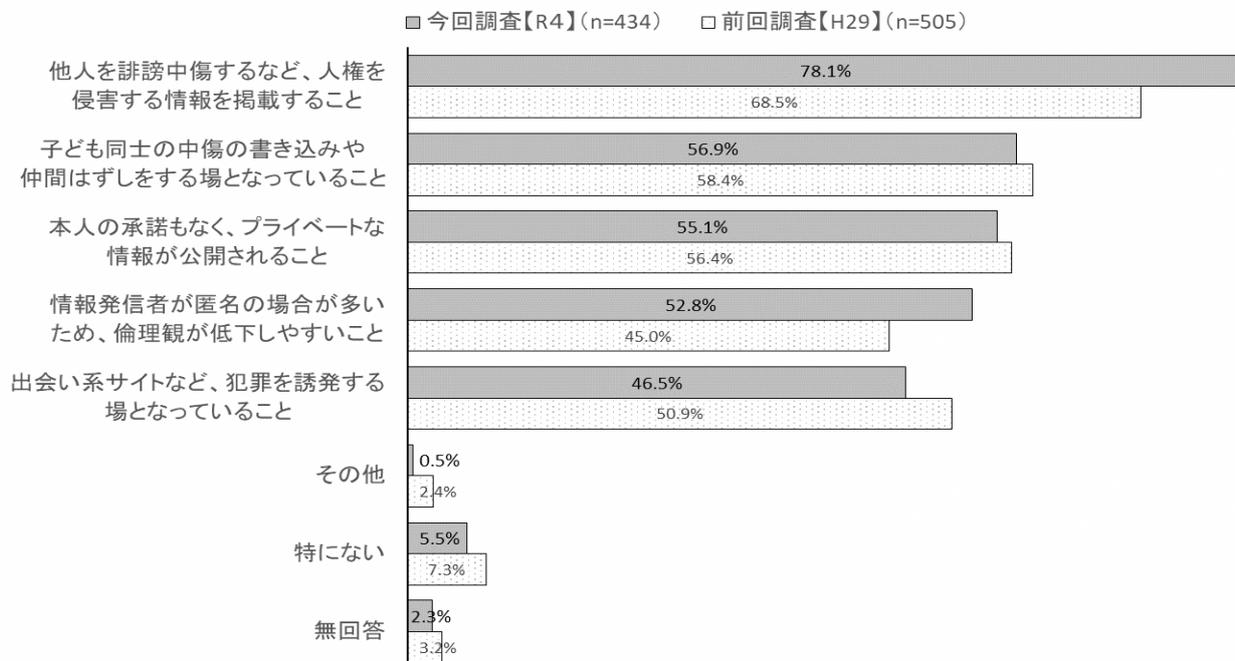
【 その他 】

- ・ 小千谷市においても初期段階で村八分や過剰な非難をあびないように書面ラジオ等での働きかけが必要とされるのではないかと思います。
- ・ 毎日人数を報告した行政のやり方にも問題がある。
- ・ 過干渉しないことも人権を守る一つの方法ではないか。私は静かに見守っていただきたいと思っている。
- ・ ※12 の感染に対する封じ込め対策が必要。安心・安全の確保。そうでなければ他の一般人の人権が守れない。

10 インターネット上での人権侵害について

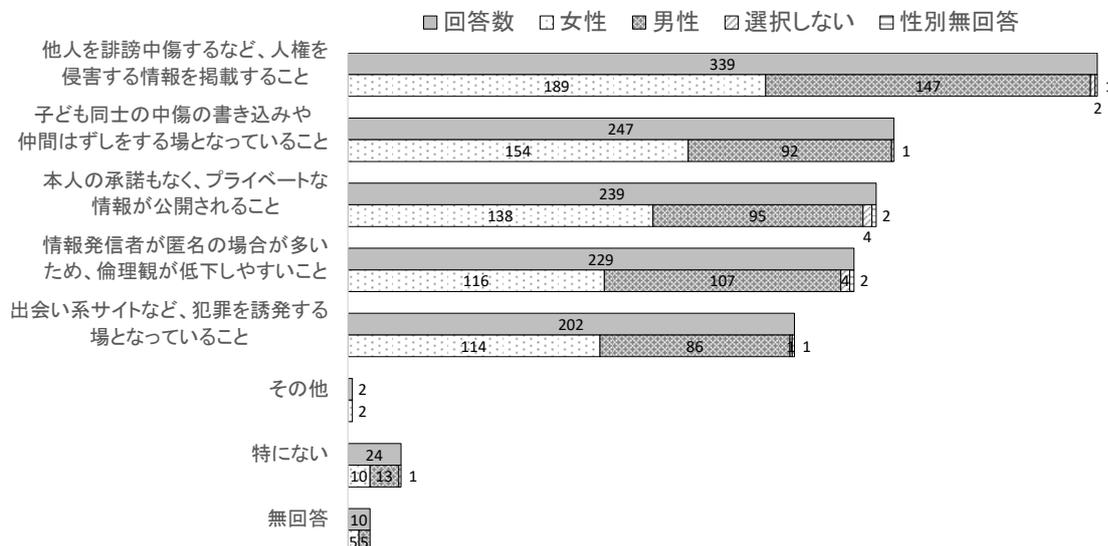
問 30 インターネット上での人権侵害について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・インターネット上での人権侵害について問題があると思うことは、「他人を誹謗中傷するなど、人権を侵害する情報を掲載すること（339 件）」が最も多かった。次に、「子ども同士の中傷の書き込みや仲間はずしをする場となっていること（247 件）」、「本人の承諾もなく、プライベートな情報が公開されること（239 件）」と続いたが、項目ごとの回答数差は比較的小さかった。
- ・前回調査と比べて、「出会い系サイトなど、犯罪を誘発する場となっていること」の減少率が最も大きく、「他人を誹謗中傷するなど、人権を侵害する情報を掲載すること」の増加率が最も大きかった。

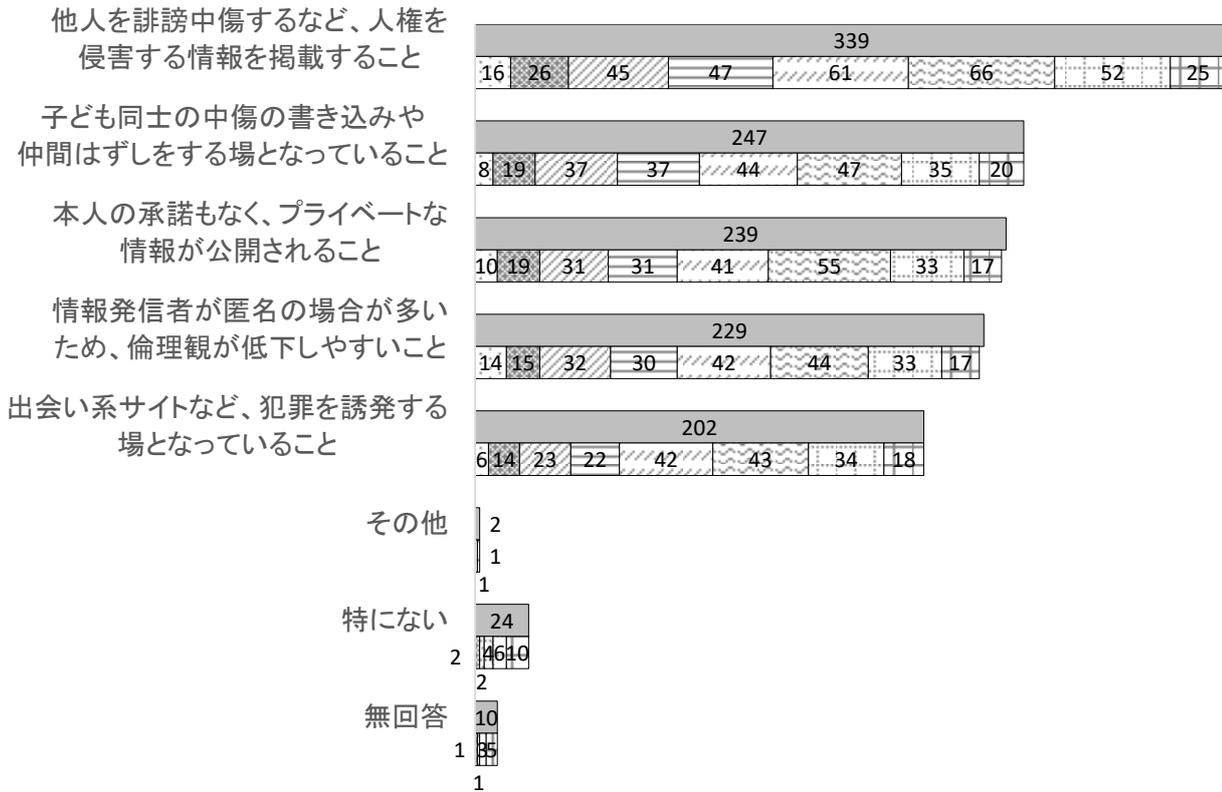
【 性別分布 】



- ・どの項目も、女性の回答数が半数以上を占めていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



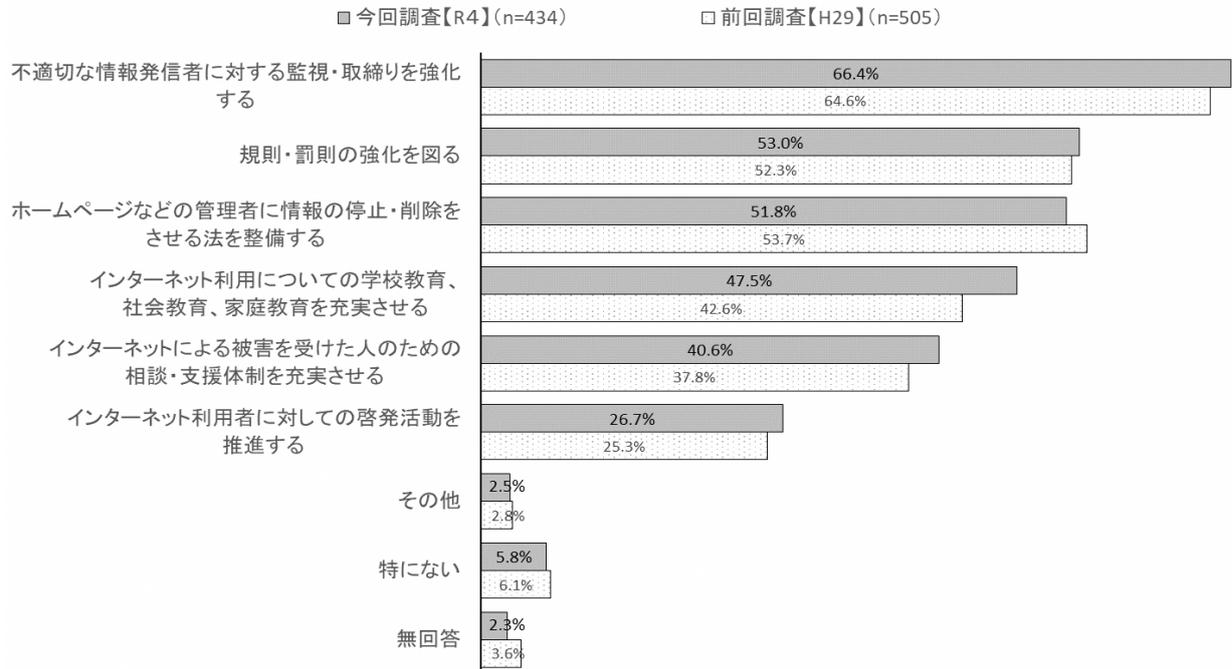
・ どの項目も、60歳代の回答数が最も多かった。

【 その他 】

・ インターネットしないです。

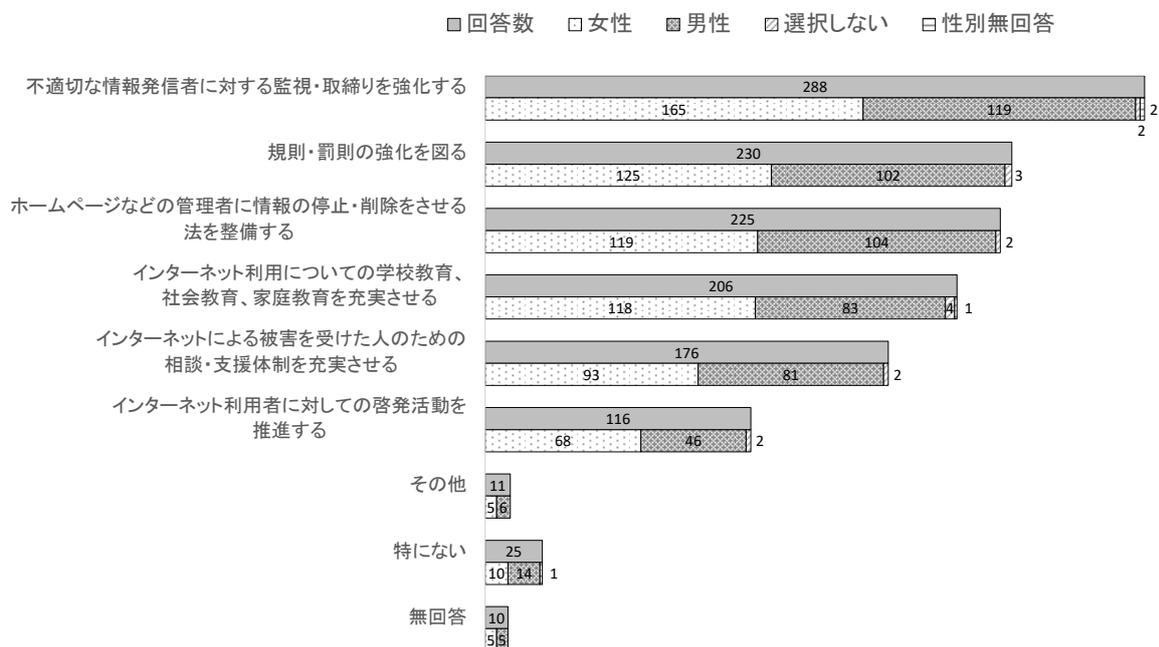
問 31 インターネットによる人権侵害をなくすためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・インターネットによる人権侵害をなくすために必要なことは、「不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する（288件）」が最も多かった。次に、「規則・罰則の強化を図る（230件）」、「ホームページなどの管理者に情報の停止・削除をさせる法を整備する（225件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「インターネット利用についての学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる」の増加率が最も大きかった。

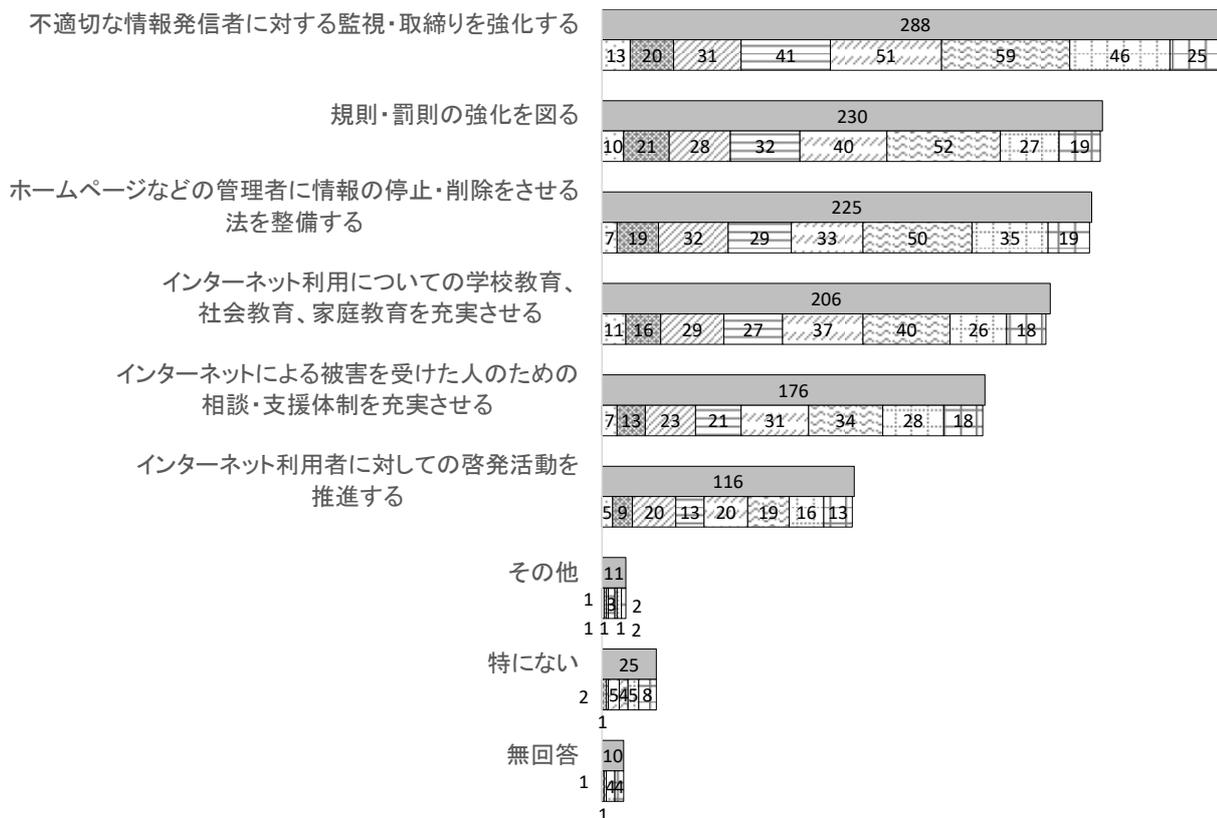
【 性別分布 】



- ・どの項目も、女性の回答数が半数以上を占めていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



・ 上位 5 項目で、60 歳代の回答数が最も多かった。

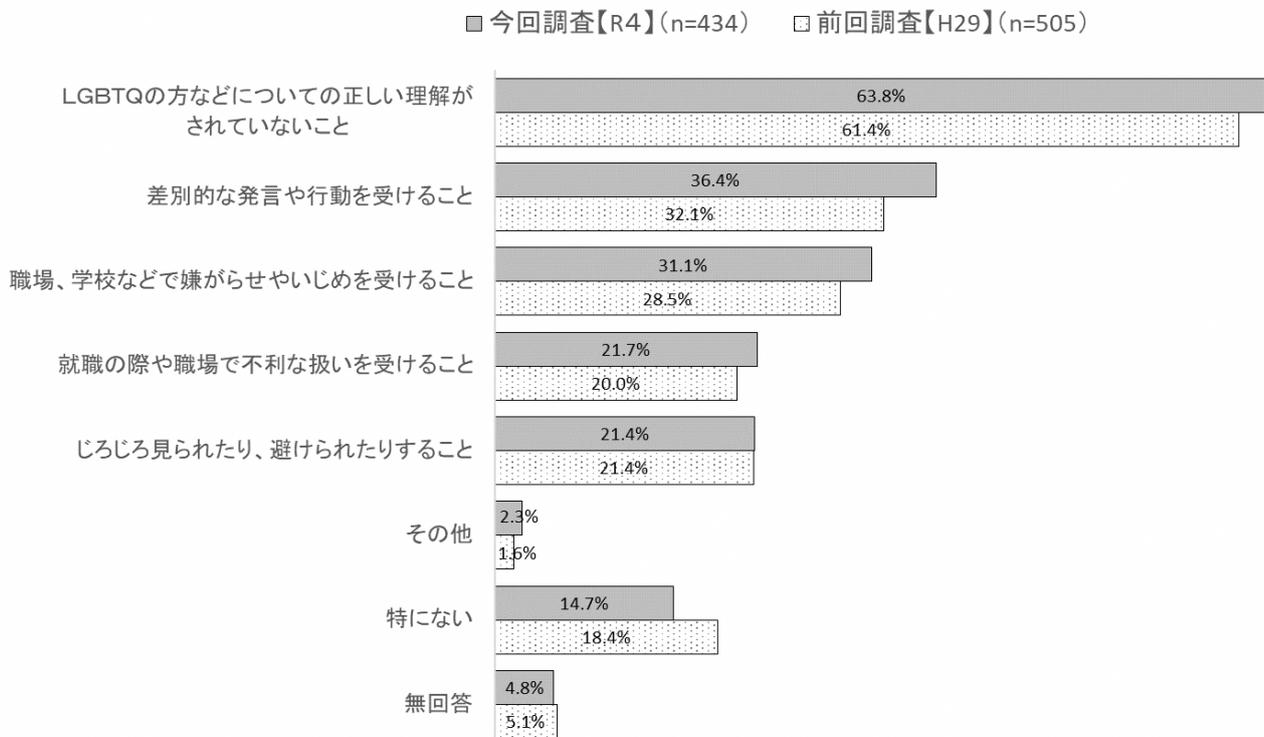
【 その他 】

- ・ 人権侵害書き込み発信をできなくする SNS のシステムを作る。
- ・ 義務教育下において SNS を利用した誹謗中傷が名誉棄損や侮辱罪といった刑事罰の対象となりうること。また、民法上の不法行為責任の対象となりうることを伝える必要があると思う。
- ・ 匿名サイトの監視及び取締り強化。
- ・ 一人一人の知識、意識も大切なのでは？
- ・ インターネットは使っていない。
- ・ 詳細な法整備とどのような罰則があるかを周知する。
- ・ 不適切な情報発信者に対して（そういう人は、匿名でしかできない）行動の背景を考えて対応が必要。
- ・ 容易に人権をキズつけやすいネットでの中傷ヒボウをなくす方向が最も大事。
- ・ 良くわかりません。
- ・ そんな信頼できないものは使わないこと。

11 LGBTQの方などの人権について

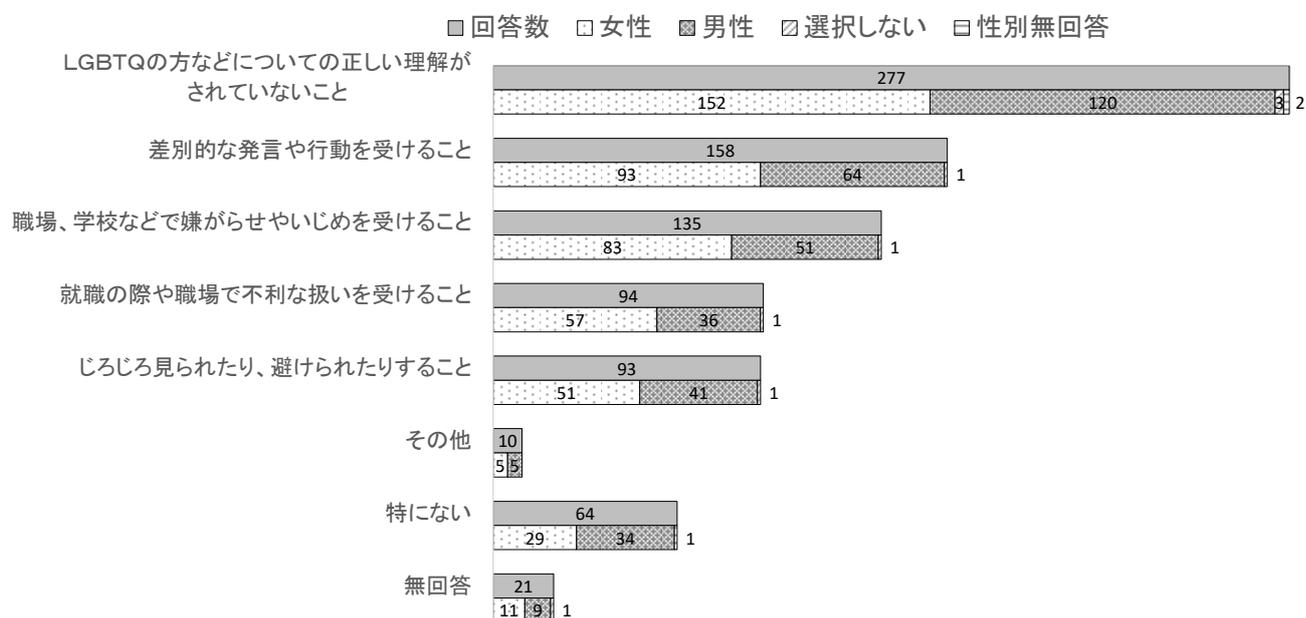
問 32 LGBTQの方などの人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・LGBTQの方などの人権について問題があると思うことは、「LGBTQの方などについての正しい理解がされていないこと (277 件)」が最も多かった。次に、「差別的な発言や行動を受けること (158 件)」、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること (135 件)」と続いた。
- ・前回調査と比較して、大きな変化はなかった。

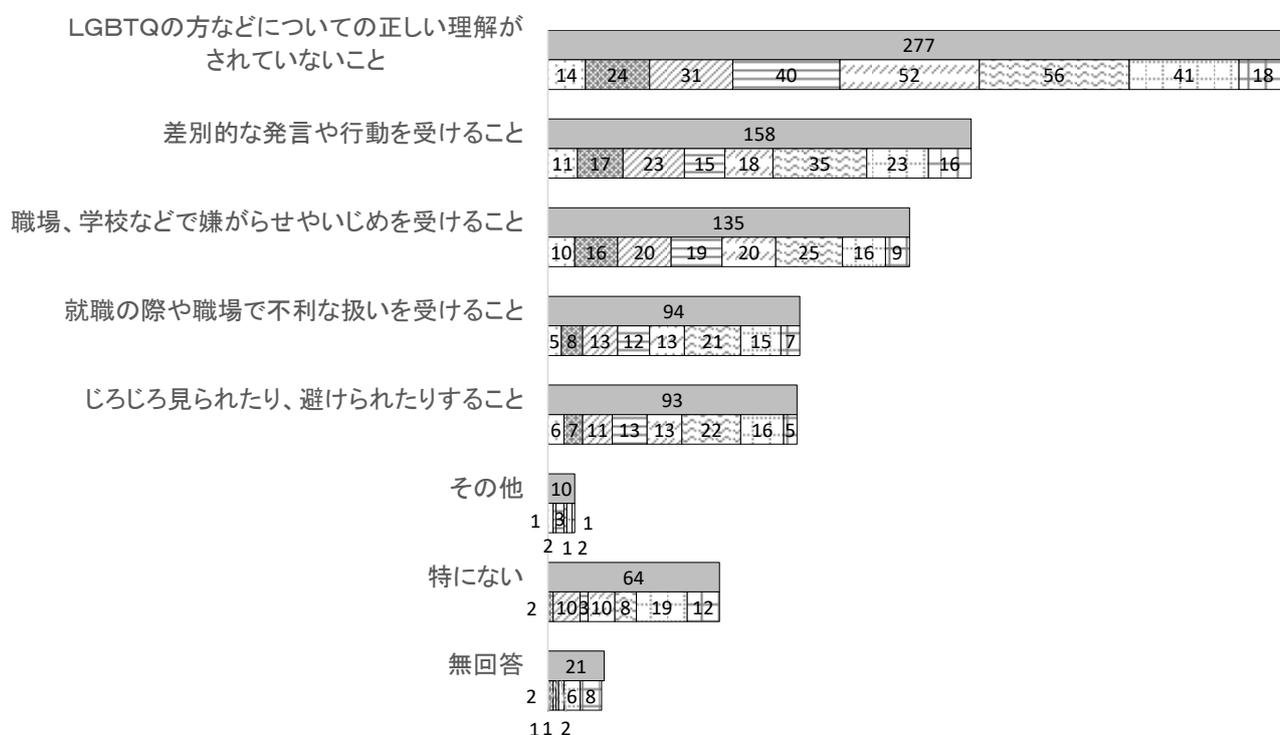
【 性別分布 】



- ・どの項目も、女性の回答数が半数以上を占めていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳以上



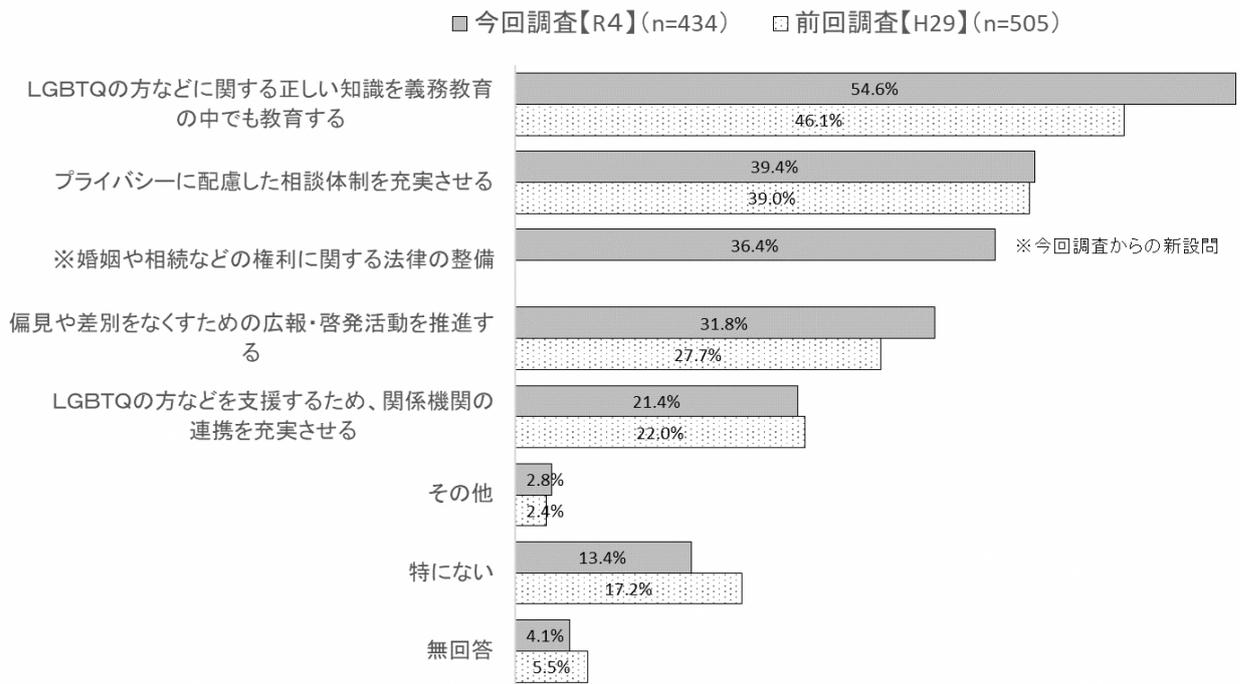
- ・ どの項目も、60歳代の回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ LGBT を利用する政党がいる事。
- ・ 若い人は特に感じないが 40 代、30 代以上の人達が差別している（世代で意識に違いあり）若い人は SNS で良い情報も得ている。
- ・ 近年は TV などでもその問題が取り上げられたり当事者の話を聞く機会が有り、以前よりは理解される様になったのではと思いますが皆が幸せになる権利がある事をまわりも理解すべきだと思います。
- ・ 気持ち悪がられる。（好きになるのが同性ってだけなのにひどいと思う）
- ・ その立場の人が考えれば良い事。
- ・ LGBTQ よりも、周囲の人の考え方。感じる気持ち。多い、少ないで、普通かそうでないかを決めてしまう日本人の気質が問題。
- ・ 中学校に制服があること。男子が髪を伸ばせないこと。
- ・ 良くわかりません。
- ・ 性自認、性的指向、生物学的な性などの観点で分類されて見られず、一括りにされること。
- ・ 遺伝子変異によるもの、自称によるゴマカシ、単なる趣味と何でも人権にしてしまうことの方が問題である。

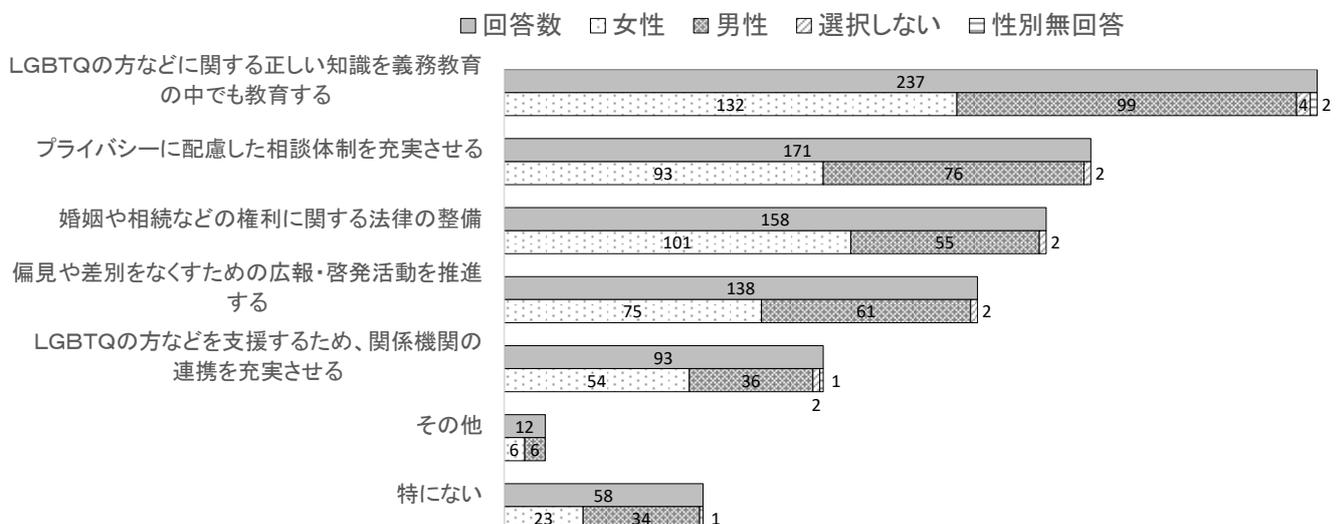
問 33 あなたはLGBTQの方などの人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】



- ・LGBTQの方などの人権を守るために必要なことは、「LGBTQの方などに関する正しい知識を義務教育の中でも教育する（237件）」が最も多かった。次に、「プライバシーに配慮した相談体制を充実させる（171件）」、「婚姻や相続などの権利に関する法律の整備（158件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「LGBTQの方などに関する正しい知識を義務教育の中でも教育する」の増加率が最も大きかった。

【 性別分布 】

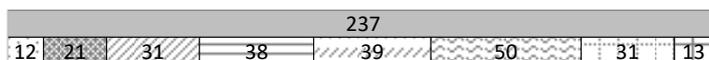


- ・「婚姻や相続などの権利に関する法律の整備（158件：女性101件、男性55件）」では、女性と男性の回答数差が比較的大きかった。

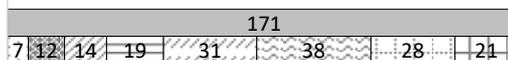
【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 ▨ 70歳代 ▨ 80歳以上

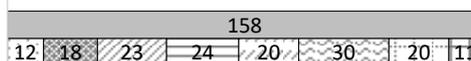
LGBTQの方などに関する正しい知識を義務教育
の中でも教育する



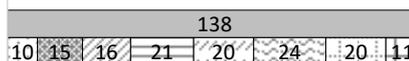
プライバシーに配慮した相談体制を充実させる



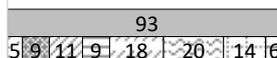
婚姻や相続などの権利に関する法律の整備



偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を推進
する



LGBTQの方などを支援するため、関係機関の
連携を充実させる



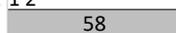
その他



1 1

2 2

特になし



1 8 13 8 12 12

2 2

- ・ どの項目も、60歳代の回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ LGBTQの方々、わからない、理解に苦しむ。
- ・ 多様性の教育は義務教育後も必要と思います。
- ・ 自分からもカミングアウトすることも大事だと思います。
- ・ 同じ悩みを抱えている人同士での交流の場を設ける。
- ・ 静観すること。
- ・ 中学校が変わること。
- ・ 表記をLGBTQ+やLGBT sなどにする。意味合いは調べてもらった方が正確です。
- ・ (良く)わかりません。×2件

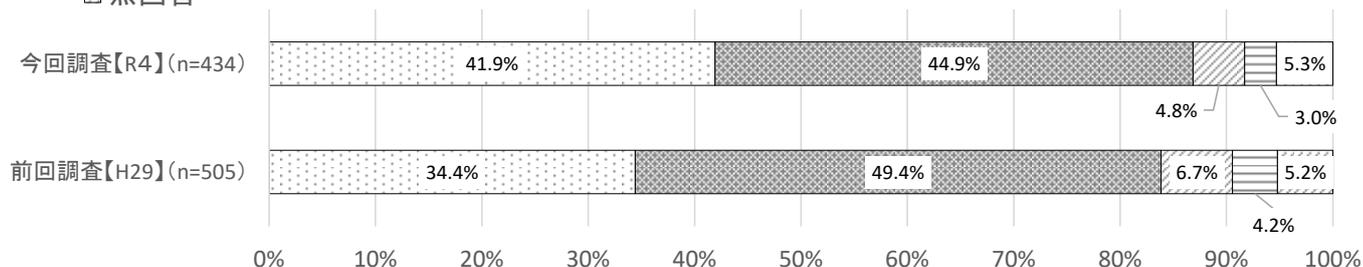
12 人権を守るための活動について

問 34 あなたは「身元調査」についてどのように考えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

【 前回調査との比較 】

- 差別につながる恐れがあるので、すべきではないと思う
- 身元調査をすることは、当然のことだと思う
- よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う
- その他

無回答

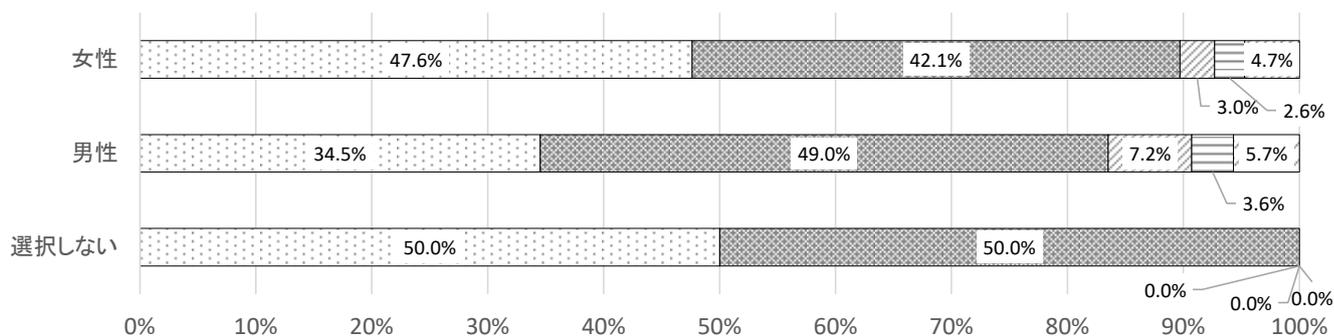


- ・「身元調査」についての考えを聞いたところ、「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う（44.9%）」が最も多く、全体の4割強を占めていた。「身元調査をすることは、当然のことだと思う（4.8%）」と合わせると、全体のほぼ5割が「身元調査」を肯定する回答となった。
- ・前回調査と比べて、「差別につながる恐れがあるので、すべきではないと思う」が7.5ポイント増加した。

【 性別分布 】

- 差別につながる恐れがあるので、すべきではないと思う
- 身元調査をすることは、当然のことだと思う
- よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う
- その他

無回答



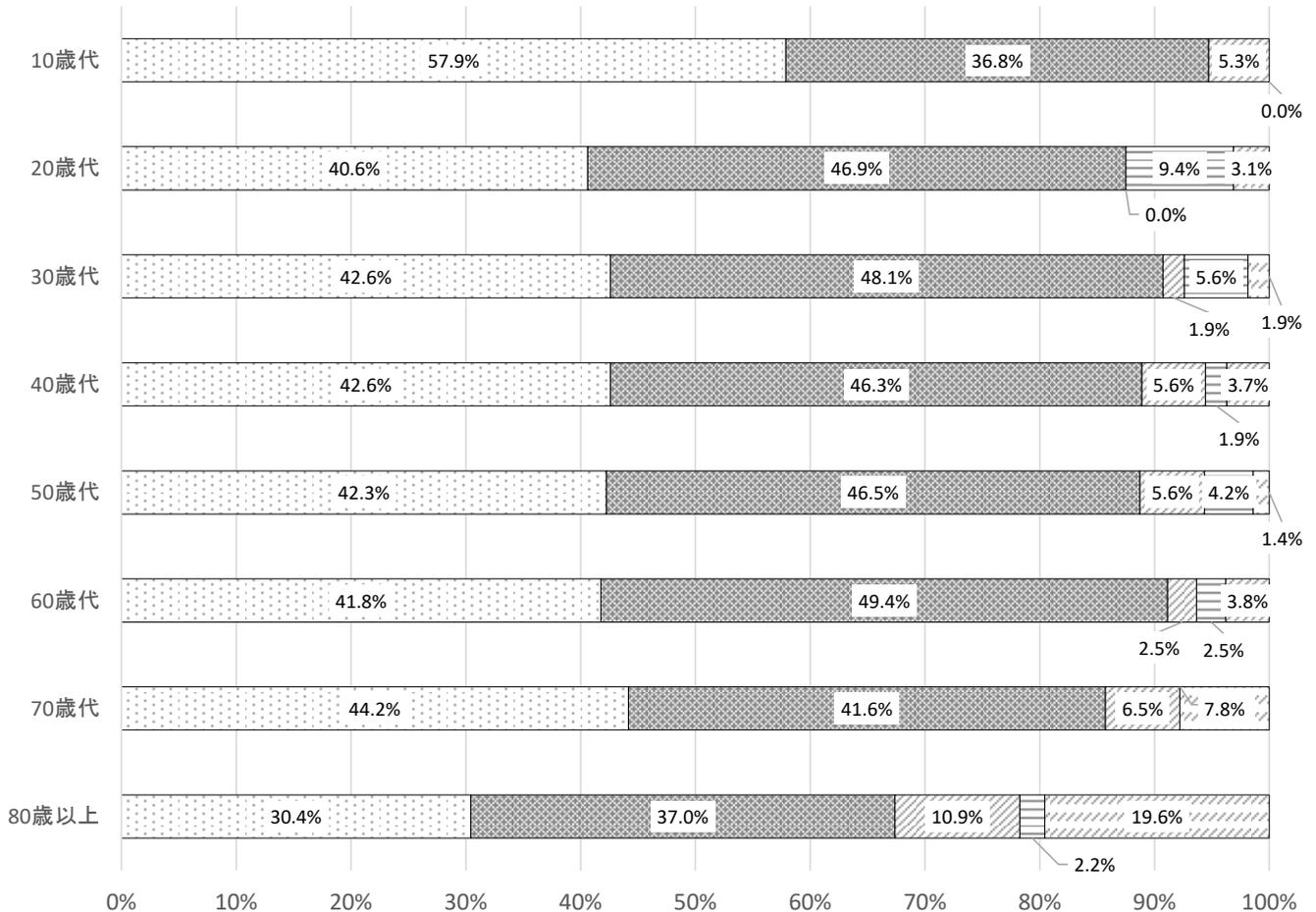
- ・性別では、男性（49.0%）が「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う」で回答割合のほぼ5割を占め、女性（42.1%）を6.9ポイント上回った。

【 年代別分布 】

- 差別につながる恐れがあるので、すべきではないと思う
- ▣ 身元調査をすることは、当然のことだと思う

- よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う
- ▨ その他

☐ 無回答



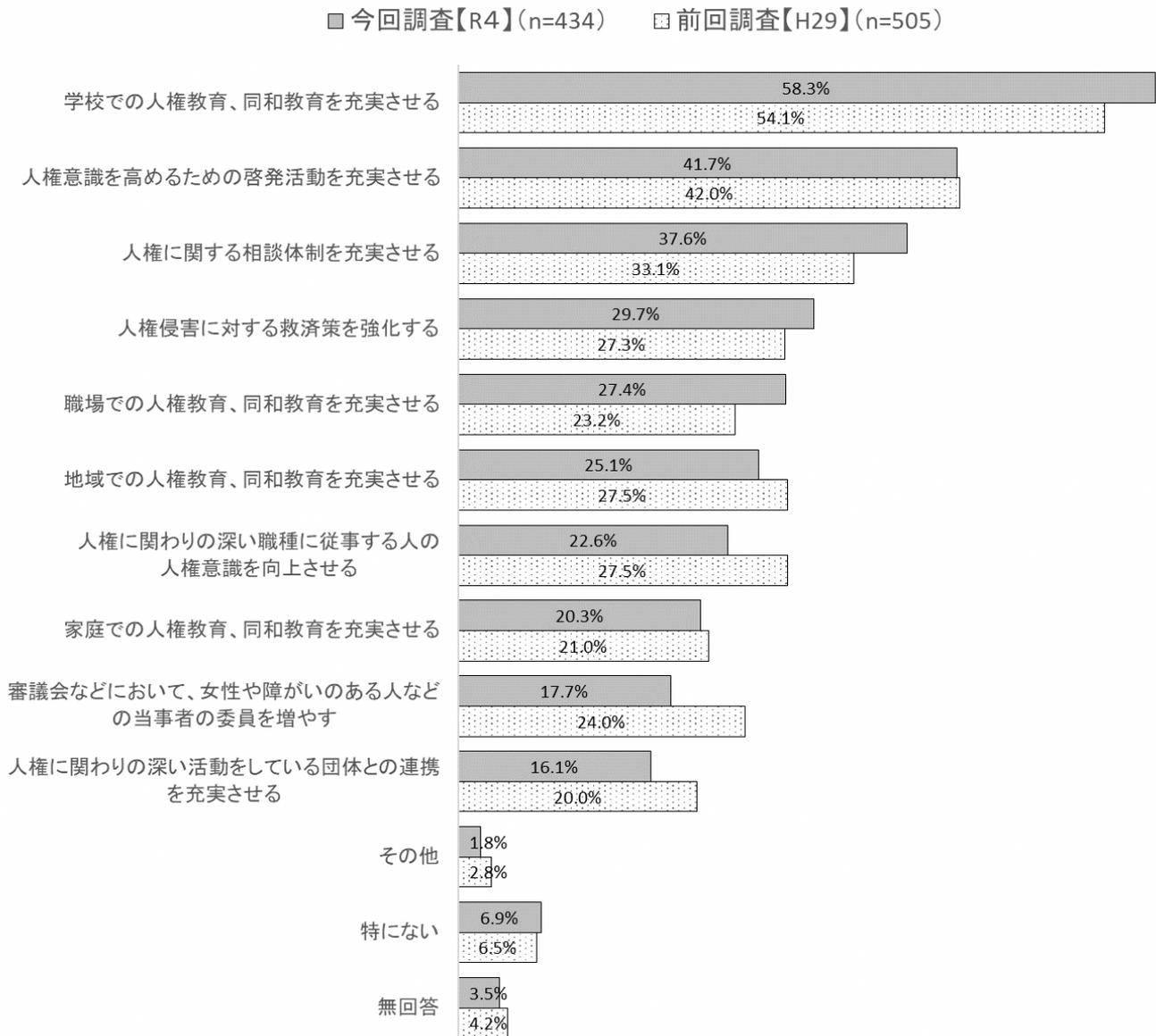
- ・ 10歳代では、「差別につながる恐れがあるので、すべきではないと思う（57.9%）」が、回答割合の6割弱を占め、他の年代と比べて回答割合が比較的高かった。
- ・ 30～60歳代で、「身元調査」を肯定する回答割合が5割台となっていた。
 30歳代では、「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う（48.1%）」、「身元調査をすることは、当然のことだと思う（1.9%）」を合わせると50.0%
 40歳代では、「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う（46.3%）」、「身元調査をすることは、当然のことだと思う（5.6%）」を合わせると51.9%
 50歳代では、「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う（46.5%）」、「身元調査をすることは、当然のことだと思う（5.6%）」を合わせると52.1%
 60歳代では、「よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う（49.4%）」、「身元調査をすることは、当然のことだと思う（2.5%）」を合わせると51.9%

【 その他 】

- ・ するべきではないと思う。
- ・ わかりません。何とも言えません。
- ・ 雇う側や子供の結婚相手など気にかかる人はいるでしょうが、本人の同意を得るなら仕方ないかもしれない。
- ・ 必要がない気がします。
- ・ 悪い事を働いていなければ関係ない。
- ・ 必要な場合もある（その際はよくないことだとは思わない）。
- ・ 必要な場合も少なからずある。
- ・ わからない。
- ・ 時と場合による。
- ・ どうでもいい。
- ・ 本籍等の調査はよくないが、経歴や素行調査は企業等の自己防衛の為には必要であると思う。

問 35 あなたは、小千谷市が人権教育・啓発を推進していくために、今後特にどのような取組が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

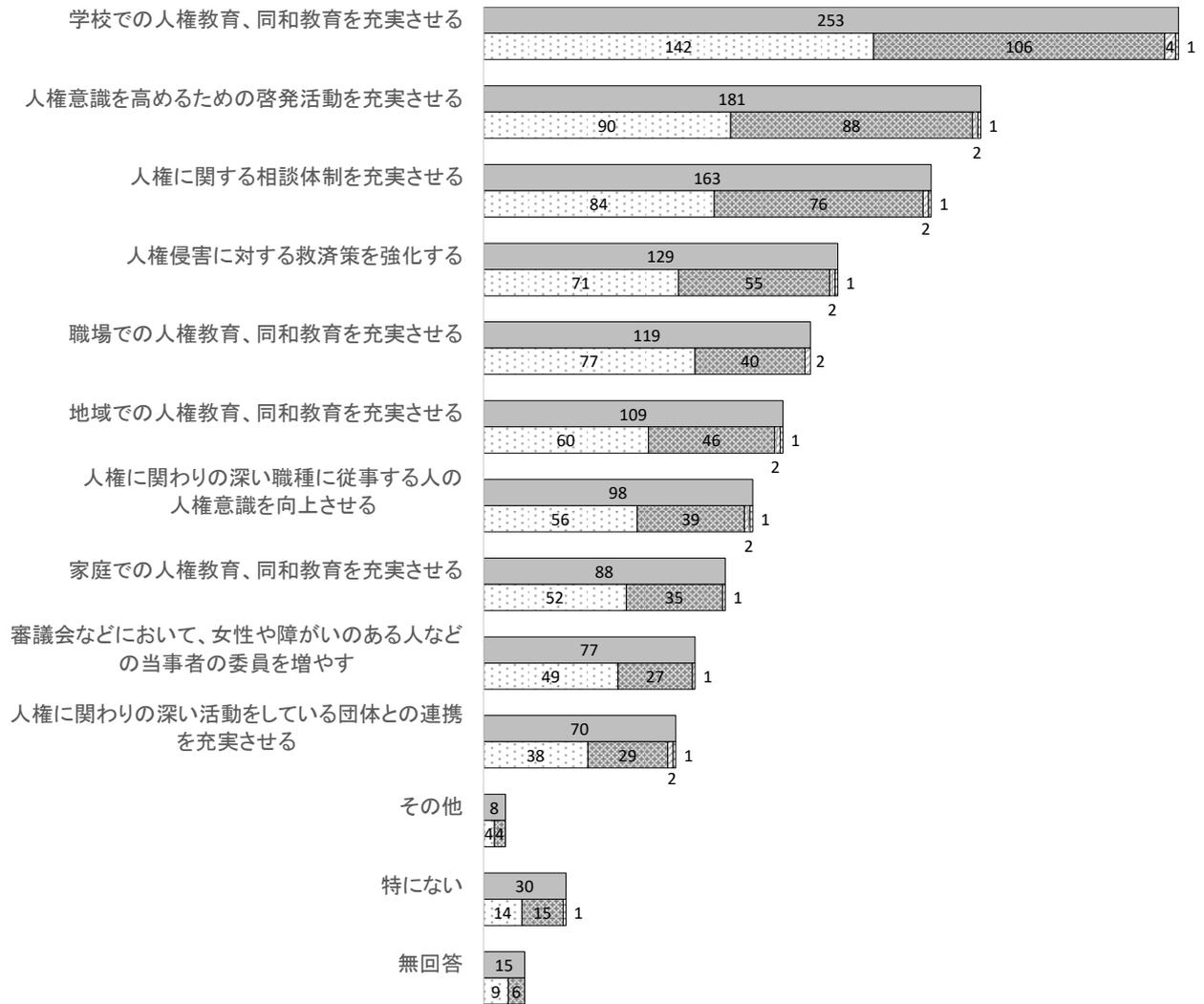
【 前回調査との比較 】



- ・小千谷市が人権教育・啓発を推進していくために必要な取組は、「学校での人権・同和教育を充実させる（253件）」が最も多かった。次に、「人権意識を高めるための啓発活動を充実させる（181件）」、「人権に関する相談体制を充実させる（163件）」、「人権侵害に対する救済策を強化する（129件）」、「職場での人権教育、同和教育を充実させる（119件）」と続いた。
- ・前回調査と比べて、「審議会などにおいて、女性や障がいのある人などの当事者の委員を増やす」の減少率が最も大きく、「人権に関する相談体制を充実させる」の増加率が最も大きかった。

【 性別分布 】

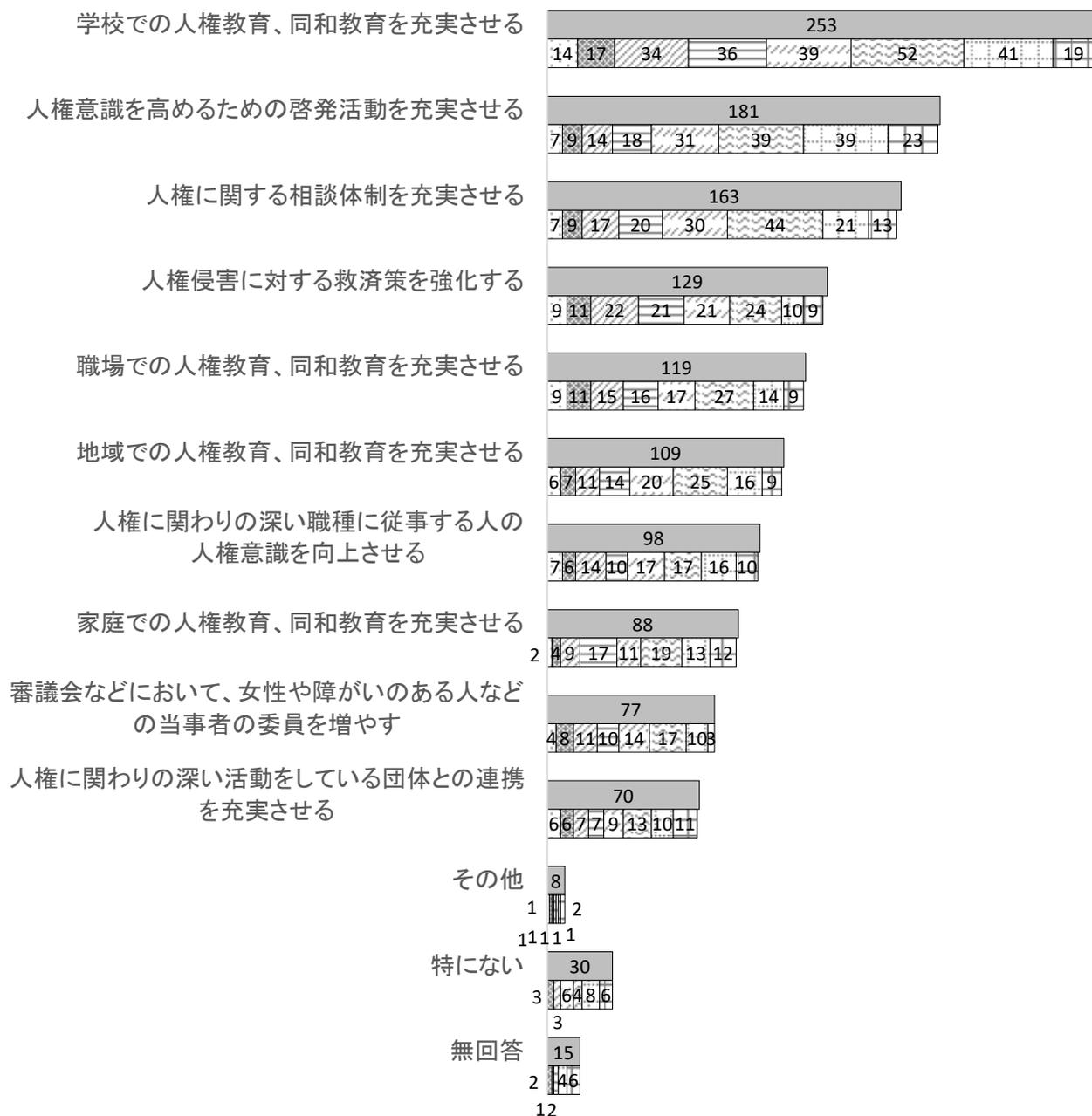
■ 回答数 □ 女性 ■ 男性 ▨ 選択しない □ 性別無回答



- どの項目も、女性の回答数が半数以上を占めていた。

【 年代別分布 】

■ 回答数 □ 10歳代 ■ 20歳代 ▨ 30歳代 □ 40歳代 ▨ 50歳代 ▨ 60歳代 ▨ 70歳代 □ 80歳以上



・どの項目も、60歳代の回答数が最も多かった。

<< 回答数上位5項目に関して回答数が最も多かった年代 >>

「学校での人権・同和教育を充実させる（253件）」は、52件で60歳代

「人権意識を高めるための啓発活動を充実させる（181件）」は、39件で60歳代と70歳代

「人権に関する相談体制を充実させる（163件）」は、44件で60歳代

「人権侵害に対する救済策を強化する（129件）」は、24件で60歳代

「職場での人権教育、同和教育を充実させる（119件）」は、27件で60歳代

で回答数が最も多かった。

【 その他 】

- ・ 市民団体、人権団体などは信用ならない！！
- ・ 企業への介入、啓発。
- ・ 女性参加を会社内で重視する。
- ・ テレビで聴覚過敏の人向けのクワイエットアワーを設けたドラッグストアや水族館があったが、そういった配慮も必要となると思うし、充実すると良いのではないか。なお、同和教育については慎重であるべきだと思う。
- ・ 当市はまだ同和問題に取り組まなければならないのですか。設問が古いと思います。
- ・ わからない。
- ・ 人権問題を取り上げるためには、小千谷市自体の職員の意識の向上を充実した体制を整えることが大事。
- ・ 人権、同和、自由と平等の過度の拡大は、人間の持つ様々な欲望をいつでも自由にはき出すことを放任するものでしかなく、国民同士を争わせ社会不安を増大するものでしかない。従って、当市でこのような教育は直ちに止める必要がある。

問 36 その他人権についてご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

- ・ 子供のときの教育の中で、正しい知識を身につけていくことで人権に関する問題は減っていくのではないかと思う。
- ・ 人権だけ主張して行動がともなわない人もいるのではないか。本当の人権とは何かの広報、啓発活動も必要ではないか。
- ・ 子供の頃からの教育が大事と思う。
- ・ 知識がない為に理解されず起きる問題がほとんどな気がするので、知る機会を増やす努力が必要だと考えます。
- ・ 日本国民にたいしての人権をしっかり守って下さい。
- ・ 私はろう者の知り合いがいます。手話をみんなが覚えればろう者の方も普通の生活ができると思います。小学校でも手話の勉強がありますが一瞬で終わってしまい、続けて手話の勉強をできる環境をつくってほしいと願っています。
- ・ がんばってください。
- ・ 社会経済に余裕がないために、人権問題の改善が進みにくい現状はあるが、基本は一人一人が自分中心や自分の属する集団第一主義に陥らず、他者を思いやる心を忘れないことであり、社会全体がそれを推進するものであってほしい。
- ・ 障害という表現は本人も家族も受け入れがたいものです。これに代わる、差別的な印象を与えない言葉ができることを希望します。
- ・ 障害のある方が住める建物を作る。
- ・ 憲法上における人権は多岐にわたり、表現の自由や学問の自由など様々であるため、もう少し具体化して議論をしなければ適切なこたえにたどりつかないと思う。またよく“差別”という言葉聞くが“合理的な区別”との違いを意識すべきだと思う。つまり、別異取扱いが合理的な理由に基づくものなのかということにあると考える。そして、マイナンバー普及に伴う、個人情報取扱いについても丁寧な説明が必要であると思います。
- ・ 他の国にくらべて日本では人権は守られている方だと思います。守ってもらうだけでなく当事者達も自ら声を出す事、又声を出すことが出来る社会に向けて少しずつ体制が整えられていると思います。
- ・ 新潟県民はネクラでイジメが多い県民性だと思う。小千谷市だけでも人権を守れる市であってほしい。
- ・ 地域の祭り行事、ボランティア活動など、参加したくないけど周りの目があるから仕方ないので参加している。本当は引越しをしたい。
- ・ 小千谷市内にも人権問題が残っていると聞く。早く解決していった方が良く思う。
- ・ めんどくさくてうんざりです。もっとかんたんにしないと協力する人がいないと思います。80 オジジイ。
- ・ 子どもや高齢者、女性についての質問があったが、その他の人々の人権についてはどうでもよいのか。若者に対しても住みやすい町ではないから小千谷を離れる人が多いのではないのか。
- ・ 土曜、日曜など休日でも相談出来れば良いのではないか。
- ・ 学校における人権教育、同和教育についての充実。

- 人権と言っても様々で、啓発活動や広報活動を行う場合、平等な内容量や子どもから全ての世代に対して分かりやすいものであってほしい。やりすぎや片寄りのないようにすべき。簡単に様々な情報を得ることができる世の中だが、世代や経済的理由で情報量が少なくこりつしないよう、小千谷市として防災ラジオを活用した情報提供や職員や地域の委員（保健推進員等の）や町内会を活用し市民に理解を深める手段を確立してほしい。
- 何をしても変わらないと思う。という自分を含めた多数の人に対してどうすればいいのか。
- 人権問題を議論すると「ねた子を起こす」などといわれるがこの根は深いものがあります。やはり行政が正しい理解のために「人権教育」を目視していくことが大切だと思われまます。
- 「女性の人権」は問われても、「男性の人権」の無いことがすでに違うと思います。
- 会社などで、あきらかにパワハラをしている人を見たことがあります。受けている本人は声を上げるのも怖いというか、声を上げたことでその会社に居づらくなるような環境でした。そしてパワハラをしている本人はそれがパワハラと気付いていないことが多くやっかいです。会社でハラスメントなどを相談する意見箱のようなものがありますが、その意見を見る人（社員）たちが、他の人にバラしたりするのではないかという不安もあります。各会社で、ハラスメントに困っている人の意見箱があるのはいいことなのですが、それを見るのは社員ではなく、専門のカウンセラーとかにしてほしいです。（プライバシー保護のため）そうすれば、第三者も意見を言いやすく、ハラスメントを止めることができるかも。
- どんな事でも相談しやすいところをつくってほしいです。意識調査だけでなく本当に困っている人に手を差し伸べて助けてあげてほしいです。
- 10年、20年では変える事は難しいのかもしれないが、一步踏み出さないと始まらないと思うので、まずは問題に対する歩み寄り、関心を持ってもらうことが大切なんだと改めて考えさせられました。交流会を設ける、学校での授業ももちろん大切だと思いますが、中々参加する人がいなかったり、強制させられる事の嫌悪感があると思うので、自然と目に入る広報活動が要となるのかな？と思いました。
- 36以外選んでくれてありがとうございました。
- あまり人権に関して考える機会がなかったので良い機会になりました。今はコロナ感染者についての人権が気になります。いまだに何かあるとコロナかなとか話になるので正直かかりたくない、かかれなない状況で不安です。
- 人権とは、自由に生活を送れること。小千谷市に生まれ育ったが差別を受けたこともしたこともない。ことさら人権問題を提起すべきではないと思う。凶器に倒れた元首相に対する悪口、雑言を言うマスコミ、政治家等に教育が必要なのでは。
- 学校や家庭でいじめは悪いことだと子供に教育するが大人が「いじめは悪い」といつているくせに行っている大人・高齢者への教育も必要だと思う。
- 難しい内容ですが。「自分が好き」と言える心の育ち、家庭が何より大切ではないでしょうか。評価重視、比べることを常としている日本の教育環境、同じことで安心する日本人の気質。少しずつ変わっていくことを願います。
- 人権に関する知識不足が1番の問題だと思います。教育が非常に重要だと考えます。
- 人権に対する正しい考え方、とらえ方が必要だと思う。好き嫌いではなく、普通に考えて相手と接していれば人権を侵害するような行動はとらないと思います。道徳だと思います。

- ・ 問 28 感染症患者等の人権について～の質問について、一括した回答欄になっていますが、新型コロナ、新型インフルエンザと HIV、ハンセン病の 2 つに分けた方が答え易かったです。現在進行形の新型コロナは最初の頃に比べ差別もなくなり、想定される新型インフルエンザ等の感染症、共に自分の身近に感じられる為関心が高くさらなる情報も伝わり易い。一方、長い年月を経て徐々に解明された HIV、ハンセン病とは違う感覚です。
- ・ 同和も LGBTQ もここに出てきた多くの問題の根本は人のことを言わない！！そんな小千谷市にしてください。positive な言葉だけのまちづくり！！
- ・ あまりの問題の多さに疲れました。
- ・ 昔よりは人権も守られていると思いますが、未だに職場ではハラスメント（パワハラ）、外国人差別など毎日のようにあります。コミュニケーションもとらない人たちが多くなり、50 歳になって考えると社会にできるまでの学校教育が大事なんじゃないかと思っています。
- ・ 私が若い頃はセクハラ、パワハラ、モラハラなどあって当たり前前の時代でした。職場でもさわられて当たり前、女同士である人（男）やだよ、いつもさわって…という時代、皆、がまんでした。そんな世の中が変だという事になって良い事だと思います。声をあげなければ何も変わりません。
- ・ 私は小・中・高校における教育が人権問題への意識を変えるのに役立つと思っています。本質的な解決とはまた別問題ですが、中・高では地域理解教育や探究活動など行っているのも、そちらに協力姿勢を見せると連帯感もアピールできますし、責任もいくらか分割できると思います。今後とも応援しています。
- ・ 意識して啓発を行うよりも侵害を感じた方への対応を強化して普段は意識させないことでそういった差別が風化していくように。
- ・ 民主主義には道德規準がなければ崩壊してしまうのは明らかです。この道德としては教育勅語の内容が最もふさわしいと考えます。行政に関わる人達は日本人のこころの源泉である「教育勅語」に充分学んで頂きたいものです。まず日本人としての芯をしっかり持たなければあやしげな外来思想に惑わされ自らの生活を破壊することになります。

Ⅲ 調査票

1 調査依頼文

「小千谷市人権教育・啓発推進計画」策定のための 『人権に関する市民意識調査』へのご協力をお願い

日ごろ、市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

小千谷市では、互いの人権を尊重し、支え合いながら安心して暮らせるまちの実現をめざして、「小千谷市人権教育・啓発推進計画」によりその取り組みを推進しています。

平成30年度に策定した「小千谷市人権教育・啓発推進計画」が令和5年度で終了することから、令和5年度中に次期計画を策定する予定です。そこで、市民の皆さんの現状を確認し、次期計画策定の参考にするため、市民意識調査を実施いたします。

この調査にご回答いただく方は、満16歳以上の市民の中から、1,000人の方を無作為に抽出させていただきました。

ご回答いただいた内容は、本調査以外の目的に使用することは一切ありません。また、一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いますので、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年10月

小千谷市長 大塚昇一

【ご記入にあたってのお願い】

- ①この調査は、抽出された方を対象にしていますので、宛名の方ご本人がご回答ください。
- ②ご記入は、黒のボールペンか鉛筆でお願いします。
- ③設問に対する答えは、選択肢の中から該当する番号を○で囲んでください。なお、1つだけ選ぶ設問と複数選ぶ設問がありますので、ご注意ください。
- ④「その他」を選んだ場合は、四角の枠の中にその内容を記入してください。
- ⑤ご記入が終了しましたら、同封の返信用封筒(切手はいりません)に入れ、11月16日(水)までに投函してください。お名前を記入する必要はありません。

【お問い合わせ先】

〒947-8501 小千谷市城内2丁目7番5号 小千谷市役所

担当：市民生活課 生活安全係

電話：0258-83-3516 FAX：0258-82-8664

E-mail：shimin-sa@city.ojya.niigata.jp

2 調査票

人権に関する市民意識調査

1 あなた自身のことについておたずねします

あてはまる番号1つに○をつけてください。

問1 あなたの性別は

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 選択しない |
|------|------|---------|

問2 あなたの年齢は

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代 | 8 80歳以上 |

2 人権全般についておたずねします

【人権】について

日本国憲法では、人間が生まれながらにして持っている^{おか}侵すことのできない永久の権利として「基本的人権」が保障されています。基本的人権とは、平等権、自由権（思想・表現、身体の自由など）、社会権（生存権、労働基本権、教育を受ける権利など）、参政権、請求権（国家賠償請求権^{ばいしょう}、裁判を受ける権利など）、環境権、プライバシーの権利、知る権利などです。しかし、これらの自由や権利が^{しんが}侵害されているということが、問題となっています。

問3 あなたは人権や差別の問題に関心がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|------------|
| 1 関心がある |
| 2 少し関心がある |
| 3 あまり関心がない |
| 4 関心がない |

問4 あなたの身のまわりでは、人権が守られていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1 守られている |
| 2 だいたい守られている |
| 3 あまり守られていない |
| 4 守られていない |

問5 あなたは今まで、自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 ある⇒「問6」にお進みください。
- 2 ない⇒「問7」にお進みください。

問6 問5で「ある」と回答した方にお聞きします。次のどのような場面で感じましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 うわさ、悪口、かげ口を言われた
- 2 名誉や信用を傷つけられたり、^{くつじやく}屈辱を受けたりした
- 3 プライバシーを侵害された
- 4 いじめ、仲間はずれ、いやがらせを受けた
- 5 保護者や教師などから体罰を受けた
- 6 セクシャル・ハラスメント（※1）、パワー・ハラスメント（※2）、モラル・ハラスメント（※3）、マタニティ・ハラスメント（※4）、パタニティ・ハラスメント（※5）を受けた
- 7 ドメスティック・バイオレンス（※6）を受けた
- 8 結婚差別を受けた
- 9 就職差別を受けた
- 10 性別や国籍などの差別的扱いを受けた
- 11 インターネット上で人権侵害を受けた
- 12 その他の人権侵害を受けた（具体的に

)

※1：性的な言動による嫌がらせ

※2：職場内での地位や権限を利用したいじめや嫌がらせ

※3：道徳や倫理に反する精神的な嫌がらせ

※4：^{にんしん}妊娠・^{かいご}出産を理由とした^{はいちてんかん}解雇や配置転換など

※5：育児のために休暇や時短勤務を希望する男性に対する嫌がらせ

※6：配偶者やパートナーからの暴力

問7 もし、あなたの人権が侵害されたと感じた場合、どのような対応を取ると思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 相手に抗議するなど自分自身で解決しようと努める
- 2 家族や友人など身近な人に相談する
- 3 県や市に相談する
- 4 法務局や人権擁護委員（※7）に相談する
- 5 民生委員児童委員（※8）や主任児童委員（※9）に相談する
- 6 警察に相談する
- 7 誰にも相談せず我慢する
- 8 その他

--

- ※7：人権に関する相談を受ける委員
- ※8：社会福祉に関する相談を受ける委員
- ※9：児童福祉に関する相談を受ける委員

問8 私たちの身のまわりには、人権についての課題がいろいろありますが、あなたはどの人権問題に関心がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 女性の人権問題
- 2 子どもの人権問題
- 3 高齢者の人権問題
- 4 障がいのある人の人権問題
- 5 同和地区（被差別部落）に関する人権問題
- 6 外国にルーツを持つ人（※10）の人権問題
- 7 新型の感染症（※11）患者やそのほかの感染症患者（エイズ患者、HIV感染者（※12）など）、ハンセン病患者（※13）および元患者などの人権問題
- 8 インターネット上での人権問題
- 9 LGBTQ（※14）の方などの人権問題
- 10 北朝鮮当局による拉致被害者や特定失踪者とその家族の人権問題
- 11 東日本大震災に起因する人権問題
- 12 犯罪被害者とその家族の人権問題
- 13 新潟水俣病被害者とその家族の人権問題
- 14 刑を終えて出所した人の人権問題
- 15 その他
- 16 特にない

※10：外国籍の方や日本に帰化し日本国籍を取得した方、両親のいずれか、または両方が外国籍である（あった）方を含みます。

※11：新型の感染症とは、新型コロナウイルス感染症や将来想定される新型インフルエンザ等感染症を指すものとします。

※12：HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染したことにより、免疫力が低下し病気が発症してしまった患者をエイズ患者といい、未発症の感染者をHIV感染者といいます。HIVは、感染力が弱く、感染経路が限られた予防可能な感染症であることが明らかになっています。

※13：ハンセン病とは、らい菌という細菌による感染症ですが、感染力は弱く、万一感染しても、現在では後遺症もなく治療できます。

※14：レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人）、クエスチョニング（自分自身のセクシャリティが決められない、わからない、または決めない人）など性的マイノリティの方を表す総称のひとつ。

3 女性の人権についておたずねします

問9 女性の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 「男は仕事、女は家事」「女らしく〇〇すべき」といった固定的な役割分担意識があること
- 2 就職時の採用条件、仕事の内容、給料など、職場で男女の待遇が違ふこと
- 3 職場や地域などで方針を決めるとき、女性の意見が聞かれないこと
- 4 セクシャル・ハラスメント（※1）を受けること
- 5 ドメスティック・バイオレンス（※6）を受けること
- 6 マタニティ・ハラスメント（※4）を受けること
- 7 結婚、妊娠、出産、不妊などについて干渉されること
- 8 売春・買春（いわゆる「援助交際」を含む）が行われていること
- 9 テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどでわいせつな情報が流れること
- 10 その他
- 11 特にない

※1：性的な言動による嫌がらせ

※4：妊娠・出産を理由とした解雇や配置転換など

※6：配偶者やパートナーからの暴力

問10 あなたは女性の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思ひますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 女性の人権侵害に対する相談体制を充実させる
- 2 男女ともに、働きながら家事や育児・介護などを両立できる環境づくりを推進する
- 3 さまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参画を推進する
- 4 ドメスティック・バイオレンスなど、女性への暴力に対する救済体制を充実させる
- 5 男女平等に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる
- 6 女性の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
- 7 その他
- 8 特にない

4 子どもの人権についておたずねします

問11 子どもの人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子ども同士のいじめがあること
- 2 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする事
- 3 保護者などが、しつけのつもりで言葉の暴力や体罰を加えること
- 4 保護者などが、育児放棄などのネグレクトによる虐待^{ぎやくたい}をすること
- 5 ヤングケアラー（※15）であることにより、子どもとして過ごす時間や権利が失われていること
- 6 教師や指導者などが、言葉の暴力や体罰を加えること
- 7 大人が子どもの意見を尊重^{そんちゆう}せず、大人の考えを押しつけること
- 8 児童買春、児童ポルノなどが存在すること
- 9 性的犯罪の被害を受けること
- 10 経済的理由で十分な教育を受けられない子どもがいること
- 11 その他
- 12 特にない

※15：一般に、本来は大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども

問12 学校における子どもの「いじめ」問題について、あなたはどのように考えますか。特にあてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 いじめる人が悪い
- 2 いじめられる人が悪い
- 3 いじめる人が悪いが、いじめられる人にも問題がある
- 4 いじめる人が悪いが、まわりで見ても見ぬふりをする人にも問題がある
- 5 その他

問13 あなたは子どもの人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 子どものための人権侵害に対する相談・支援体制を充実させる
- 2 子どもの人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる
- 3 教師や指導者などの体罰禁止の徹底^{てつてい}や資質^{ししつ}の向上を図る
- 4 大人の考えを押しつけず、子どもの意思を尊重する
- 5 経済的理由で十分な教育を受けられない子どもがいる家庭に支援をする
- 6 子どもの人権を守るための広報・啓発活動を推進する
- 7 その他
- 8 特にない

5 高齢者の人権についておたずねします

問14 高齢者の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと
- 2 経済的に自立が困難なこと
- 3 悪徳商法や特殊詐欺による被害が多いこと
- 4 高齢者をじゃま者扱いし、意見や行動が尊重されないこと
- 5 高齢者に対して暴言や、暴力を振るったりすること
- 6 看護や介護で不十分な対応や虐待があること
- 7 ひとり暮らしなどの高齢者に、生活に必要な情報が十分に伝わらないこと
- 8 高齢者が暮らしやすいまちづくりや住宅づくりが進んでいないこと
- 9 その他
- 10 特にない

問15 あなたは高齢者の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 高齢者の人権侵害に対する相談・支援体制を充実させる
- 2 高齢者の就業機会を確保する
- 3 高齢者に配慮した防犯、防災対策を強化する
- 4 高齢者と他の世代との交流を進める
- 5 病院や福祉施設において、十分な対応と虐待防止を徹底する
- 6 成年後見制度（※16）など高齢者の権利と財産を守るための制度の利用を促進する
- 7 高齢者が自立して生活できる環境の整備を推進する
- 8 高齢者の人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる
- 9 高齢者の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
- 10 その他
- 11 特にない

※16：判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が、財産管理や契約のなどの法律、生活面を支援する制度

6 障がいのある人の人権についておたずねします

問16 障がいのある人の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 じろじろ見られたり、避けられたりするなど、人々の理解が不十分なこと
- 2 差別的な発言や行動を受けること
- 3 障がいのある人の意見や行動が尊重されないこと
- 4 地域の学校に通えないなど、学校の受け入れ体制が不十分なこと
- 5 いじめや虐待があること
- 6 働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと
- 7 就職の際や職場で不利な扱いを受けること
- 8 スポーツ・文化活動・地域活動などの参加に支障があること
- 9 道路や建物の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすいまちづくりが進んでいないこと
- 10 点字の案内表示、手話通訳、音声案内などの体制が整っていないため、情報の入手が困難なこと
- 11 その他
- 12 特にない

問17 あなたは障がいのある人の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 障がいのある人のための相談・支援体制を充実させる
- 2 障がいのある人の就業機会を確保する
- 3 障がいのある人と共に活動できる環境整備を促進する
- 4 障がいのある人も一緒に学習できる教育環境の整備を推進する
- 5 福祉施設を充実させる
- 6 障がいのある人が自立して生活できる道路や施設の整備を推進する
- 7 障がいのある人も情報を入手しやすくなるような、点字や音声案内などの整備を推進する
- 8 障がいのある人の人権に関する学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる
- 9 障がいのある人の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
- 10 その他
- 11 特にない

7 同和問題についておたずねします

※同和問題（部落問題）とは、日本社会の歴史的発展の過程において形成された身分階層構造かいそうこうぞうに基づく差別により、国民の一部の集団が経済的・社会的・文化的に低位の状態におかれ、現代社会においてもなお、いちじるしく基本的人権を侵害され、特に、近代社会の原理として何人なんびとにも保障されている市民的権利と自由を完全に保証されていないという、重大な社会問題のことです。以下、同和問題、同和地区と表現します。

問18 あなたは、同和問題や同和地区があることを知っていますか。いずれか1つに○をつけてください。

- 1 知っている⇒「問19」にお進みください。
- 2 知らない⇒「問21」にお進みください。

問19 あなたが同和問題や同和地区について初めて知ったのは、いつ頃ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 小学校入学前
- 2 小学生のとき
- 3 中学生のとき
- 4 16歳～18歳頃（高校生のとき）
- 5 19歳以降
- 6 はっきり覚えていない

問20 あなたが同和問題や同和地区について初めて知ったきっかけは、何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 家族から聞いた
- 2 親せきや近所の人から聞いた
- 3 友だちや先輩・後輩から聞いた
- 4 学校の授業で教わった
- 5 職場の人から聞いた
- 6 テレビ・ラジオ・新聞・本・インターネットなどで知った
- 7 同和問題の集会や研修会で知った
- 8 県や市町村の広報誌などで知った
- 9 はっきり覚えていない
- 10 その他

問 21 同和問題について、次の問題や差別が全国で報告されています。あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 結婚に周囲が反対すること
- 2 就職の際や職場で不利な扱いを受けること
- 3 地域社会で不利な扱いをされること
- 4 身元調査のために本籍などを調べられること
- 5 差別的な発言や行動を受けること
- 6 差別的な落書きをされること
- 7 インターネット上に差別的な情報を掲載されること
- 8 その他
- 9 特になし

問 22 あなたは、親しく付き合ってきた人が同和地区出身とわかった場合、どうしますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 これまでと同じように付き合う
- 2 表面的には付き合うが、できるだけ避ける
- 3 付き合いをやめる
- 4 その他

問 23 仮に、あなたやあなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとしたとき、家族や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどうすると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 自分の意志を貫いて結婚する／子どもの意志を尊重する
- 2 家族や親せきを説得して結婚する／させる
- 3 家族や親せきの反対があれば結婚しない／させない
- 4 絶対に結婚しない／させない
- 5 その他

問24 2016年12月「部落差別は許されないものであるとの認識の下にこれを解消することが重要な課題である」として、「部落差別の解消の推進に関する法律」（部落差別解消推進法）が制定施行されたことをあなたは知っていますか。どちらかに○をつけてください。

- 1 知っている
- 2 知らない

問25 あなたは、同和問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 同和問題に関する相談・支援体制を充実させる
- 2 同和問題について、自由な意見交換ができる環境づくりを推進する
- 3 同和問題に関する市職員や市民の研修や学習機会を充実させる
- 4 同和問題に関する学校教育を充実させる
- 5 広報誌への掲載や啓発活動を推進する
- 6 同和問題については、差別は自然になくなるので、そっとしておく
- 7 その他

- 8 特になし

8 外国にルーツを持つ人（※10）の人権について おたずねします

問26 外国にルーツを持つ人の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 偏見^{へんけん}や差別意識があること
- 2 差別的な発言や行動（ヘイトスピーチ（※17）など）を受けること
- 3 働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと
- 4 外国にルーツを持つ人の意見や行動が尊重されないこと
- 5 近隣^{きんりん}や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと
- 6 施設・道路・公共交通機関などに、外国語表記が少ないこと
- 7 外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと
- 8 その他
- 9 特にない

※10：外国籍の方や日本に帰化し日本国籍を取得した方、両親のいずれか、または両方が外国籍である（あった）方を含みます。

※17：特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの一方的な内容の言動のこと

問27 あなたは外国にルーツを持つ人の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 外国にルーツを持つ人のための相談・支援体制を充実させる
- 2 外国にルーツを持つ人と地域住民の相互理解と交流を推進する
- 3 外国にルーツを持つ人の雇用を推進する
- 4 外国にルーツを持つ人が、市政^{しせい}や地域活動に参画できる機会を設ける
- 5 外国語による情報提供を充実させる
- 6 外国にルーツを持つ人のための日本語教室を充実させる
- 7 外国にルーツを持つ人の人権を守るための広報・啓発活動を推進する
- 8 その他
- 9 特にない

9 新型の感染症患者（※11）やその他の感染症患者（エイズ患者、HIV感染者（※12）など）、ハンセン病患者（※13）および元患者など（以下「感染症患者等」と表記）の人権についておたずねします

問28 感染症患者等の人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 感染症についての正しい理解がされていないこと
- 2 患者や感染者、その家族などのプライバシーが守られていないこと
- 3 患者や感染者、その家族などが差別的な発言や行動を受けること
- 4 医療従事者やその家族などが差別的な発言や行動を受けること
- 5 治療や入院を拒否されること
- 6 入学の際や学校で不当な扱いをされること
- 7 就職の際や職場で不利な扱いを受けること
- 8 結婚を断られたり周囲から反対されたりすること
- 9 故郷に帰ることのできないハンセン病患者・元患者がいること
- 10 その他
- 11 特にない

※11：新型の感染症とは、新型コロナウイルス感染症や将来想定される新型インフルエンザ等感染症を指すものとします。

※12：HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染したことにより、免疫力が低下し病気が発症してしまった患者をエイズ患者といい、未発症の感染者をHIV感染者といいます。HIVは、感染力が弱く、感染経路が限られた予防可能な感染症であることが明らかになっています。

※13：ハンセン病とは、らい菌という細菌による感染症ですが、感染力は弱く、万一感染しても、現在では後遺症もなく治療できます。

問29 あなたは感染症患者等の人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 患者や感染者、その家族などのためのプライバシーに配慮した医療体制や、カウンセリング体制を充実させる
- 2 感染症患者等の治療費を援助するなどの生活の支援をする
- 3 感染症に関する正しい知識を義務教育の中でも教育する
- 4 感染症患者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を推進する
- 5 ハンセン病患者・元患者との交流を進め、故郷への里帰りを推進する
- 6 その他
- 7 特にない

10 インターネット上での人権侵害についておたずねします

問30 インターネット上での人権侵害について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 他人を誹謗中傷^{ひぼうちゅうしょう}するなど、人権を侵害する情報を掲載すること
- 2 子ども同士の中傷の書き込みや仲間はずしをする場となっていること
- 3 出会い系サイトなど、犯罪を誘発する場となっていること
- 4 本人の承諾もなく、プライベートな情報が公開されること
- 5 情報発信者が匿名^{とくめい}の場合が多いため、倫理観^{りんりかん}が低下しやすいこと
- 6 その他

7 特になし

問31 インターネットによる人権侵害をなくすためには、特にどのようなことが必要だと思いませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 インターネットによる被害を受けた人のための相談・支援体制を充実させる
- 2 インターネット利用者に対する啓発活動を推進する
- 3 不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する
- 4 ホームページなどの管理者に情報の停止・削除をさせる法を整備する
- 5 規則・罰則の強化を図る
- 6 インターネット利用についての学校教育、社会教育、家庭教育を充実させる
- 7 その他

8 特になし

11 LGBTQ（※14）の方などの人権についておたずねします

問32 LGBTQの方などの人権について、あなたが特に問題があると思うことはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 LGBTQの方などについての正しい理解がされていないこと
- 2 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 3 差別的な発言や行動を受けること
- 4 職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること
- 5 就職の際や職場で不利な扱いを受けること
- 6 その他
- 7 特になし

※14：レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人）、クエスチョニング（自分自身のセクシャリティが決められない、わからない、または決めない人）など性的マイノリティの方を表す総称のひとつ。

問33 あなたはLGBTQの方などの人権を守るためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 プライバシーに配慮した相談体制を充実させる
- 2 LGBTQの方などを支援するため、関係機関の連携^{れんけい}を充実させる
- 3 LGBTQの方などに関する正しい知識を義務教育の中でも教育する
- 4 偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を推進する
- 5 婚姻や相続などの権利に関する法律の整備
- 6 その他
- 7 特になし

12 人権を守るための活動についておたずねします

問34 あなたは「身元調査」についてどのように考えますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※ここでの「身元調査」とは、本人に断りなく他人の本籍、経歴、家族環境などの身元を調べることです。従業員の採用や結婚などの際に行われることがあり、興信所（探偵）など民間の調査機関に依頼して行うこともあります。

- 1 差別につながる恐れがあるので、するべきではないと思う
- 2 よくないことだと思うが、ある程度はしかたがないことだと思う
- 3 身元調査をすることは、当然のことだと思う
- 4 その他

問35 あなたは、小千谷市が人権教育・啓発を推進していくために、今後特にどのような取組が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 人権意識を高めるための啓発活動を充実させる
- 2 学校での人権教育、同和教育を充実させる
- 3 地域での人権教育、同和教育を充実させる
- 4 家庭での人権教育、同和教育を充実させる
- 5 職場での人権教育、同和教育を充実させる
- 6 人権に関わりの深い職種に従事する人の人権意識を向上させる
- 7 人権に関わりの深い活動をしている団体との連携を充実させる
- 8 人権に関する相談体制を充実させる
- 9 人権侵害に対する救済策を強化する
- 10 審議会などにおいて、女性や障がいのある人などの当事者の委員を増やす
- 11 その他

12 特になし

問36 その他人権についてご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

人権に関する市民意識調査報告書

編集・発行 小千谷市 市民生活課 生活安全係
〒947-8501
新潟県小千谷市城内2丁目7番5号
TEL 0258-83-3516
FAX 0258-82-8664
E-mail shimin-sa@city.ojiya.niigata.jp
令和5年2月
